

平成 **18** 年度

ボランティア活動に関する 調査研究報告書

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

はじめに

今日、都市化や核家族化・少子化等の進展に伴う住民同士の連帯感の欠如や人間関係の希薄化等により、家庭や地域の教育力の低下が指摘されています。また、子どもたちをめぐって、学習意欲の低下や基本的な生活習慣が身につけていないこと、自然体験等の体験活動の不足など、様々な課題も指摘されています。一方で、生涯学習社会の進展に伴い、学習した成果を生かして、ボランティア活動やNPO活動に参加したいと考える人々も増えています。

このような中、平成19年1月の中央教育審議会中間報告「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」において、今後、生涯学習を振興していく上で重視すべき視点の一つに「公共の視点」を掲げ、住民が学校・社会教育施設・NPO等との協働の中で、自らの意思に基づいて社会の課題の解決に取り組んでいく学習活動を支援する必要があると指摘されました。

また、教育再生会議第2次報告「社会総がかりで教育再生を」では、全ての子どもたちが社会の規範意識や公共心を身につけ、心と体の調和の取れた人間となることを目指し、小学校で1週間の自然体験、中学校で1週間の社会体験、高等学校で奉仕体験の必修化を提言しています。

当センターでは、子どもたちから高齢者に至る幅広い人々の体験活動・ボランティア活動への参加促進を図るため、これまでも体験活動・ボランティア活動の推進に関する様々な調査研究を行ってきました。

特に、今回の調査研究では、団塊世代の方々が退職後、これまで職業や体験を通じて培った知識・技能を活かし、地域におけるボランティアとしての活躍が期待されていることから、団塊世代の方々のボランティア活動に対する意識調査を実施し、今後のボランティア活動推進施策に資することといたしました。

また、ボランティア活動を推進するためには、学校と地域や関係機関等が連携するなど「地域の教育力」を活用した取組が重要となることから、先進的な取組として杉並区立和田中学校について、学校運営の在り方や学校と地域の連携システム等の視点で現地調査いたしました。

この報告書が、全国各地で実施されるボランティア活動に関する取組に活用され、地域のボランティア活動がより一層活性化するための一助となれば幸いです。

末尾になりましたが、本調査研究にあたり、ご尽力くださいました白石克己委員長をはじめ調査研究委員各位に感謝申し上げますとともに、調査にご協力いただきました関係各位に厚くお礼申し上げます。

平成19年4月

国立教育政策研究所

社会教育実践研究センター長 馬場 祐次朗

目 次

第 1 章 調査研究の概要

1 調査の目的	1
2 調査方法等	1
3 調査主体・調査実施機関	2

第 2 章 団塊世代のボランティア活動に対する意識調査の概要

第 1 節 調査の概要

1 調査の目的	3
2 調査対象	3
3 調査実施期間	3
4 調査方法	3
5 調査内容	3
6 回収数	4
7 回答者の主要な属性	5

第 2 節 調査の結果	7
-------------	---

第 3 章 調査の結果と分析 ～調査から見えてくるもの～

1 これまでのボランティアとこれからのボランティア	21
2 青少年の育成や生涯学習支援のボランティア	23
3 学校支援ボランティア	24
4 NPO活動の今後	25

第 4 章 提言： 団塊世代と社会参加の可能性－高年よ、高志をいだけ

参考資料	31
------	----

第 1 章

調査研究の概要

第1章 調査研究の概要

1 調査の目的

地域のボランティア活動の指導者等として活躍が期待されている団塊の世代を対象に、ボランティア活動に対する意識調査を実施し、今後のボランティア活動推進施策に資する。

また、学校と地域や関係機関等が連携した先進的な取組を実践している杉並区立和田中学校について現地調査し、「地域の教育力」を活用した学校運営の在り方や学校と地域の連携システムについて検証する。

2 調査方法等

(1) 「団塊の世代」を対象に、ボランティア活動に対する意識についてのインターネット調査

① 内容

地域において、ボランティア活動の指導者・コーディネーター等として活躍が期待されている団塊の世代を対象に、ボランティア活動に対する意識調査を実施する。

② 期日

平成19年1月26日（金）から1月30日（火）までの5日間

③ 調査方法

委託先調査会社「楽天リサーチ株式会社」が保有している登録モニターのうち「団塊世代」に対してインターネットを通じて質問（調査票）を送付し、回答を回収する。

※ 調査概要については、「第2章」で詳述する。

(2) 聞き取りによる調査

① 内容

本調査研究において、学校と地域や関係機関等が連携した先進的な取組を実践している杉並区立和田中学校について下記の内容で現地調査を行う。

ア 現状把握

- i) 「よのなか科」の授業の取組
- ii) 「地域本部」の運営
- iii) 「土曜日寺子屋（ドテラ）」の運営と「グリーンキーパーズ」の活動

イ 実態調査

- i) 「よのなか科」の授業視察
- ii) 「地域本部」の取組と関係者の意見聴取
 - ・同校では、「地域本部」を組織し、100名以上のボランティアをネットワーク化するとともに、生徒の自主的な学習をサポートする「土曜日寺子屋（ドテラ）」の運営を核として、図書室の運営や学内の美化等の活動を行っており、ネットワーク型学校経営が確立されている。

② 期 日

平成19年2月14日（水） 9：40～14：00

③ 調査対象

東京都杉並区立和田中学校

3 調査主体・調査実施機関

国立教育政策研究所社会教育実践研究センターに「ボランティア活動の推進に関する調査研究委員会」を組織し、調査研究を行った。調査研究委員は次のとおりである。

木村 清一	日本ボランティア学習協会常任理事・亜細亜大学非常勤講師
興梠 寛	世田谷ボランティア協会理事長・昭和女子大学講師
○白石 克己	佛教大学教授
土屋 隆裕	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構統計数理研究所助教授
出口 寿久	文部科学省生涯学習政策局社会教育課ボランティア活動推進専門官
野島 正也	文教大学教授
藤原 和博	東京都杉並区立和田中学校長
松下 俱子	独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長

（以上五十音順、○は委員長）

馬場祐次朗	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター長
上田 裕司	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター社会教育調査官
五十嵐秀介	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター専門調査員

（委員の所属等は平成19年3月現在）

第 2 章

「団塊世代のボランティア活動に対する意識調査」 の概要

第2章 「団塊世代のボランティア活動に対する意識調査」の概要

第1節 調査の概要

1 調査の目的

地域において、ボランティア活動の指導者・コーディネーター等として活躍が期待されている団塊の世代を対象に、ボランティア活動に対する意識調査を実施し、今後のボランティア活動推進施策に資する。

2 調査対象

「昭和22年～24年」生まれの男女 2,080名（男性1,195名 女性885名）

3 調査実施期間

平成19年1月26日（金）から1月30日（火）までの5日間

4 調査方法

委託先調査会社「楽天リサーチ株式会社」が保有している登録モニターのうち「団塊世代」に対してインターネットを通じて質問（調査票）を送付し、回答を回収する。

5 調査内容

- (1) ボランティア活動の分野について（Q1～2）
- (2) ボランティア活動のきっかけについて（Q3～4）
- (3) ボランティア活動の満足度について（Q5）
- (4) ボランティア活動の意識について（Q6）
- (5) ボランティア活動の意向について（Q7、Q12～13）
- (6) ボランティア活動に参加できない理由について（Q8～11、Q14）
- (7) NPO・NGOへの参加の意向について（Q15）
- (8) 学校支援ボランティアに対する活動の意向について（Q16～18）
- (9) ボランティア活動への行政の支援に対する要望について（Q19）
- (10) 回答者の属性（Q20～22）

6 回収数

【表2 回収数】

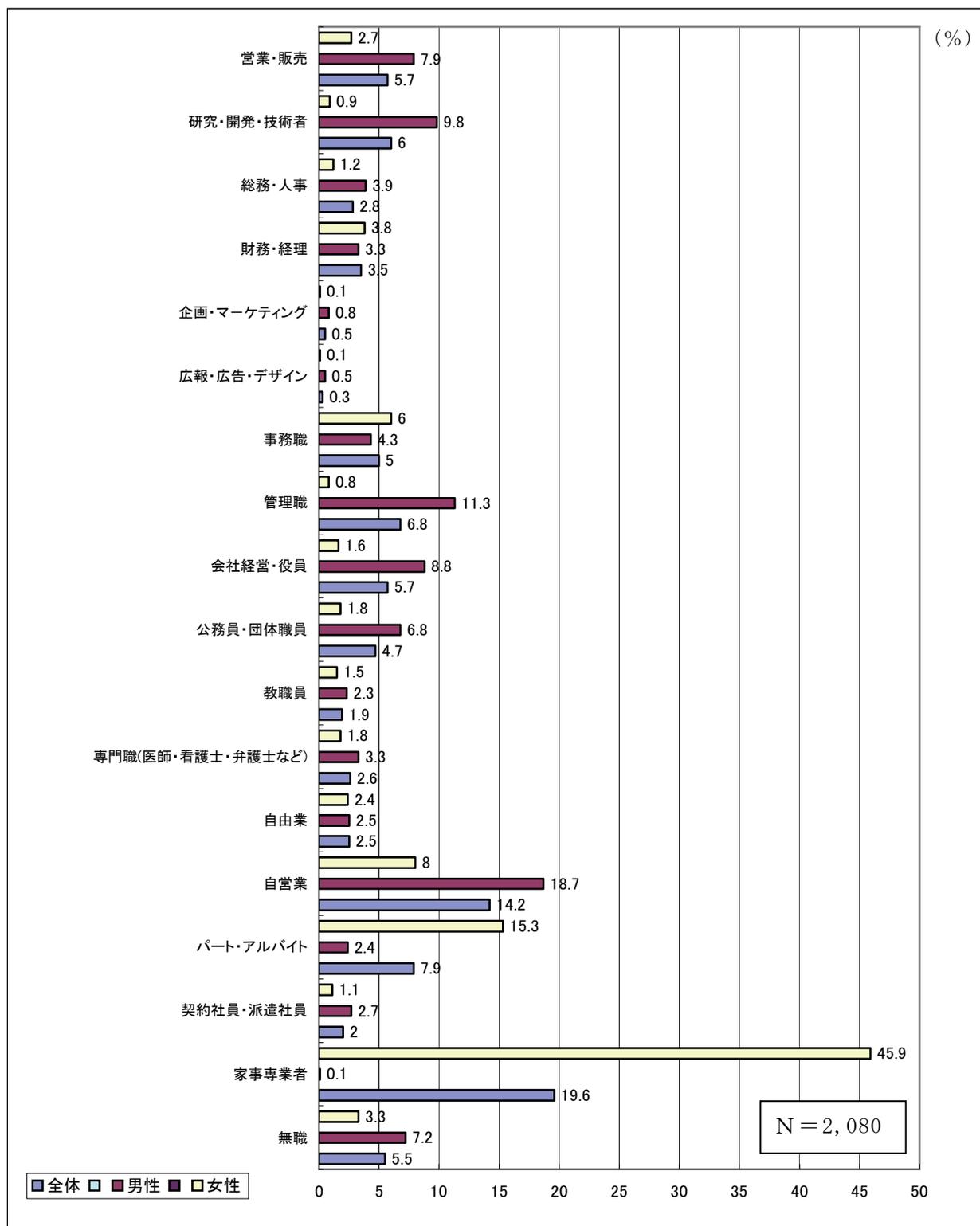
N=2,080

	男 性		小計	女 性		小計	合計
	勤労者	家事専業者 又は無職		勤労者	家事専業者 又は無職		
昭和22年4月2日～ 昭和23年4月1日生まれ	376	45	421	124	150	274	695 (33.4%)
昭和23年4月2日～ 昭和24年4月1日生まれ	345	45	390	155	140	295	685 (32.9%)
昭和24年4月2日～ 昭和25年4月1日生まれ	344	40	384	156	160	316	700 (33.7%)
計	1065	130	1,195 (57.5%)	435	450	885 (42.5%)	2,080 (100%)

7 回答者の主要な属性

(1) 職種別

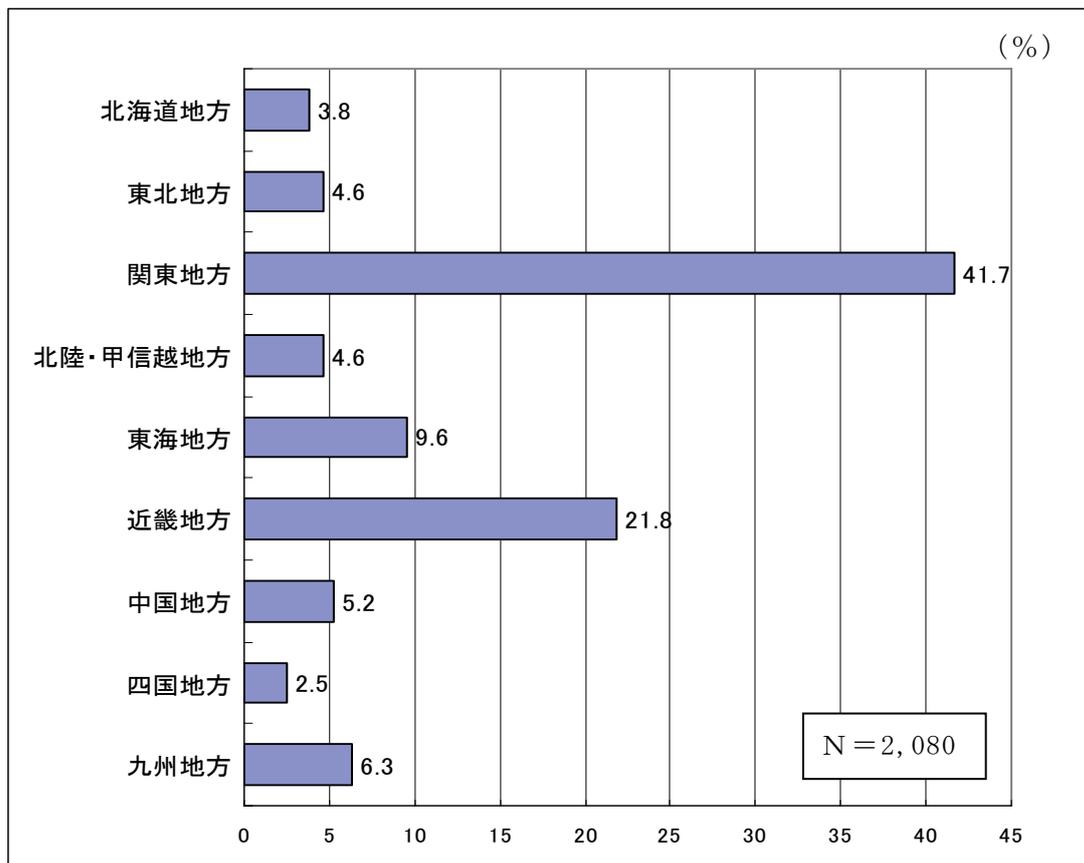
職種別の結果を見ると「家事専業者」が19.6%（407人）、「自営業」が14.2%（295人）、「パート・アルバイト」が7.9%（164人）、「管理職」が6.8%（142人）、「研究・開発・技術者」が6.0%（125人）となっている。[図2-1]



【図 2-1 回答者属性（職種別）】

(2) 地域ブロック別

地域ブロック別では、関東地方が41.7%（867人）と最も回答数が多く、次いで近畿地方21.8%（453人）の回答数が多い結果が見られた。7割以上の回答者が関東・東海・近畿地方となっている。[図2-2]



【図 2-2 回答者属性（地域ブロック別）】

第2節 調査の結果

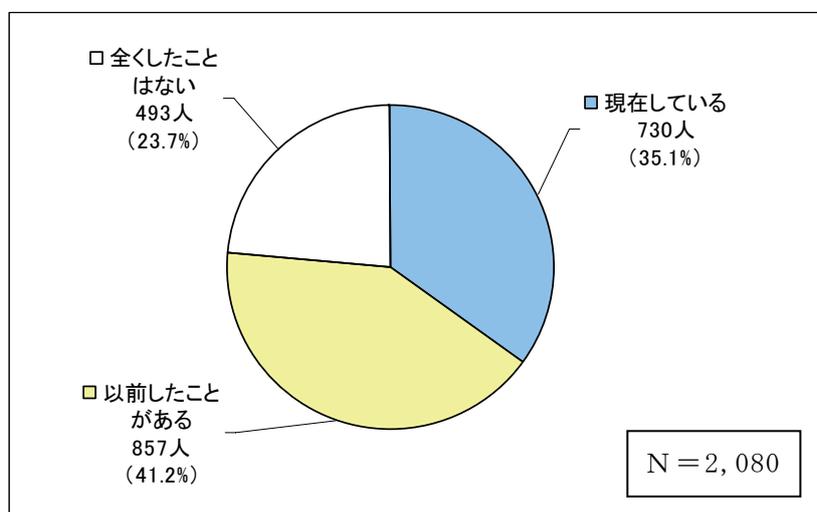
1 ボランティア活動の実施状況

ボランティア活動を現在行っている人（「2 ボランティア活動の分野」について、ひとつでも「現在している」と回答した人）が 35.1%（730 人）となっている。

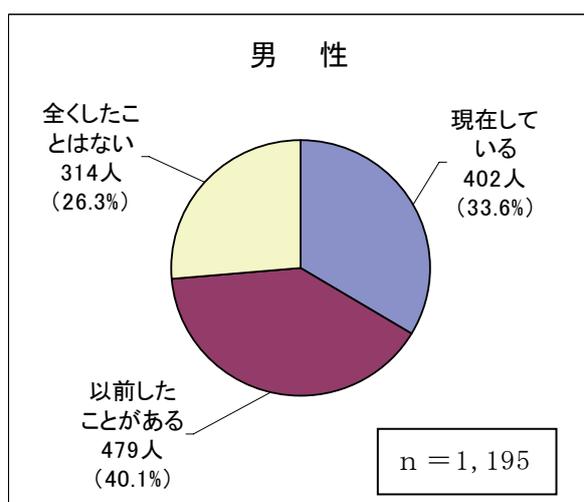
また、同設問について「現在している」に回答がなく、「現在はしていないが、以前したことがある」「全くしたことはない」と回答した人は 41.2%（857 人）、全ての選択肢に対して「全くしたことはない」と回答した人は 23.7%（493 人）となっている。[図 2-3]

また、性別で見えてみると、「現在している」と答えた男性は 33.6%（402 人）、女性は 37.1%（328 人）、「現在はしていないが、以前したことがある」と答えた男性は 40.1%（479 人）、女性は 42.7%（378 人）となっており、ともに女性が男性を上回る結果となった。

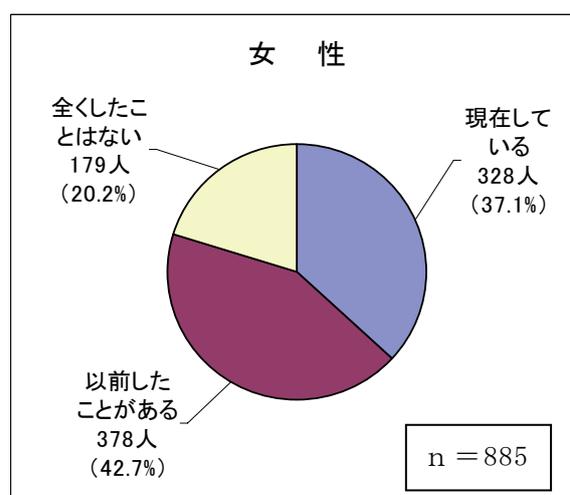
[図 2-4-1、図 2-4-2]



【図 2-3 ボランティア活動の有無（全体）】



【図 2-4-1 ボランティア活動の有無（男性）】



【図 2-4-2 ボランティア活動の有無（女性）】

2 ボランティア活動の分野

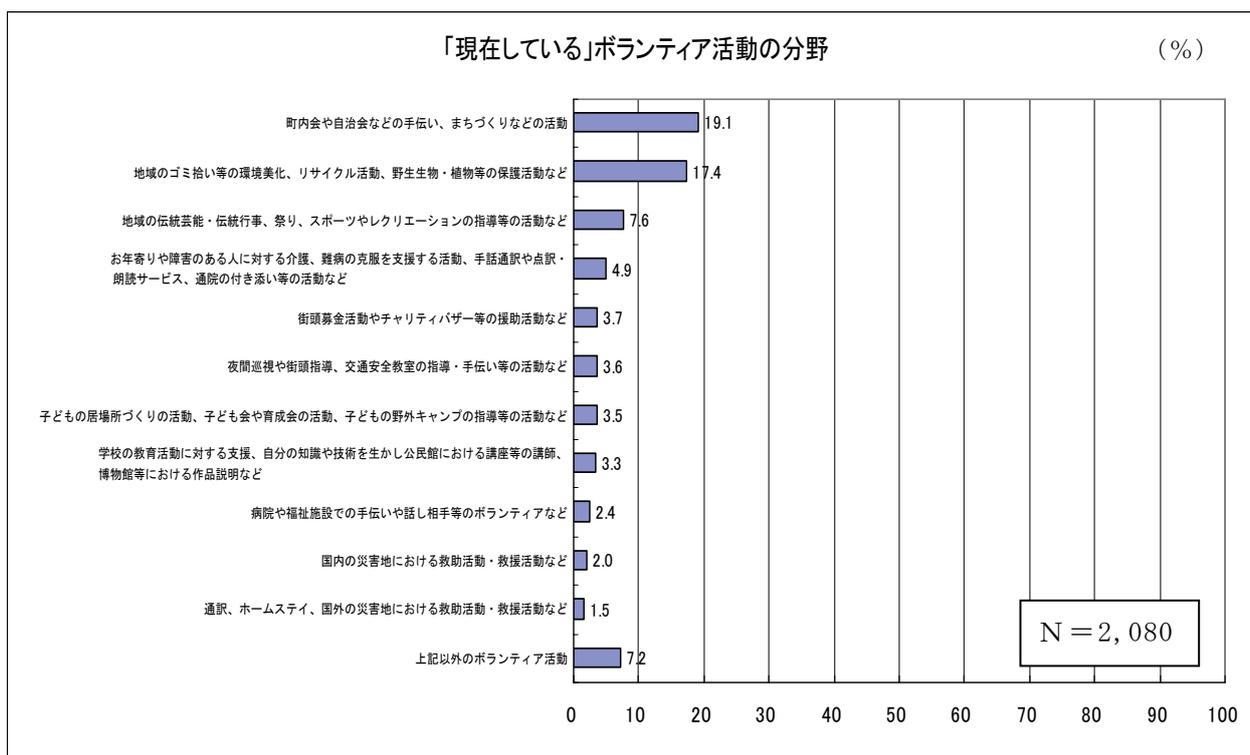
ボランティア活動の分野ごとに、「現在している」、「現在はしていないが、以前したことがある」、「全くしたことはない」を調べた。

「現在している」ボランティア活動の分野の結果を見ると、『町内会や自治会などの手伝い～』（19.1%）、『地域のゴミ拾い等の環境美化～』（17.4%）で高い割合が見られた。【図 2-5-1】

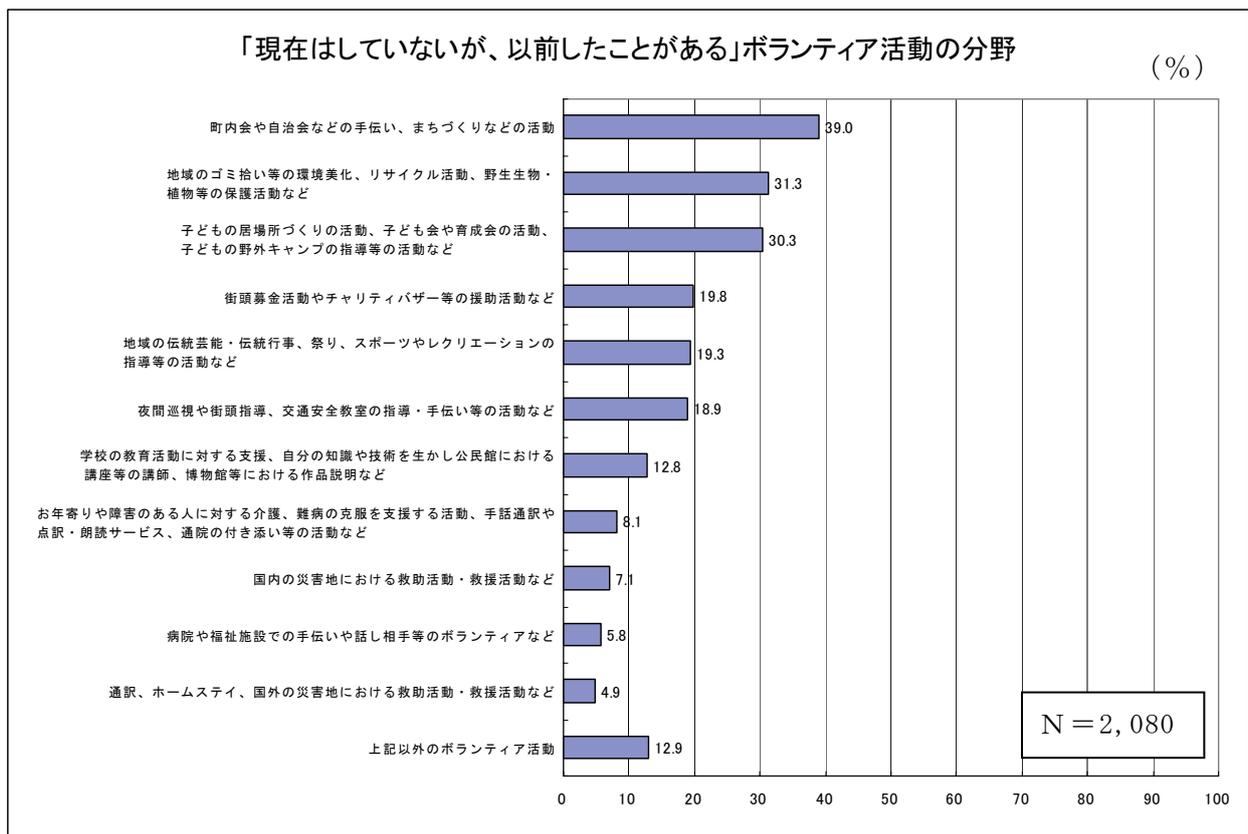
「現在はしていないが、以前したことがある」と回答した人は、『町内会や自治会などの手伝い～』（39.0%）、『地域のゴミ拾い等の環境美化～』（31.3%）が高い割合で見られ、次いで『子どもの居場所づくりの活動～』（30.3%）と続いている。【図 2-5-2】

「全くしたことはない」と回答とした人のボランティア活動の分野を見ると、『通訳、ホームステイ、～』（93.6%）、が最も多く、次いで『病院や福祉施設での手伝い～』（91.8%）、『国内の災害地における救助活動～』（90.9%）、『お年寄りや障害のある人に対する介護』（87.0%）、『学校の教育活動に対する支援～』（83.8%）で高い割合が見られた。これらの活動分野で実施状況の低さが伺われる。【図 2-5-3】

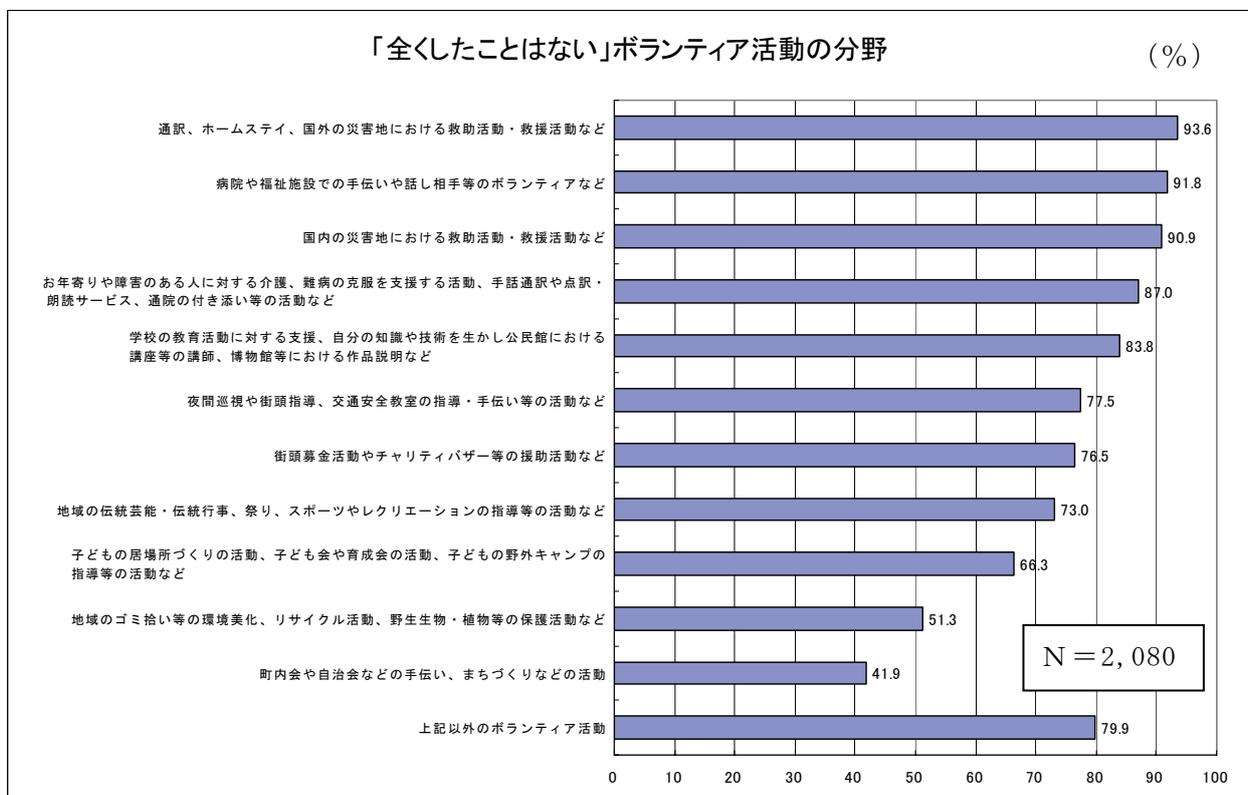
なお、「Q 1 で例示されているボランティア活動以外にしたことがあるボランティア活動」に回答した記述については、巻末「資料」に掲載した。



【図 2-5-1 ボランティア活動の分野（現在している）】



【図 2-5-2 ボランティア活動の分野（現在はしていないが、以前したことがある）】



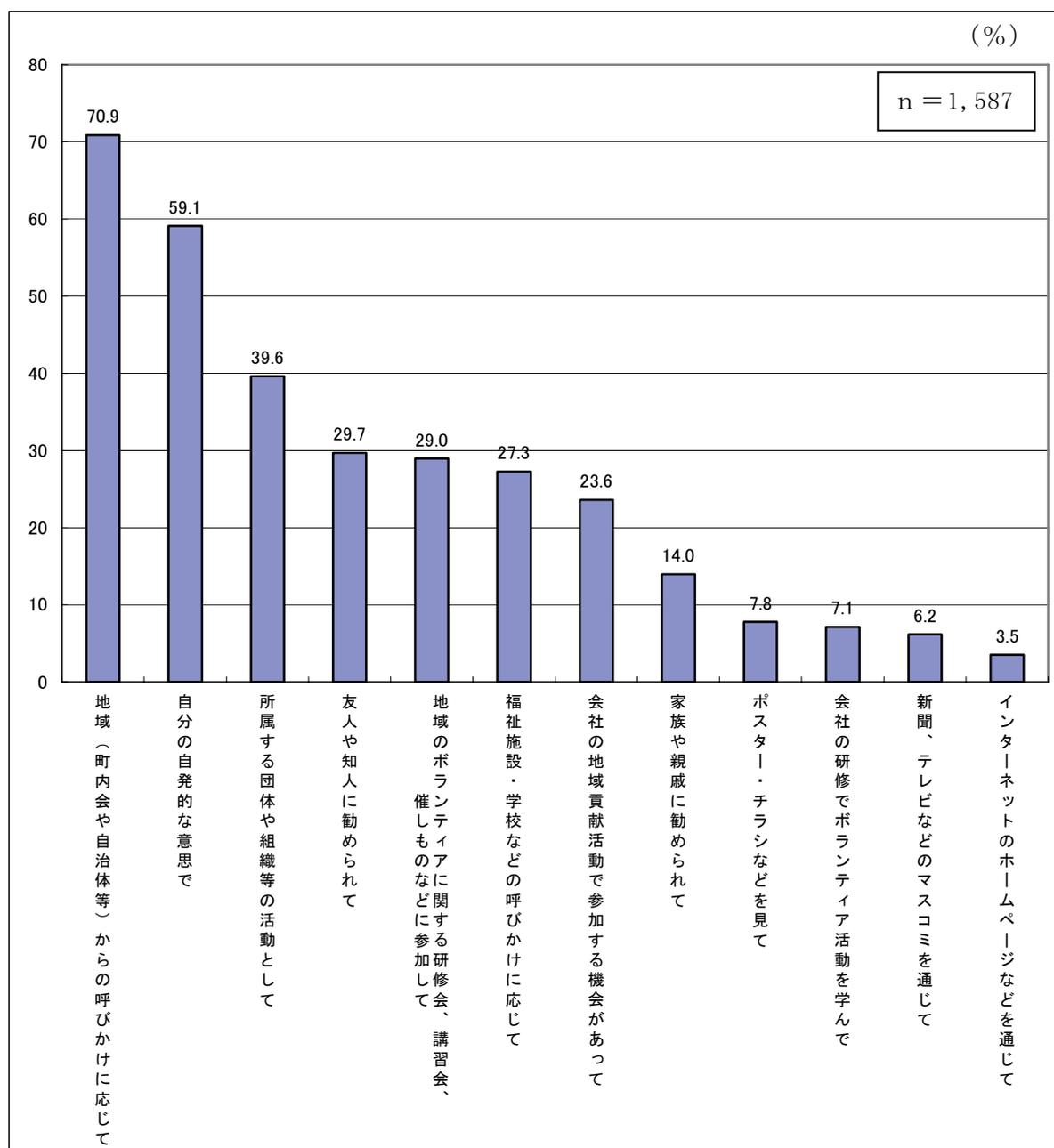
【図 2-5-3 ボランティア活動の分野（全くしたことはない）】

3 ボランティア活動のきっかけについて

ボランティア活動について、ひとつでも「現在している」、「現在はしていないが、以前したことがある」と回答した人（n=1,587）に、ボランティア活動のきっかけを聞いてみると、『地域（町内会や自治会等）からの呼びかけなどに応じて』（70.9%）、『自分の自発的な意思で』（59.1%）が高い割合となった。次いで、『所属する団体や組織等の活動として』（39.8%）となっている。

一方、低い割合となったのは、『会社の研修でボランティア活動を学んで』（7.1%）、『新聞、テレビなどのマスコミを通じて』（6.2%）、『インターネットのホームページなどを通じて』（3.5%）であった。【図 2-6】

なお、「Q 3で例示されているきっかけ以外にボランティア活動をはじめたきっかけ」に回答した記述については、巻末「資料」に掲載した。



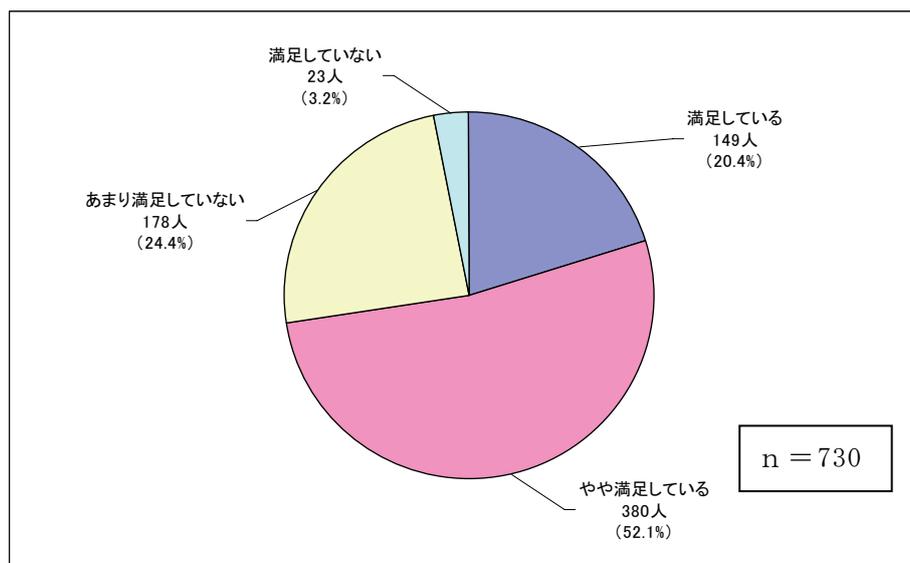
【図 2-6 ボランティア活動のきっかけ】

4 ボランティア活動の満足度

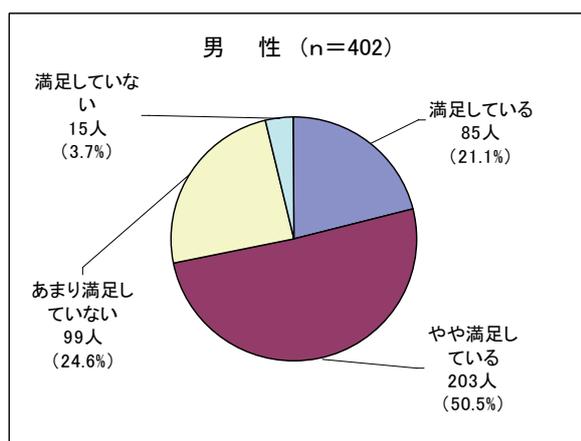
ボランティア活動について、ひとつでも「現在している」と回答した人（ $n = 730$ ）のボランティア活動の満足度を聞いてみると、『満足している』（20.4%）、『やや満足している』（52.1%）を合わせると、満足している人が72.5%と高い結果が出た。[図 2-7]

また、性別での結果を見てみると、男性の満足している割合（71.6%）より女性の満足している割合（73.5%）が若干上回っているものの、その差はわずかであった。

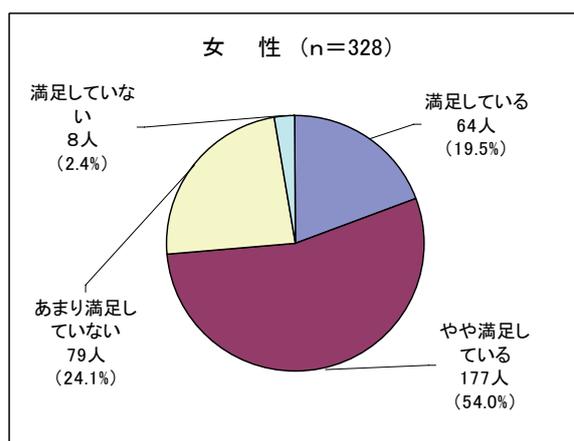
[図 2-7-1、図 2-7-2]



【図 2-7 ボランティア活動の満足度（全体）】



【図 2-8-1 ボランティア活動の満足度（男性）】

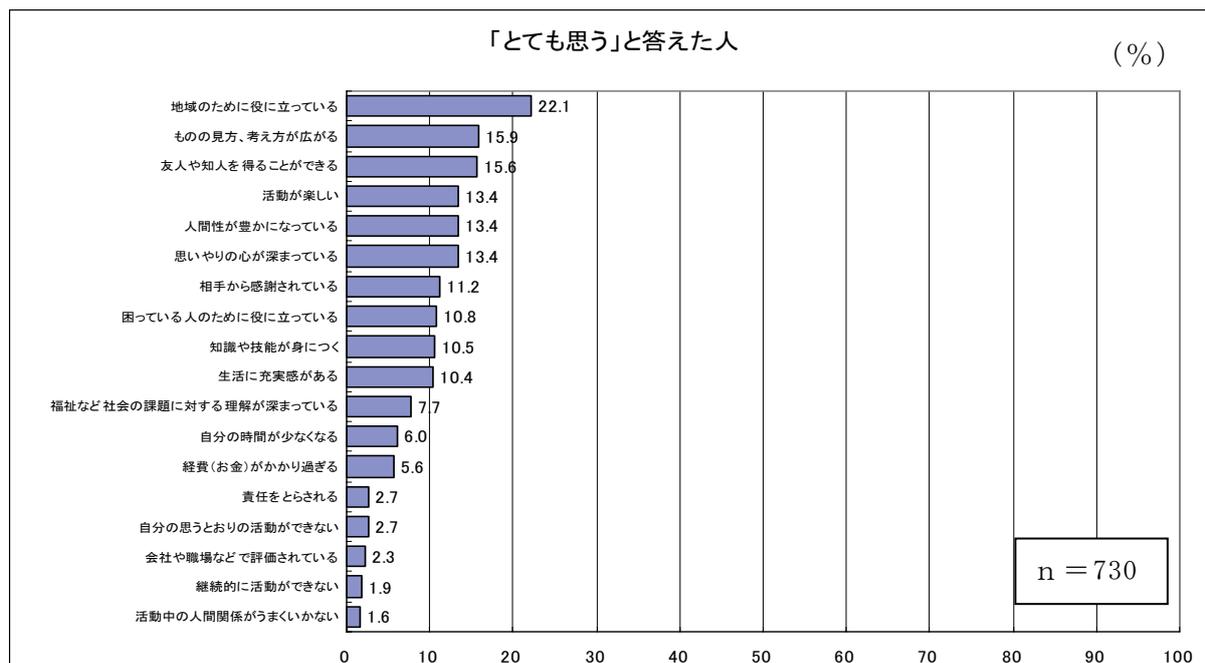


【図 2-8-2 ボランティア活動の満足度（女性）】

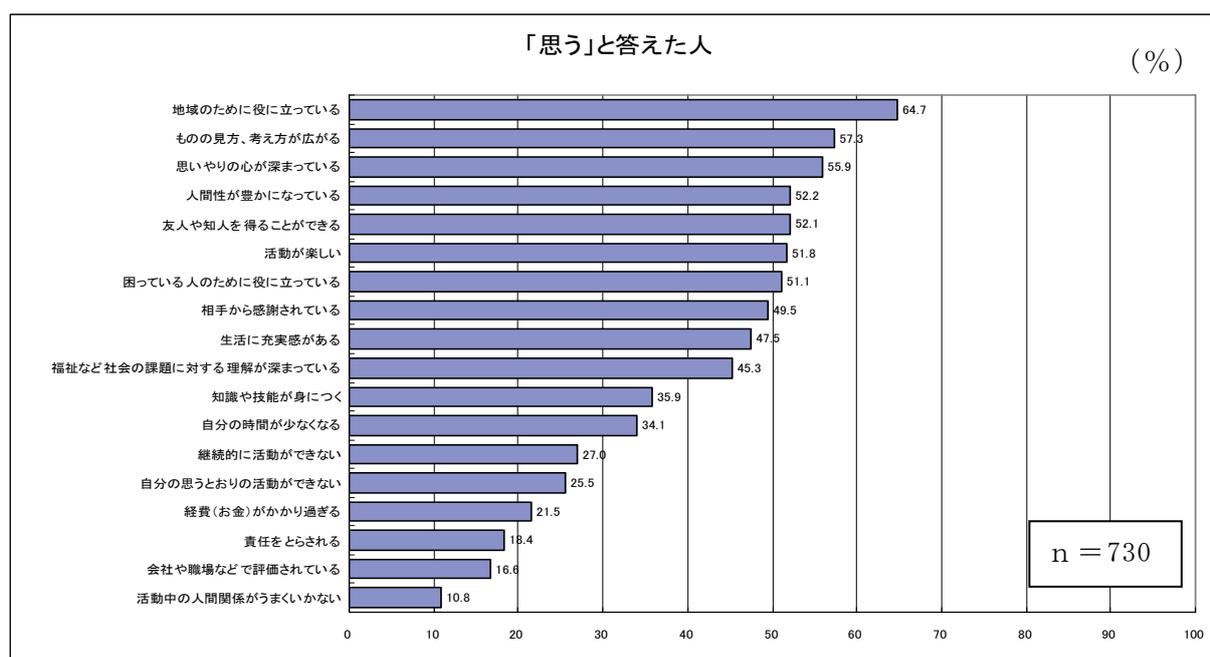
5 ボランティア活動の意識について

ボランティア活動について、ひとつでも「現在している」と回答した人（ $n = 730$ ）のボランティア活動の意識について聞いてみると、『地域のために役立っている』、『ものの見方、考え方が広がる』、『思いやりの心が深まっている』、『友人や知人を得ることができる』で「とても思う」「思う」と回答した人が多く、ボランティア活動の意識は肯定的な傾向にある。

一方、「活動中の人間関係がうまくいかない」や「継続的に活動ができない」など、ボランティア活動に対する否定的な回答の割合は低い傾向が見られた。【図 2-9-1、図 2-9-2】



【図 2-9-1 ボランティア活動の意識（とても思う）】



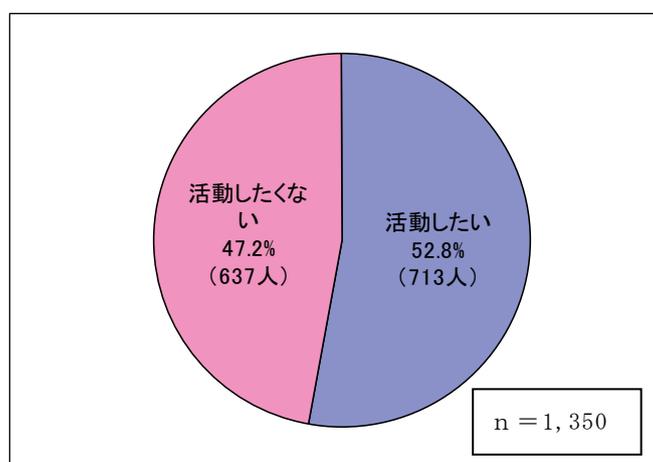
【図 2-9-2 ボランティア活動の意識（思う）】

6 ボランティア活動の意向について

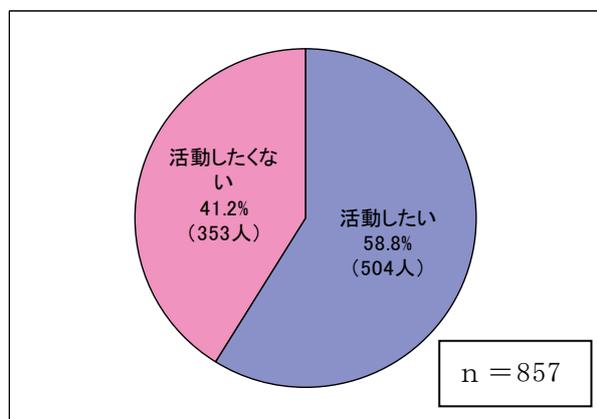
ボランティア活動について、ひとつでも「現在はしていないが、以前したことがある」「全くしたことがない」と答えた人（ $n=1,350$ ）に、ボランティア活動の意向について聞いてみると、『活動したい』と考えている人が52.8%（713人）であり、『活動したくない』と考えている人の47.2%（637人）を5.6ポイント上回っている。

【図 2-10】

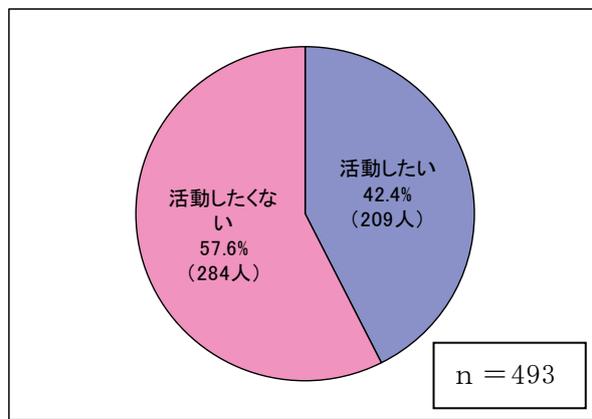
また、「現在はしていないが、以前したことがある」と「全くしたことはない」の回答別でボランティア活動の意向を見てみると、「現在はしていないが、以前したことがある」と回答した人が『活動したい』と考えている割合は58.5%（504人）であり、「全くしたことはない」と回答した人の『活動したい』と考えている割合（42.4%）を大きく上回る結果となった。【図 3-11-1、図 3-11-2】



【図 2-10 ボランティア活動の意向（全体）】



【図 2-11-1 ボランティア活動の意向（現在はしていないが、以前したことがあると答えた人）】



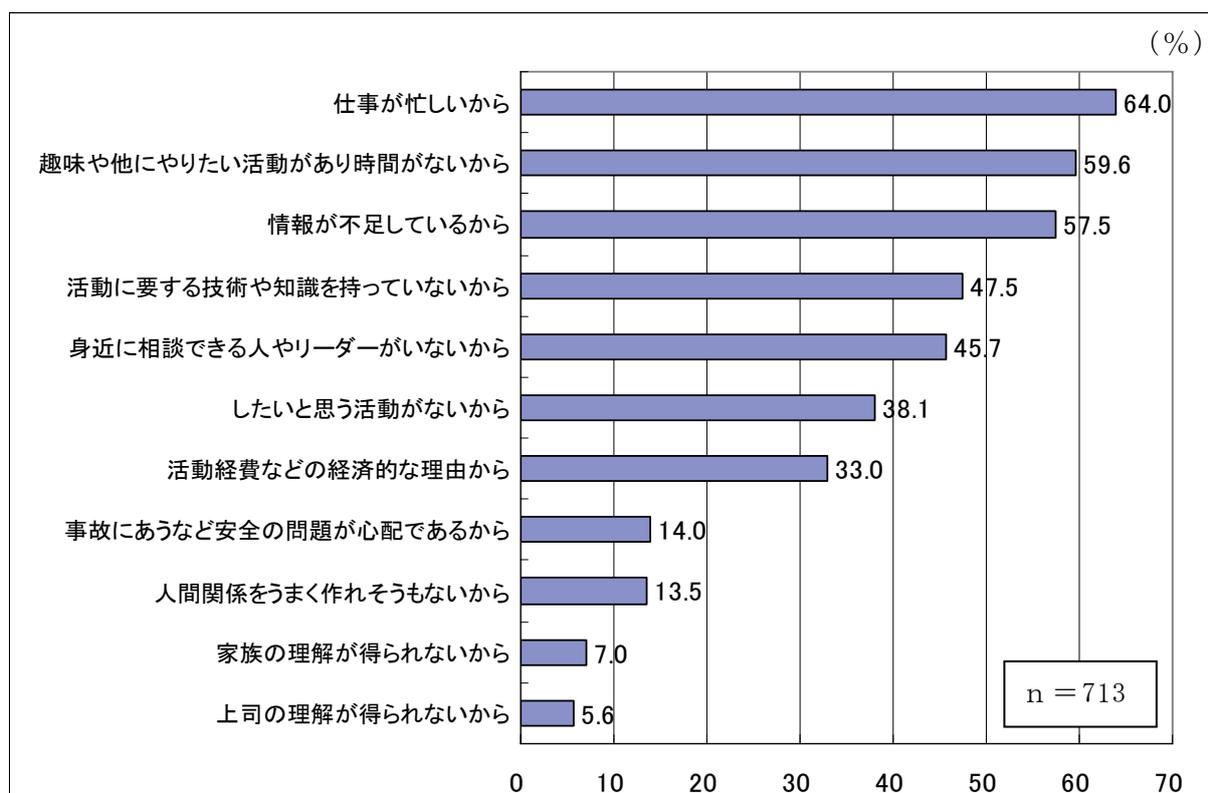
【図 2-11-2 ボランティア活動の意向（全くしたことはないと答えた人）】

7 ボランティア活動に参加できない理由について（Q7で「活動したい」と答えた人）

Q7でボランティア活動の意向について「活動したい」と回答した人（n=713）の、ボランティア活動に参加できない理由を聞いてみると、『仕事が忙しいから』（64.0%）が最も多く、次いで『趣味や他にやりたい活動があり時間がないから』（59.6%）、『情報が不足しているから』（57.5%）となっている。

また、『活動に要する技術や知識を持っていないから』（47.5%）、『身近に相談できる人やリーダーがないから』（45.7%）も4割を超える割合となっている。【図2-12】

なお、「Q8で例示されている理由以外に、ボランティア活動をしたくても、できない・しない理由」に回答した記述については、巻末「資料」に掲載した。

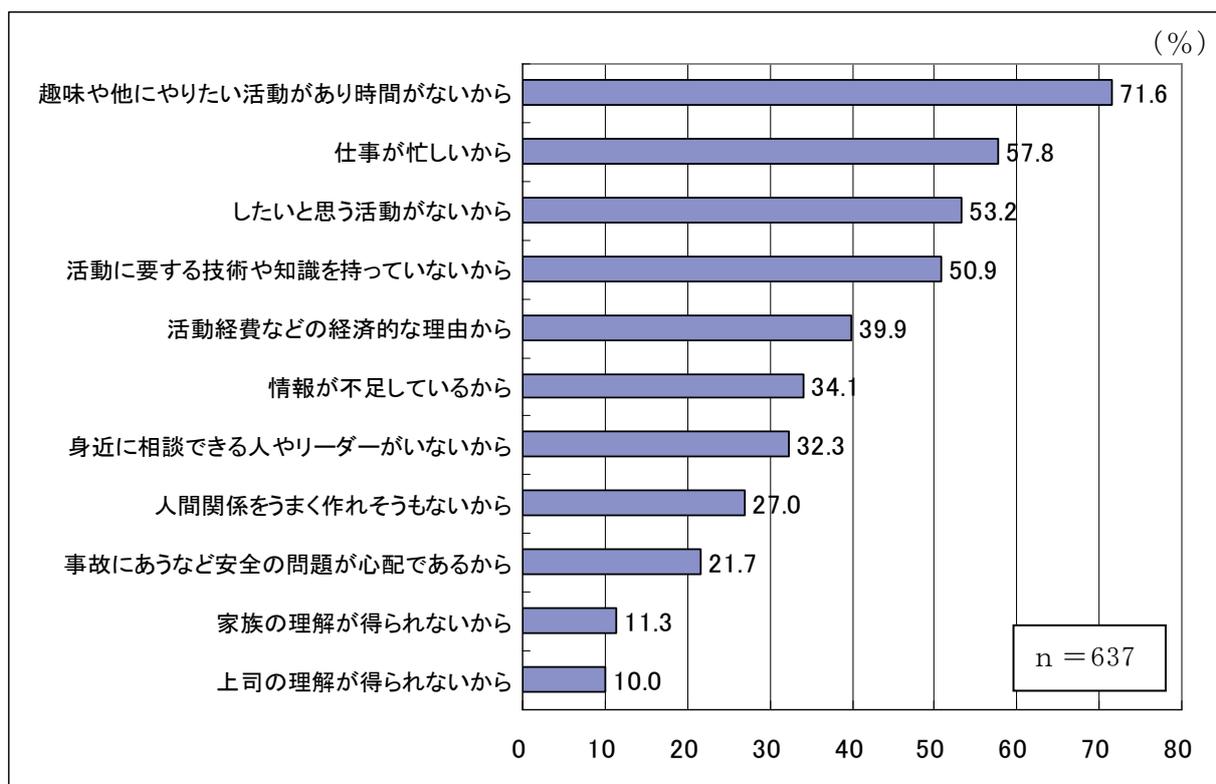


【図2-12 Q7で「活動したい」と回答した人のボランティア活動に参加できない理由】

8 ボランティア活動に参加できない理由について（Q7で「活動したくない」と答えた人）

Q7でボランティア活動の意向について「活動したくない」と回答した人（n=637）の、ボランティア活動に参加できない理由を聞いてみると、『趣味や他にやりたい活動があり時間がないから』（71.6%）が最も多く、次いで『仕事が忙しいから』（57.8%）、『したいと思う活動がないから』（53.2%）、『活動に要する技術や知識を持っていないから』（50.9%）となっている。『活動経費などの経済的な理由から』と回答した人は約4割になっている。【図2-13】

なお、「Q10で例示されている理由以外に、ボランティア活動をしたくない理由」に回答した記述については、巻末「資料」に掲載した。



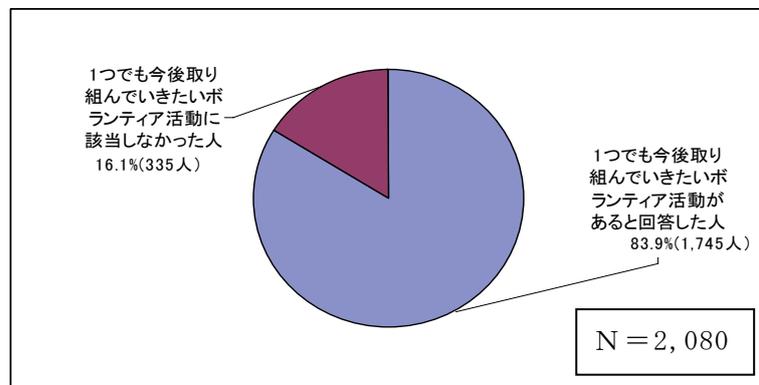
【図2-13 Q7で「活動したくない」と回答した人のボランティア活動に参加できない理由】

9 今後のボランティア活動への参加に対する意向の有無について

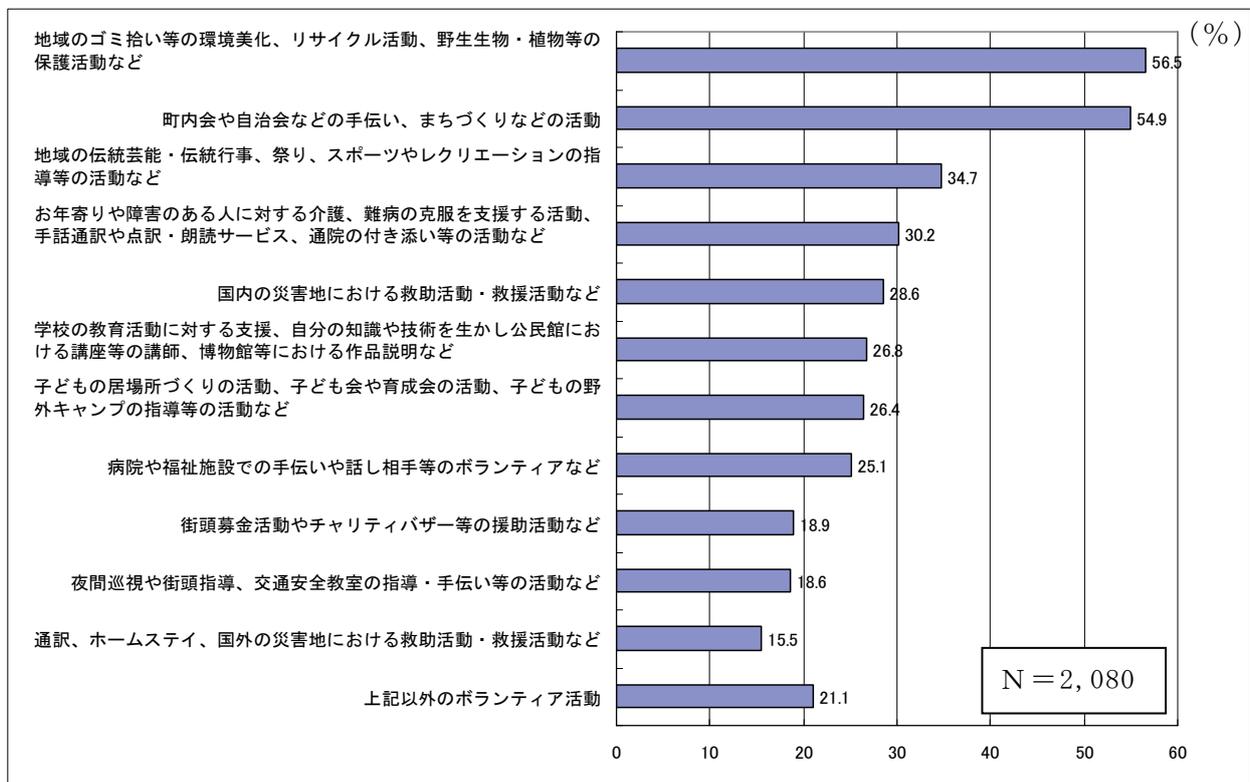
今後のボランティア活動への参加に対する意向について聞いてみると、ひとつでも「今後取り組んでいきたいボランティア活動がある」と回答した人は83.9%(1,745人)、ひとつも該当しなかった人は16.1%(335人)となっている。[図2-14]

今後のボランティア活動の意向の分野について聞いてみると、『地域のゴミ拾い』等の環境問題が56.5%と最も多く、次いで『町内会や自治会などの手伝い』(54.9%)、『地域の伝統芸能・伝統行事』(34.7%)等の地域活動への参画、『お年寄りや障害のある人に対する介護』(30.2%)等の介護福祉が続いている。[図2-15]

なお、「Q12で例示されているボランティア活動以外に、今後取り組んでいきたいボランティア活動」に回答した記述及び「Q12の今後取り組んでいきたいボランティア活動の全てに該当しなかった人の理由」の記述については、巻末「資料」に掲載した。



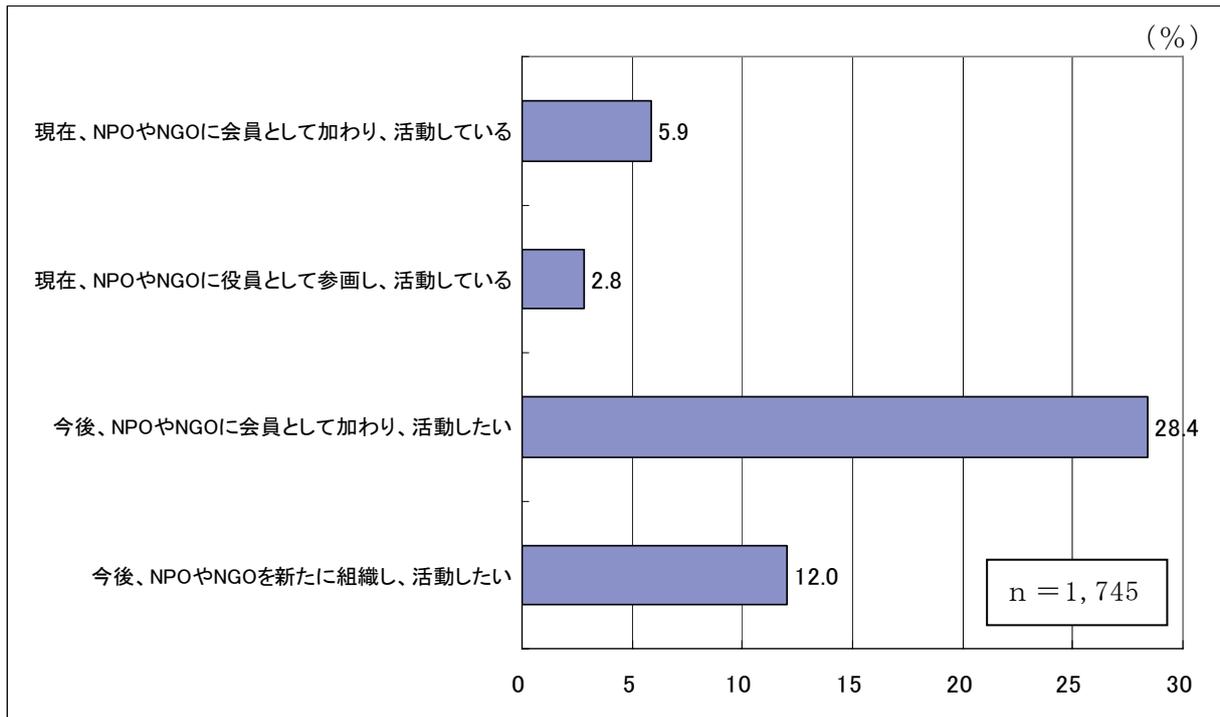
【図2-14 今後のボランティア活動の意向の有無】



【図2-15 今後のボランティア活動の意向の有無】

10 NPO・NGOへの参加の意向について（Q12で「今後（退職後）取り組んでいきたいボランティア活動がある」と回答した人）

「今後（退職後）取り組んでいきたいボランティア活動がある」と回答した人（n = 1,745）に、「NPO・NGOへの参加の意向」を聞いてみると、『今後、NPOやNGOに会員として加わり、活動したい』という意向をもつ人が28.4%（495人）と約3割の人が参加意向を示した。【図 2-16】

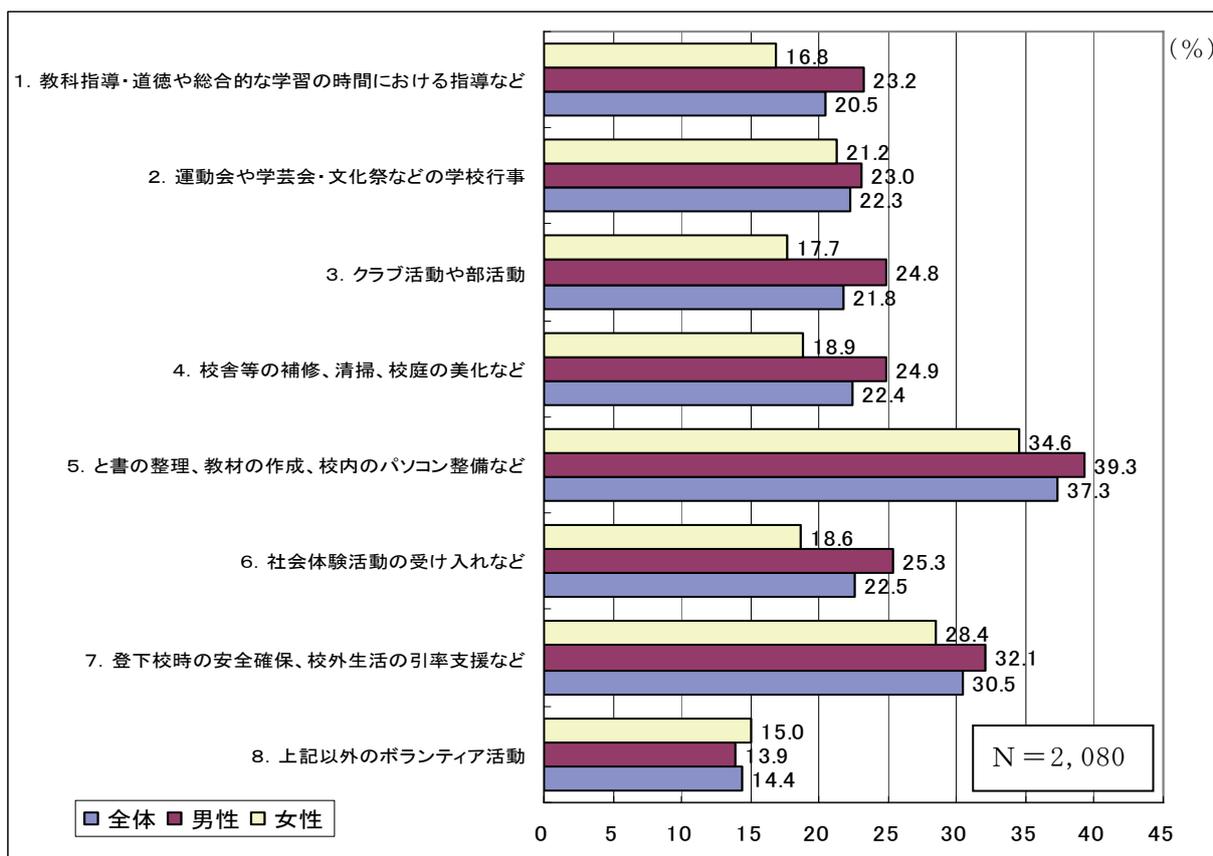


【図 2-16 NPO・NGOへの参加の意向】

11 学校支援ボランティア等に対する活動の意向について

学校支援ボランティア等に対する活動の意向を聞いてみると、『図書の整理、教材の作成、校内のパソコン整備など』(37.3%)が最も多く、次いで『登下校時の安全確保、校外生活の引率支援など』(30.5%)となっている。また、いずれの活動についても2割を超える割合となっている。[図 2-17]

なお、「Q16 で例示されているボランティア活動以外に参加したい子どもの学校生活を支援するボランティア活動」に回答した記述については、巻末「資料」に掲載した。

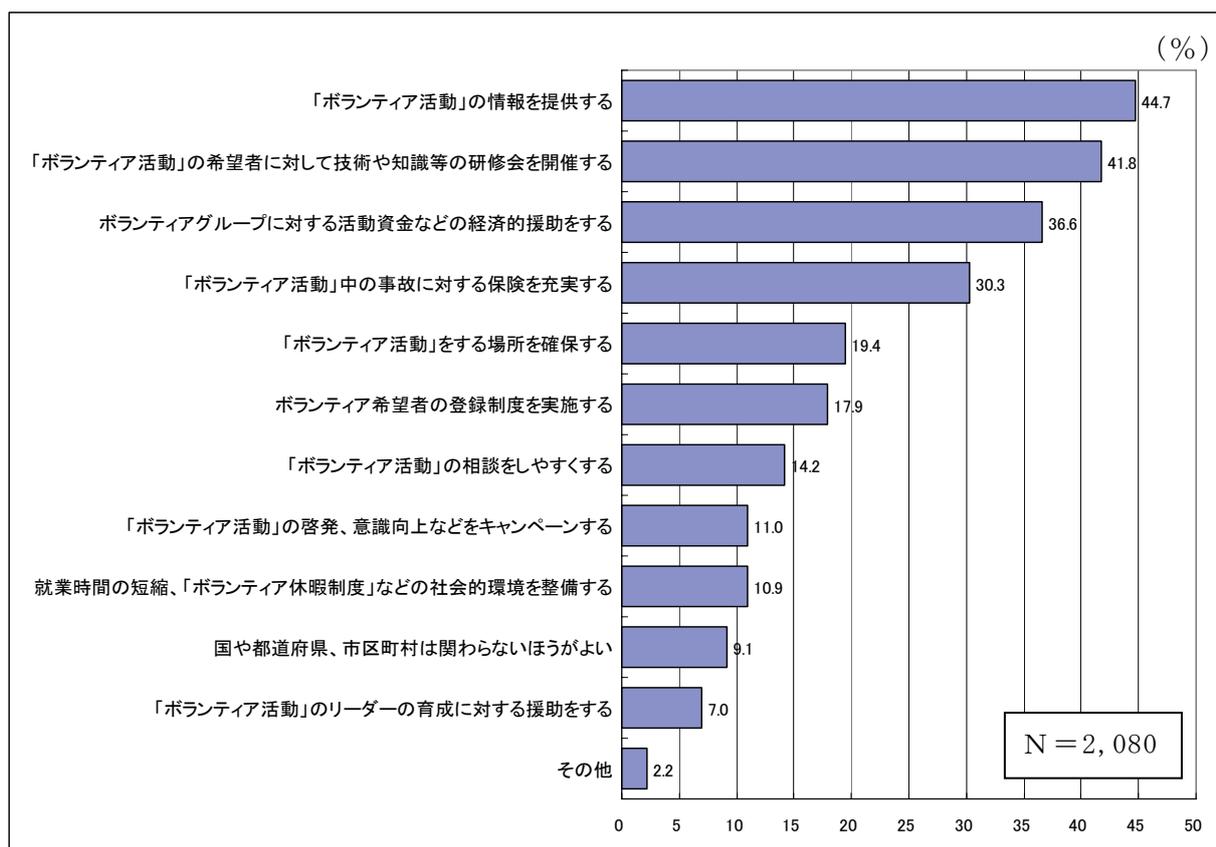


【図 2-17 学校支援ボランティアに対する活動の意向】

12 ボランティア活動への行政の支援に対する要望について

ボランティア活動への行政の支援に対する要望について聞いてみると、『ボランティア活動の情報を提供する』（44.7%）が最も多く、次いで『ボランティア活動の希望者に対して技術や知識等の研修会を開催する』（41.8%）となっている。[図 2-18]

また、『ボランティアグループに対する活動資金などの経済的援助をする』（36.6%）、『ボランティア活動中の事故に対する保険を充実する』（30.3%）も3割を超える割合となっている。[図 2-18]



【図 2-18 ボランティア活動への行政の支援に対する要望】

第3章

調査の結果と分析 ～調査から見えてくるもの～

第3章 調査の結果と分析 ～調査から見えてくるもの～

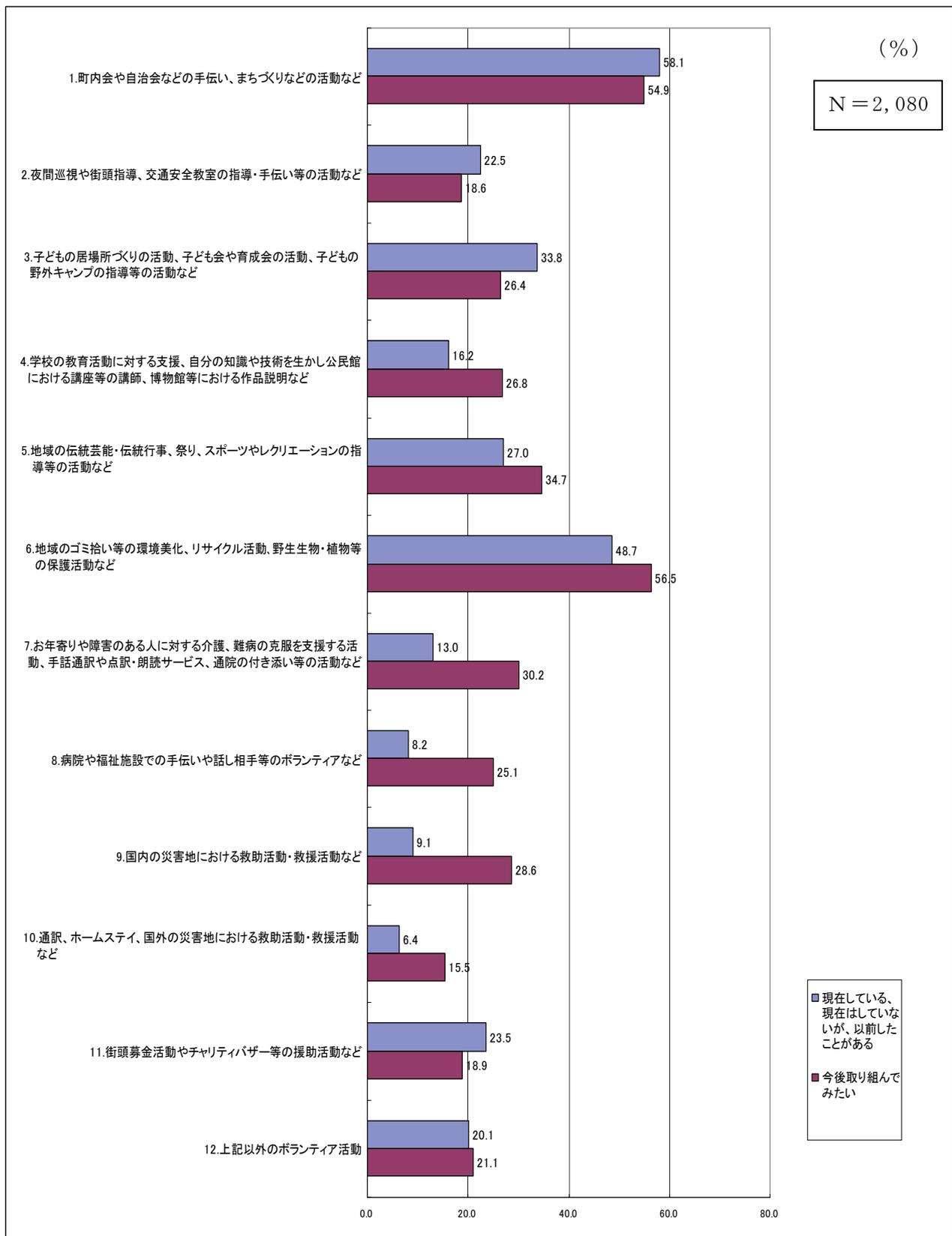
本章では、「団塊の世代」のボランティア活動の「いま」と「これから」について、調査結果から見えてきた特徴的なものを整理してみたい。紙幅に限りがあるので、以下の4点に焦点を絞って述べることにする。

1 これまでのボランティアとこれからのボランティア

図3-1は、現在またはそれ以前のボランティア体験と今後のボランティアの希望を見たものである。現在またはそれ以前に体験した活動で比率が高かったものを順に挙げれば、①町内会・自治会活動、②ゴミ拾いなど環境美化、③子どもの健全育成、④地域イベントの支援などとなる。今後やってみたい活動としては、①ゴミ拾いなど環境美化、②町内会・自治会活動、③地域イベントの支援といった顔ぶれは変わらないが、④福祉ボランティア、⑤災害ボランティアなどの分野が続いて上位に入っている。住んでいる地域に直接関わるボランティアに加えて、より広域で課題性が高いボランティアに目が向けられていることが見てとれる。

次に、現在またはそれ以前のボランティア体験の比率と今後のボランティアの希望の比率を比較してみよう。現在あるいは今までにやった活動の比率に較べて、これからやりたい活動の比率が10ポイント以上上がっているものをみると、学校支援・社会教育活動、福祉ボランティア、福祉・病院施設ボランティア、災害ボランティアがある。地域イベントの支援も今後やってみたい活動で比率が高い。

子どもの健全育成は、逆に今後やってみたい活動の方が比率が低い。自由回答の記述を読むと、今後にボランティアをしにくい要因として、体力の低下、健康不安、家族の介護などが目立っており、課題性の高い活動に関心があるものの、子どもの地域活動や野外キャンプに関わる活動などは体力的な面で躊躇があるようだ。ほかに、今後やってみたい活動で比率が低かったものには、町内会・自治会活動、巡回等の地域安全活動、街頭募金等チャリティ活動などがある。



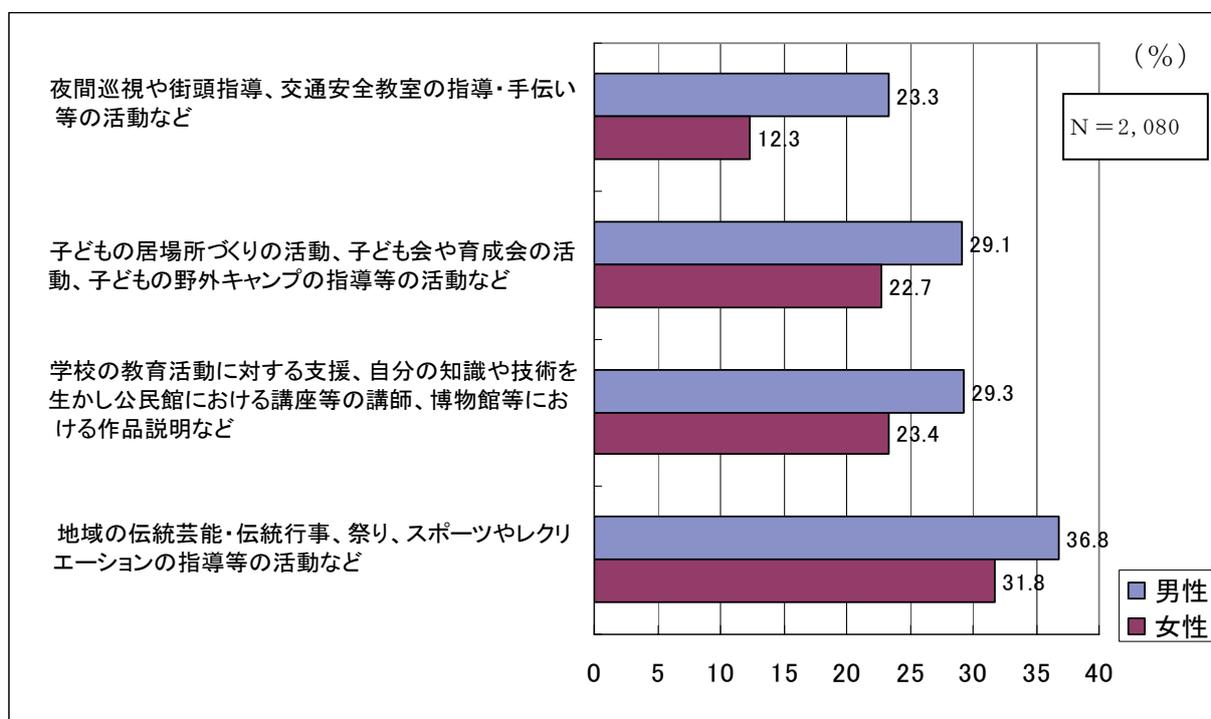
【図 3-1 これまでのボランティアとこれからのボランティア】

2 青少年の育成や生涯学習支援のボランティア

まず、「今後(退職後)ボランティア活動をやってみたい」という人が全体に占める比率を性別で見てもいい(図表割愛)。今後ボランティアをやってみたいという人は、男性で 52.6%、女性で 53.1%となっており、性別の差はほとんどなく、いずれもほぼ半数である。あとの半数はボランティアをしたくないと回答している。

今後ボランティアをしたくないという人にその理由を尋ねたところ、男性で比率が高かったのは、仕事が忙しい、他にやりたい活動がある、情報が足りないなどだった。また女性で比率が高かったのは、家族の理解が得られない、費用がかかる、人間関係に不安がある、事故などが心配などだった。

今後やってみたいボランティア活動について、その分野を青少年の育成や生涯学習支援のボランティアに限って見てみよう。図 3-2 をみると、いずれの活動分野でも、男性の比率が女性の比率を上回っている。とくに、巡回等の地域安全活動では性別で開きが大きくなっている。この巡回等の地域安全活動を現在またはこれまでにやったという人は、性別でほとんど開きがなかったが(どちらも 22%台)、今後希望する活動では女性の比率が大きく減少した結果、性別で開きが生じたと見られる。なお、図表は割愛するが、やってみたい活動で女性の比率が男性の比率を大きく上回ったのは、福祉ボランティア、福祉・病院施設ボランティア、災害ボランティアの分野だった。団塊の世代の男性には、青少年の育成や社会教育分野でのボランティアとして大いに期待できそうである。



【図 3-2 今後やってみたい活動 (青少年育成・生涯学習支援活動分野、性別)】

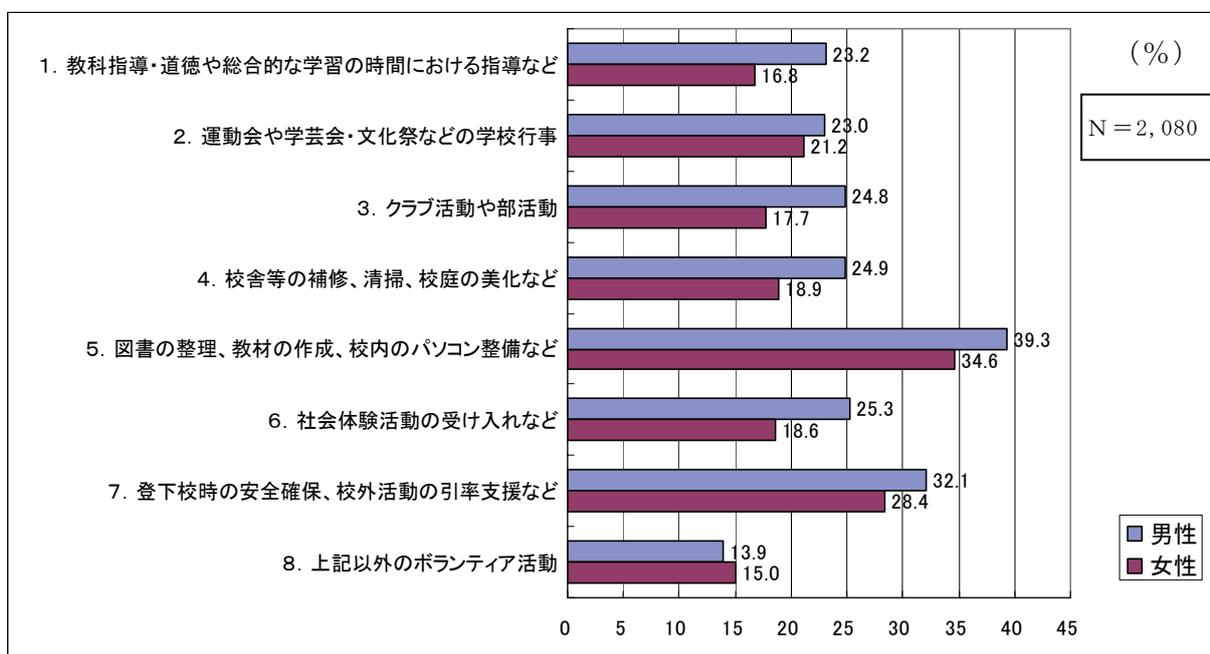
3 学校支援ボランティア

子どもの学校生活を多面的に支援するボランティアは、学校支援ボランティアと総称されることが多い。子どもの豊かな人間性を育むためにも、子どもの安全・安心の通学環境を守るためにもこの分野の活動に対する期待は高まっている。

団塊の世代全体で見ると、今後、学校支援ボランティアをやってみたいという人は、活動内容によって多少比率は異なるが、いずれも全体の約2割から3割となっている。

図3-3は、学校支援ボランティアの活動の希望を性別に見たものである。主な活動のいずれでも男性のボランティア希望者の比率が女性のボランティア希望者の比率を上回っている。とくにクラブ活動や部活動、社会体験活動の受け入れ、総合的な学習の時間等での指導、校舎の補修・清掃や校庭の美化などの分野で男性の希望が女性のそれに比べて高くなっている。ふだんは仕事中心の生活のために学校と縁遠いと思われる団塊の世代の男性であるが、今後のボランティア活動の場として学校を選んでいることから、子どもたちに温かい目が注がれていることが見てとれる。

学校支援ボランティアをしたいと思わない人は全体の7～8割に及ぶが、その理由を自由回答欄で見してみる。理由として、時間がない、他にやりたいことがある、健康不安があるなどが多く挙げられたが、これらのほかに「子どもがいないから」「学校との接点がないから」「子どもへの接し方がわからないから」といった、学校支援ボランティアならではの思いも多く挙がっていた。



【図 3-3 今後やってみたい学校支援ボランティア (性別)】

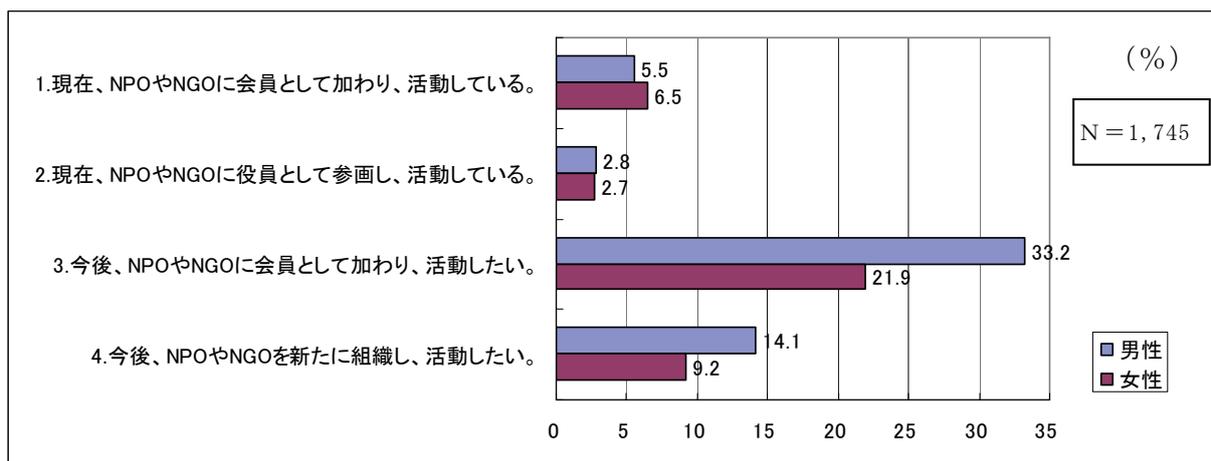
4 NPO活動の今後

平成10年に特定非営利活動促進法（NPO法）が制定されて以来、ボランティア活動などをはじめとする非営利活動組織は急速に発展し様々な事業を各地で展開するに至った。

平成19年1月末現在、認証を受けたNPO法人は全体で3万団体を越えた。本調査では、団塊世代のNPO・NGO活動について訊いている。図3-4はその結果を示している。

現在NPO・NGO活動を行っている人の比率は、性別ではほとんど差異が見られない。しかし、今後のNPO・NGO活動の希望で見ると、性別で大きな開きが見て取れる。NPO等の会員として活動したい男性は全体の約3割、それに対して女性ではその比率が約2割となっている。またNPO等の組織を新たに組織したいという人も、男性で高い比率となっている。

NPO・NGOは、かならずしもボランティアとしての活動を志向しているわけではなく、団体によっては、実際に活動を継続するために収益を挙げ、実働に対しては対価を支払うなどの事業体制をもつ。とくに団塊の世代の男性には、NPO等がもつ高い公益性と実働対価の考え方に対する共感があるように思われる。



【図 3-4 これまでとこれからのNPO・NGO活動（性別）】

調査結果の分析では、性別集計を主に用いたが、性別集計の傾向は、就労層・主婦層別の集計と同一の傾向があった。

調査の分析を通して、現在就労している団塊の世代の少なからぬ人々が、退職後の活動としてボランティア活動を視野に入れていることがわかった。また、現在ボランティア活動に目が向いていない人たちについても、適切な情報や活動のきっかけ等の条件次第ではボランティア活動に入っていく可能性が高いことも感触として手ごたえを得た。適切なタイミングで彼らの背中をポンと押しだしてあげられるような仕掛けづくりができないか。その手がかりを改めて得られたように思う。

（野島正也）

第 4 章

提 言

第4章 提言 団塊世代と社会参加の可能性 —高年よ、高志をいだけ

第1節 暗黙知の継承

戦後社会の牽引力になってきた団塊世代が大量に職場を離れることは重大な社会問題である。例えば、学校現場では多数の団塊世代の教員が退き若い教員の割合が高まっている。このためベテラン教師が試行錯誤し習得した授業のノウハウ、生徒指導のツボが継承されない。また日本経済を支えてきた製造業の現場でも「ものづくり」の技能が伝承されにくくなっている。さいわい知識・技能は文字・数字だけでなく静止画・音声・動画などでデジタル化され、保存・蓄積・伝達されつつある。しかし「ものづくり」や「ひとづくり」の現場で欠かせない暗黙知 tacit knowledge は言葉や映像に置き換えられない。それはベテランの技（身体知）を見様見真似で「盗む」ように学んでもらうしかない。

したがって、デジタル化困難な知識や技能の継承は社会のさまざまな分野で緊要な課題である。広く「ひとづくり」「まちづくり」「ものづくり」の知識・技能の継承も欠かせない。にもかかわらず、現実には、平成不況のもとで団塊世代のようなベテランの定年を伸ばすことは不可能である。ここには大きなジレンマがある。

このジレンマを解決する方向を3点、指摘しよう。

第2節 団塊世代の社会参加

一つは団塊世代が働く場を積極的に提供することである。さいわい今回の調査にあるとおり、団塊世代はボランティア活動に積極的である。現役の社会人の約4分の3の人がボランティアとしての経験がある。またその満足度も高いので、NPOやNGOへの参加に前向きである。独立行政法人の労働政策研究・研修機構の『『団塊の世代』の就業と生活のビジョンに関する調査』（平成19年）でも就業への意欲とともに、社会参加への期待をもっている。現役の雇用者・自営業者は「ボランティア活動など社会的活動」に積極的である。しかも、現在は就業への希望の方が強いものの、60歳代の後半から70歳代になると反比例するようにボランティア活動への希望が上昇している。また、この団塊世代の男性の妻への調査でも男性以上に社会参加を希望している。

ただし、今回の調査でボランティア活動をしたいが「情報が不足している」ことを挙げる人が多く、「活動したくない」人でもしたくない理由として「したいと思う活動がないから」が目立つ。したがって、今後、ボランティア活動の場の開拓と一層のPR活動とを各自自治体が総掛かりで展開する必要がある。

場の開拓というのは行政や民間が想定しなかったような学校や社会教育、病院、災害、環境問題などで働きうる場である（第3章の例証を参照）。ボランティア活動が活発になればなるほど、新しい活動への要請が生まれるから場の開拓は欠かせない。それは企業がニッチ（すき間）に新規事業を開拓するように、である。PR活動については、従来の紙媒体に頼らず、現実に効果的である「口コミ」（調査の「友人・知人に勧められて」）を、しかも現代の「口コミ」としてメールやブログ、キーワード検索などインターネットにまで拡張する必要がある。そうすれば、近隣だけではなく交通の便のよい他地域の住民や遠距離のボランティア希望者も、活動への参加と場の開拓事業への参加を

期待できる。ちなみに文部科学省は平成 19 年度から「団塊世代等社会参加促進のための（教育サポーター制度の創設）調査研究」を進める。「教育サポーター」の研修として通信教育等の活用が検討課題になっているが、インターネットは学習プログラムの提供だけではなく、広くボランティア活動の普及やPRのツールとしても強い味方になる。

第3節 働きがいの再評価

第2に、「ひとつづくり・まちづくり・ものづくり」には働きがいの再評価、わが国の歴史的な遺産の継承が必要である。

私は生涯学習ボランティア活動やNPO活動の現場を観察しているが、志を明確にでき輝いている人がいる反面、定年前の管理職・ベテラン職人としてのプライドが挫かれやがて活動の場から去っていく人がいる。なぜか。日本人は伝統的に「出る杭は打たれる」と言われてきた。かつてボランティア活動が活発でなかった時期は「縁の下の力持ち」という陰徳が尊重され「差し出がましいことはするな」と言われてきた。しかし、今、ボランティアたちの現場では「出ない杭は腐る」傾向がとりわけ男性に見られる。

ところで、野村総合研究所が平成 12 年に全国の 15 歳から 65 歳の男女を対象に実施した「生活者 1 万人アンケート調査」がある。これによれば「自分の能力や専門性を高めることで社会的に認められたい」という選択肢に「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」とを加えると、男性で 78.7%、女性で 69.4%、全体で4分の3の人が肯定している。会社より自分の生活を重視するという分析もされているけれども、それは「社会的に認められたい」というニーズと一体なのである。NHK放送文化研究所が 16 歳以上の国民を対象に調べた社会調査でも一番理想的な仕事の条件は「専門知識や特技が活かせる仕事」である。この質問には昭和 48 年以来、上昇傾向にあり、平成 15 年には 20%である。理想的とされるもう一つの仕事も「仲間と楽しく働ける仕事」である。平成 15 年で「専門知識や特技が活かせる仕事」と同じ 20%である。二番目に上げた人を加えると、41%である。この 4 割という数字は昭和 48 年以降、ほぼ変わらない割合である。

生涯学習の現場でも「表現化要求」という類似のニーズが見られる。近年、ソーシャル・ダンスやフラダンスが盛んである。子どものお稽古事であったピアノやエレクトーン、フラメンコやクラシックバレエを中高年が学んでいる。観劇好きの素人が俳優の養成所に開設された「ミドルシニア部」の生徒となる。この学習活動は衣装に見られるように自己表現への意思が満たされ、拍手によって観客から認められる喜びを享受しているのである。ブログを開設したりSNSに参加したりする人びとも同じ自己表現への関心の高さを示す。撮った写真、見た映画、読んだ本をインターネットで公開し、それを見た人からの反応・反響によって自分が世間で認められたと実感するのである。カラオケが浸透することによって歌う聴衆や踊る観客が登場し、サッカー選手の自己アピールに甲高い声援とウェーブで応える状況になっているのである。

したがって、不況下で職やカネや安いモノへのニーズが高いように喧伝されているけれども、職業であれボランティア活動であれ、他人や社会的に認められる「働きがい」のある仕事、できれば「自分の能力や専門性」が生きる仕事を人びとは求めている。換言すれば、自己表現の機会がなかったり社会的に認められなかったりすると、働きがいを

喪失するのである。「出ない杭は腐る」ゆえんである。

第2次大戦後、団塊世代が生まれたころ、わが国は平成不況とは比べものにならないほど財政的には逼迫していた。暮らすという生活の基盤自体が危機に瀕していた。にもかかわらず、地域住民の自発的な活動が全国各地で展開していた。教育問題に限っても、学校や公民館を善くするために人びとは熱心に活動し、まちづくりに勤しんだ。半世紀を経て戦後改革の見直しは要請されるけれども、自発的な活動へのあの意気込みは思い起こしてよい。一言でいえば「働きがい」があったからできたのではないか。

この点は最近の歴史的な研究も明らかにしている。江戸時代には飢饉に代表されるような困難な生活が続いたが、日本ではヨーロッパのような石炭と蒸気機関による産業革命（Industrial Revolution）ではなく「勤勉革命」（Industrious Revolution 速水融説）によって生産性を高めていた。経済的・物理的豊さよりも「働きがい」を追求し、しかも食えないから働かざるを得ないという非自発的な労働ではなく、貧しいながらも「働きがい」を糧に豊かな江戸文化を形成したのである。この「勤勉革命」が明治期の改革を可能にしたのはいうまでもない。

第4節 学縁づくりの推進

したがって、第3に、団塊世代の社会参加を活発にするには「まわりから認められる」という意識を醸成していく必要がある。特定の人々が「仕切る」ような組織をつくらないことが望ましい。換言すれば学習を絆とする「学縁づくり」が欠かせない。一般に高齢期になると職縁（社縁）や血縁が弱まるから、コンボイ（人的ネットワーク、本人を見守ってくれるサポーター）の再形成が必要である。団塊の世代同士だけでなく、世代間の絆も欠かせない。その点で学習活動は絆をつくるきっかけとして有力である。とくに男性は地縁に弱いので女性とともに対等に、学習活動で学縁づくりを推進できる。

興味深い調査がある。「さいたまNPOセンター」が『『おじさん』受け入れプロジェクト』として実施したアンケート調査（平成16年）である。「地域にかえってくるシニア男性を女性リーダーはどう迎えるか?」。この問いに女性リーダーは男性メンバーが入りたいなら「受け入れる」、しかし「歓迎する」には積極的ではない。手伝ってもらっても「車の運転」「パソコンの操作」「大工仕事」などの仕事である。だから、東京都武蔵野市の社会福祉協議会ボランティアセンターは、主に定年後の男性の地域参加を促す試みをしている。イベントの名称も「お父さんお帰りなさいパーティ」である。生活福祉課を中心に公募の市民による「DANKAIプロジェクト」を支援し、その結果、市民自らが『団塊力』という報告書を作成し、団塊世代が共に自立することを提案している。

私ども委員会は東京都杉並区立和田中学校（校長は藤原和博委員）の現地調査をした。著名な「よのなか科」の授業は既成の教科書に頼らず、地域の大人・参観者が教師とともに生徒たちに「世間という大きな書物」（R. デカルト）を投げ入れる。大人がそれぞれの職場で習得した生きた世間の知恵を伝える。学校自体も地域社会の本部として「土曜寺子屋」、「図書室の運営」、「グリーンキーパーズ」（緑の救援隊）などを実践している。こうして学校を拠点に地域の「学縁づくり」を進めている。藤原校長は「志立学校」を目指すと熱く語っていたが、不況下だからこそ「志」は重要である。

明治初期には男性青年に大志を抱くことが説かれたが、それを説いた人物は当時 50 歳、この時代にはもう老人であった。だから「少年よ大志をいだけ」の後に実は「like this old man」と添えたと伝えられる（『北海道大学百二十五年史』など）。私は団塊世代の女性にも男性にも、広く高齢者に「高年よ、高志をいだけ」と言いたい。行政支援もこの志を側面から生かす「働きがい」のある施策を提起してほしい。（白石 克己）

参考文献

- NHK放送文化研究所編：現代日本人の意識構造（第六版）日本放送出版協会 2004
藤原和博：公教育の未来 ベネッセコーポレーション 2005
速水融：歴史人口学で見た日本 文藝春秋 2001

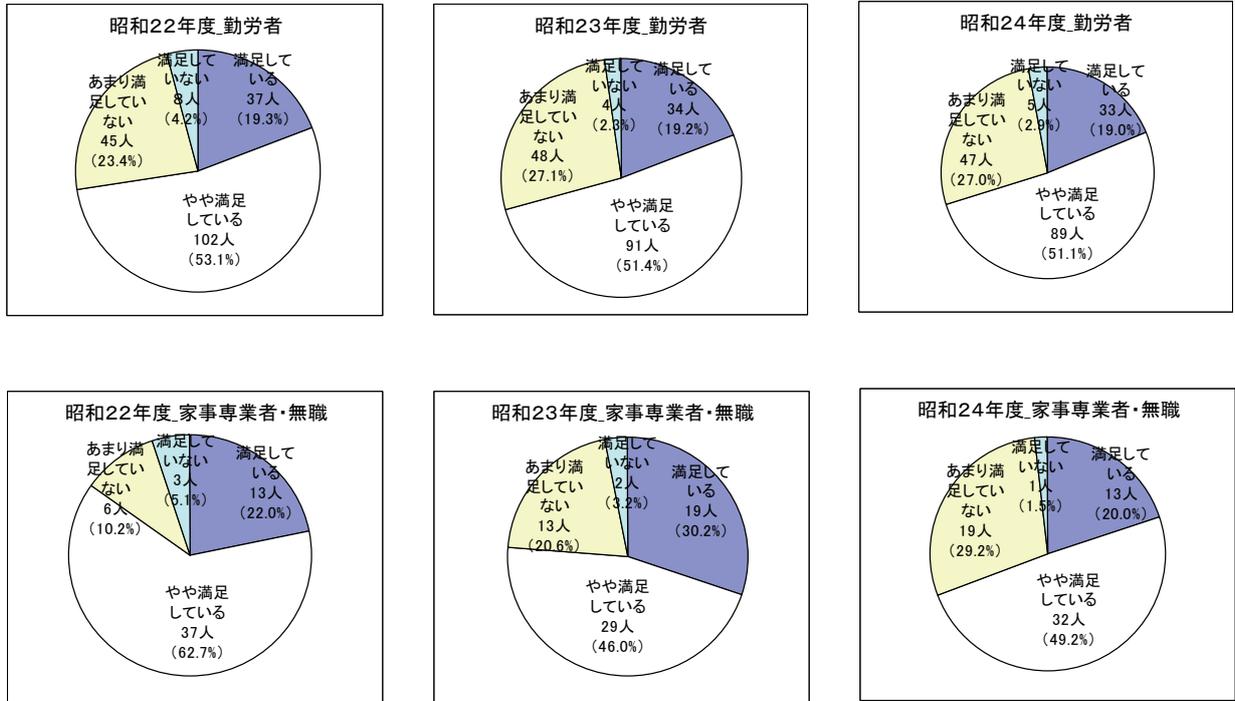
參考資料

参考資料：データから見る「団塊世代」の特徴

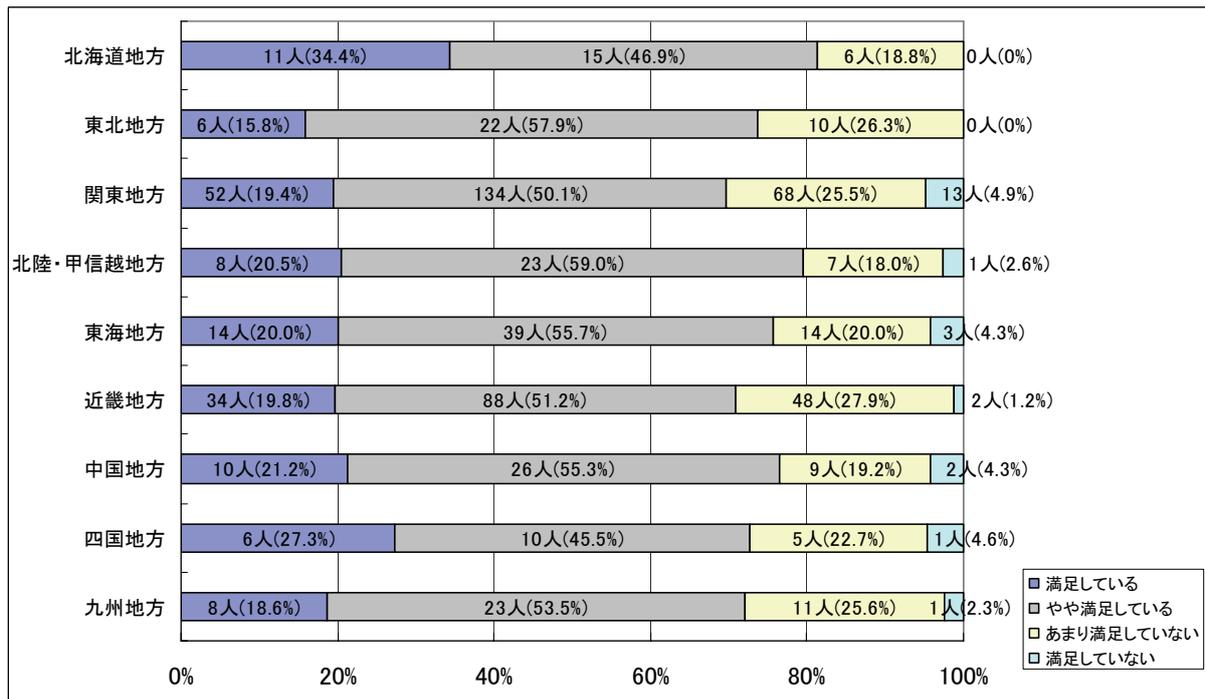
1 回答者の主要な属性から見る、ボランティア活動の満足度

〔ボランティア活動について、ひとつでも「現在している」と回答した人（n＝730）のボランティア活動の満足度〕

(1) 対象別



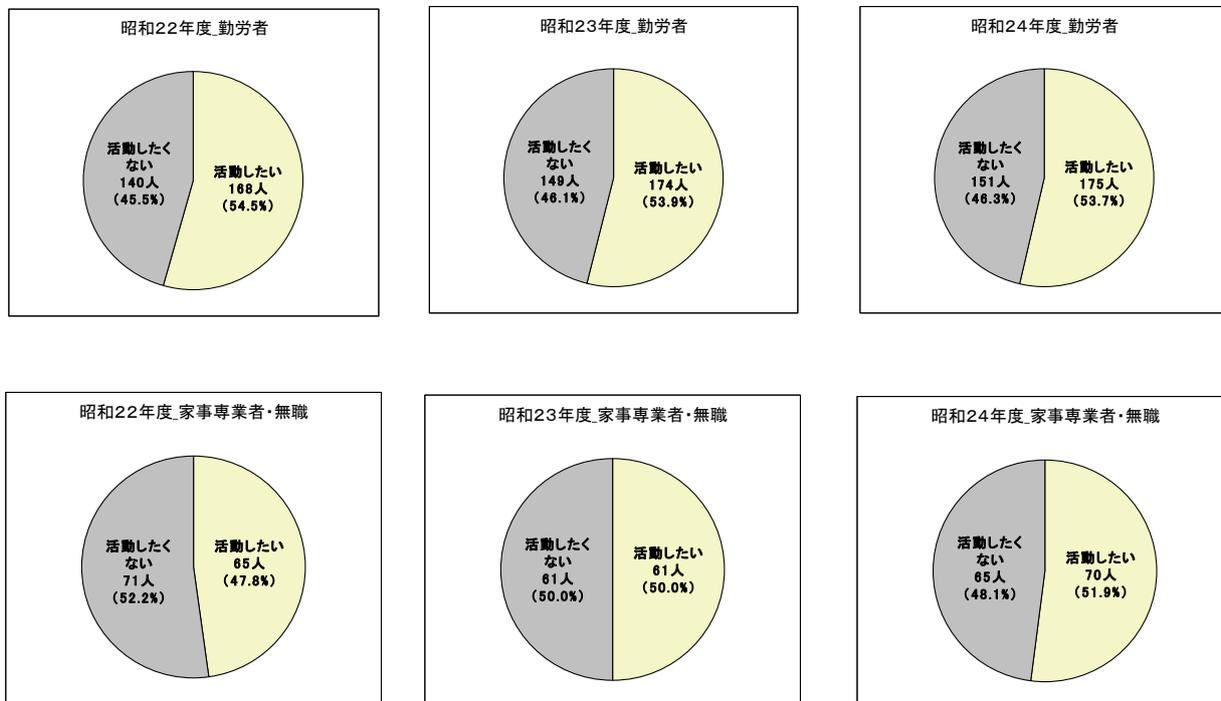
(2) 地域ブロック別



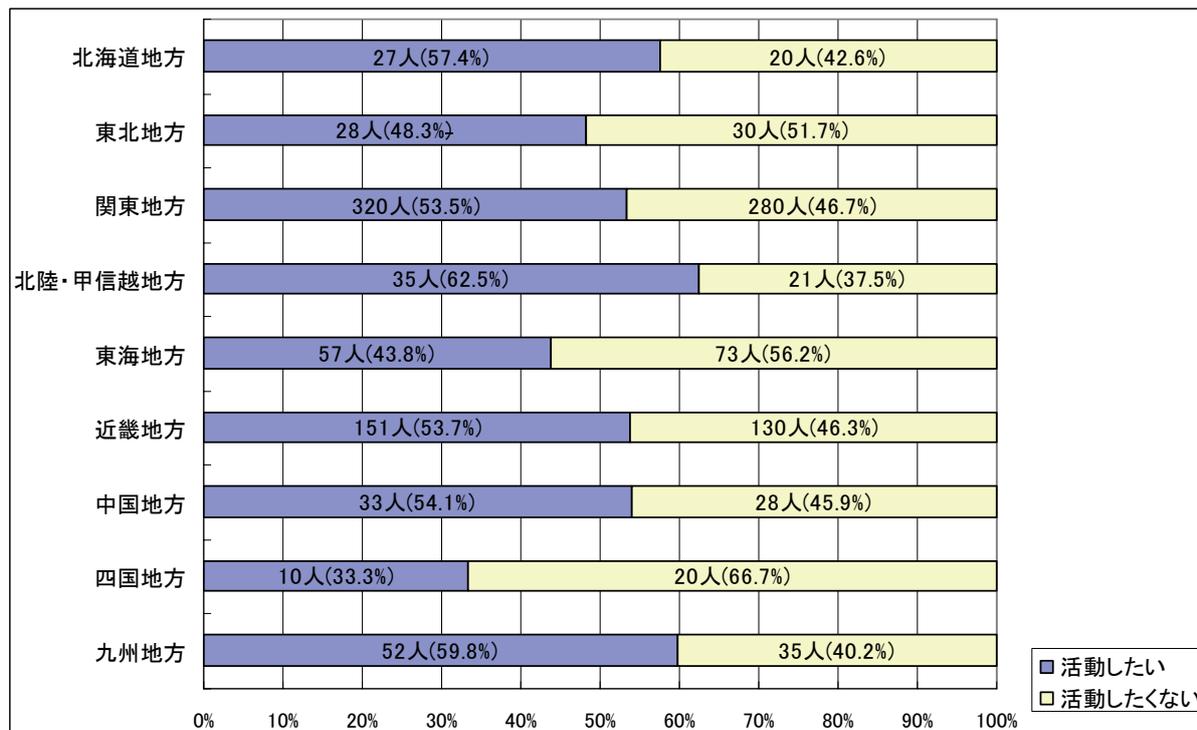
2 回答者の主要な属性から見る、ボランティア活動の意向

〔ボランティア活動について、ひとつでも「現在はしていないが、以前したことがある」「全くしたことはない」と回答した人（n=1,350）のボランティア活動の意向〕

(1) 対象別



(地域ブロック別)



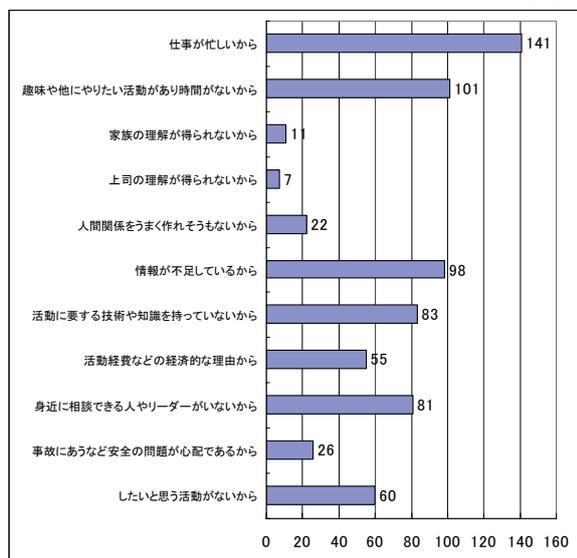
3 回答者の主要な属性から見る、ボランティア活動に参加できない理由

(1) 対象別（活動意識のある人）

〔ボランティア活動の意向について、「活動したい」と回答した人（n = 713）の、ボランティア活動に参加できない理由〕

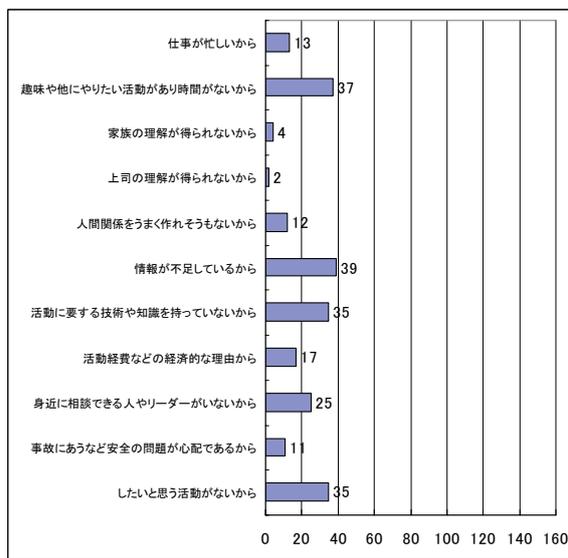
昭和 22 年度 勤労者

(人)



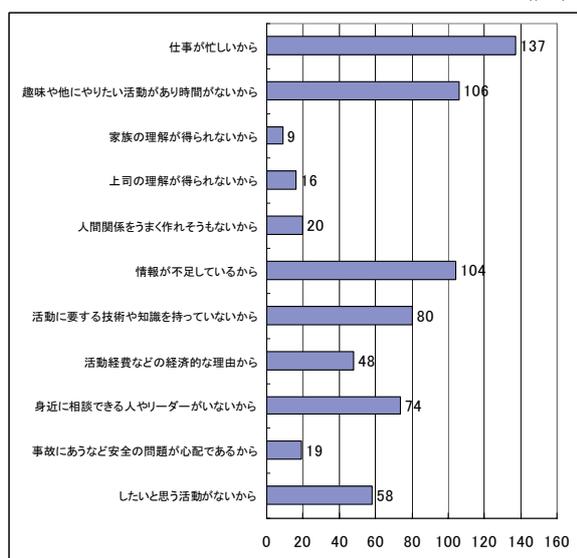
昭和 22 年度 家事専業者・無職

(人)



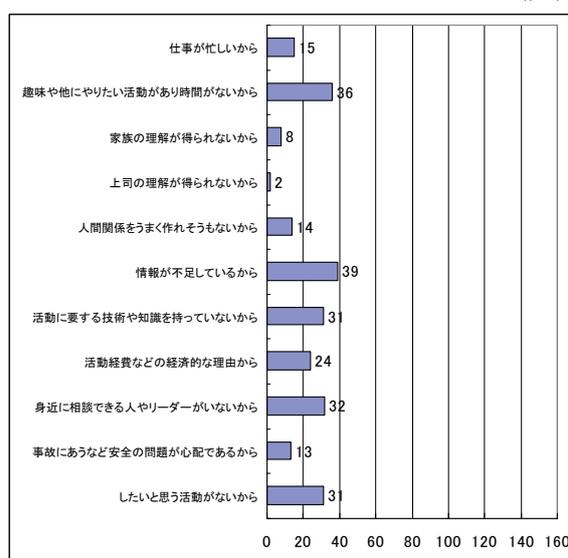
昭和 23 年度 勤労者

(人)

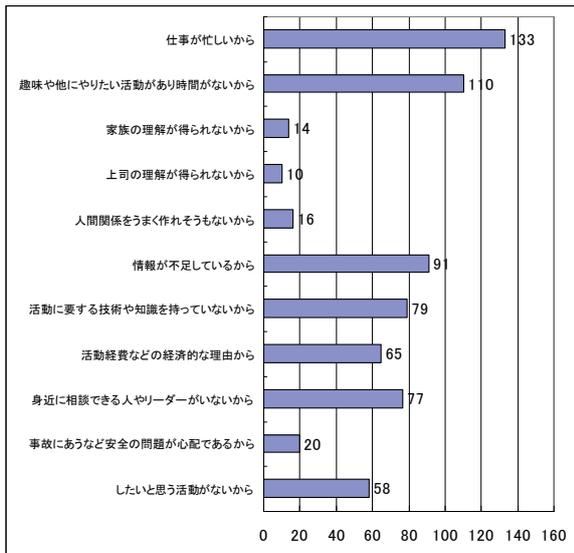


昭和 23 年度 家事専業者・無職

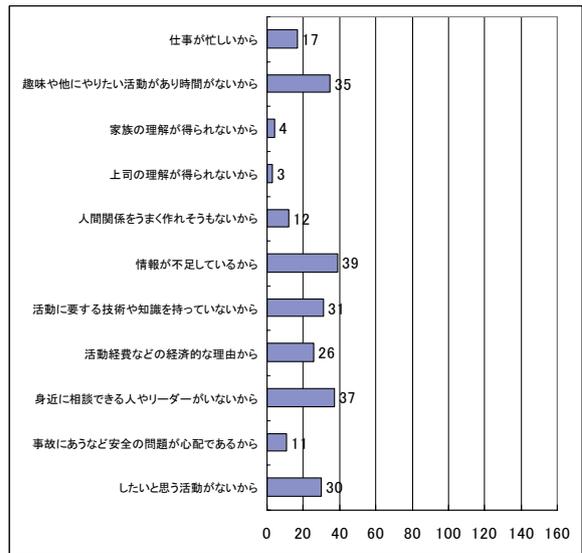
(人)



昭和 24 年度 勤労者 (人)



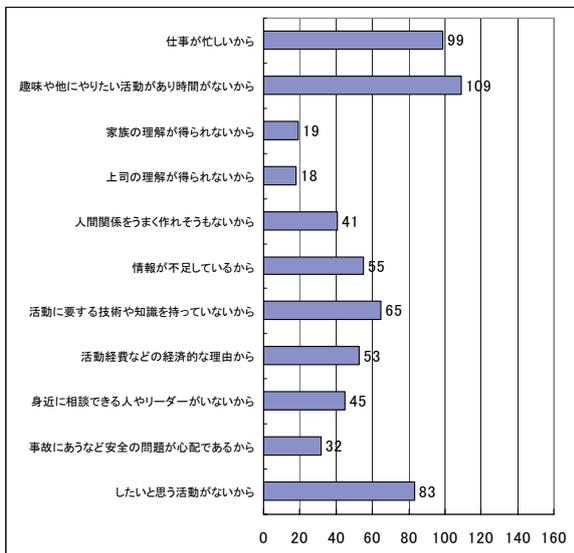
昭和 24 年度 家事専業者・無職 (人)



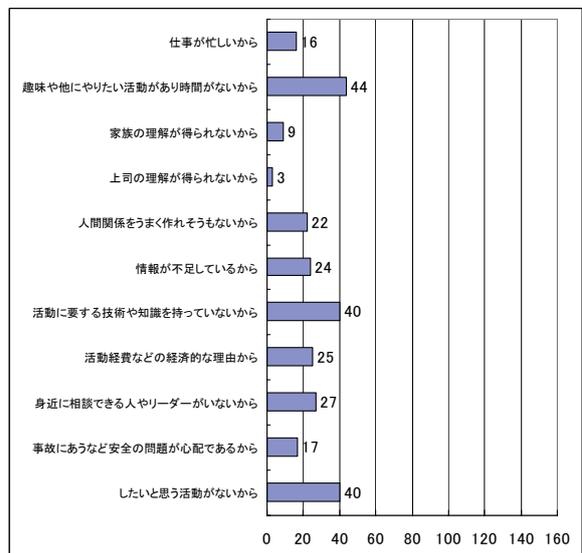
(2) 対象別 (活動意識のない人)

〔ボランティア活動の意向について、「活動したくない」と回答した人 (n = 637) の、ボランティア活動に参加できない理由〕

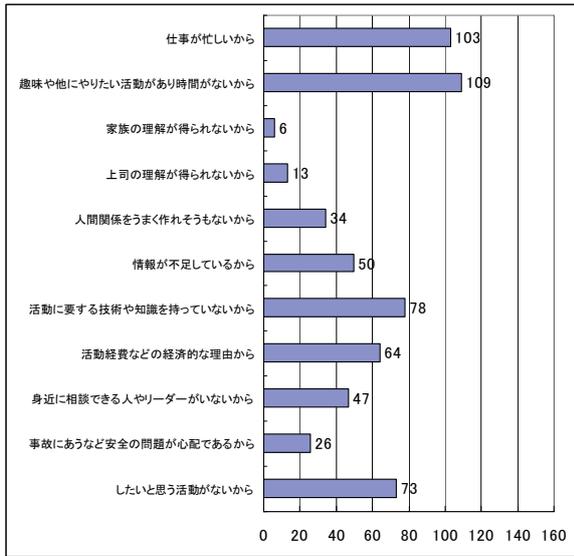
昭和 22 年度 勤労者 (人)



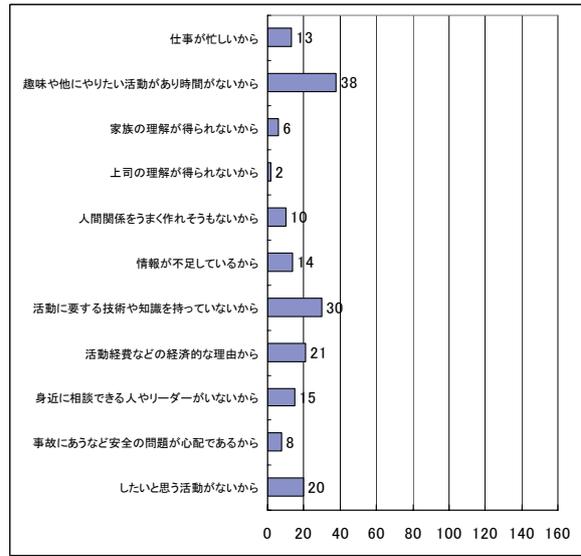
昭和 22 年度 家事専業者・無職 (人)



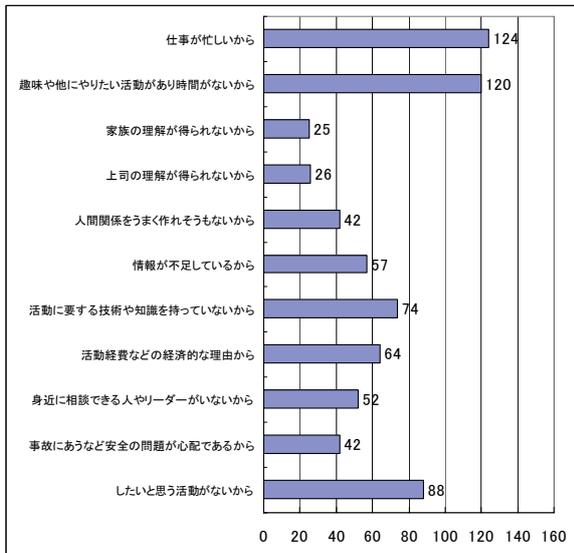
昭和 23 年度 勤労者 (人)



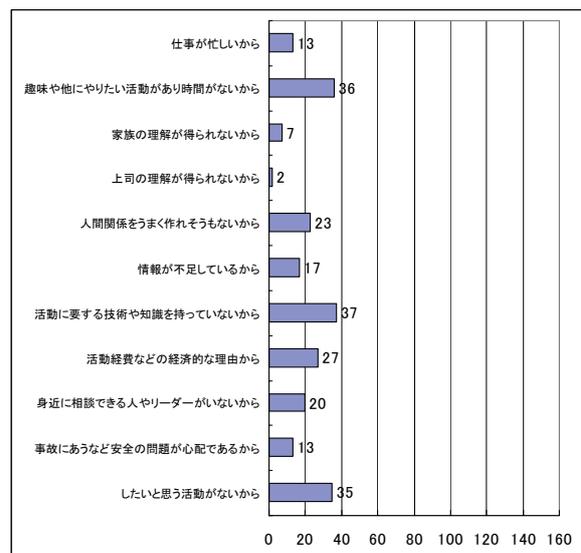
昭和 23 年度 家事専業者・無職 (人)



昭和 24 年度 勤労者 (人)



昭和 24 年度 家事専業者・無職 (人)



Q1 あなたは、現在どのような分野の「ボランティア活動」をしていますか。

	1.町内会や自治会などの手伝い、まちづくりなどの活動など	2.夜間巡視や街頭指導、交通安全教室の指導、手伝い等の活動など	3.子どもの居場所づくりの活動、子ども会や育成会の活動、子どもの野外キャンプの指導等の活動など	4.学校の教育活動に対する支援、自分の知識や技術を生かし公民館における講座等の講師、博物館等における作品説明など	5.地域の伝統芸能・伝統行事、祭り、スポーツやレクリエーションの指導等の活動など	6.地域のゴミ拾い等の環境美化、リサイクル活動、野生生物・植物等の保護活動など												
							現在している	現在している	現在している	現在している	現在している	現在している						
合計	現在している 全くと ないが、以前 したことがある	現在している 全くと ないが、以前 したことがある	現在している 全くと ないが、以前 したことがある	現在している 全くと ないが、以前 したことがある	現在している 全くと ないが、以前 したことがある	現在している 全くと ないが、以前 したことがある												
全体	2,080	19.1%	39.0%	41.9%	3.6%	18.9%	77.5%	66.3%	30.3%	3.5%	12.8%	83.8%	7.6%	19.3%	73.0%	17.4%	31.3%	51.3%
昭和22年度 勤労者	500	21.2%	36.6%	42.2%	5.0%	18.6%	76.4%	66.2%	30.2%	3.6%	15.8%	80.8%	9.6%	18.8%	71.6%	19.8%	29.8%	50.4%
昭和23年度 勤労者	500	18.8%	39.0%	42.2%	5.0%	19.2%	75.8%	69.2%	28.0%	2.8%	13.0%	84.2%	7.4%	20.0%	72.6%	18.2%	31.4%	50.4%
昭和24年度 勤労者	500	20.6%	37.8%	41.6%	2.8%	19.2%	78.0%	65.4%	30.8%	3.8%	10.0%	86.0%	9.0%	21.0%	70.0%	18.2%	29.2%	52.6%
昭和22年度 家事専業者・無職	195	12.3%	46.7%	41.0%	2.6%	16.9%	80.5%	66.7%	29.7%	3.6%	4.6%	86.2%	5.1%	15.4%	79.5%	13.8%	34.4%	51.8%
昭和23年度 家事専業者・無職	185	18.4%	40.0%	41.6%	1.6%	22.7%	75.7%	60.0%	35.1%	4.9%	15.1%	82.2%	4.9%	20.0%	75.1%	13.5%	33.5%	53.0%
昭和24年度 家事専業者・無職	200	18.5%	39.5%	42.0%	1.5%	16.5%	82.0%	66.5%	31.0%	2.5%	13.5%	84.5%	5.0%	18.0%	77.0%	14.0%	35.0%	51.0%

	7.お年寄りや障害のある人に対する介護、難病の克服を支援する活動、手話通訳や点訳・朗読サービスタ、通院の付き添い等の活動など	8.病院や福祉施設での手伝いや話し相手等のボランティアなど	9.国内の災害地における救助活動・救済活動など	10.通訳、ホームステイ、国外の災害地における救助活動・救済活動など	11.街頭募金活動やチャリティバザー等の援助活動など	12.上記以外のボランティア活動													
							現在している	現在している	現在している	現在している	現在している	現在している							
合計	現在している 全くと ないが、以前 したことがある	現在している 全くと ないが、以前 したことがある	現在している 全くと ないが、以前 したことがある	現在している 全くと ないが、以前 したことがある	現在している 全くと ないが、以前 したことがある	現在している 全くと ないが、以前 したことがある													
全体	2,080	4.9%	8.1%	87.0%	2.4%	5.8%	91.8%	2.0%	7.1%	90.9%	1.5%	4.9%	93.6%	3.7%	19.8%	76.5%	7.2%	12.9%	79.9%
昭和22年度 勤労者	500	5.4%	6.8%	87.8%	2.6%	5.0%	92.4%	2.8%	10.2%	87.0%	2.0%	6.4%	91.6%	4.4%	17.2%	78.4%	8.6%	15.2%	76.2%
昭和23年度 勤労者	500	5.2%	8.8%	86.0%	2.4%	4.8%	92.8%	2.2%	8.2%	89.6%	1.2%	6.4%	92.4%	3.4%	18.8%	77.8%	7.0%	10.4%	82.6%
昭和24年度 勤労者	500	3.0%	8.2%	88.8%	2.0%	6.8%	91.2%	2.2%	6.6%	91.2%	1.2%	4.4%	94.4%	3.2%	20.8%	76.0%	5.8%	15.2%	79.0%
昭和22年度 家事専業者・無職	195	6.2%	7.7%	86.2%	2.6%	6.7%	90.8%	0.0%	3.1%	96.9%	2.1%	1.5%	96.4%	3.6%	16.4%	80.0%	6.2%	11.8%	82.1%
昭和23年度 家事専業者・無職	185	5.9%	7.6%	86.5%	2.7%	7.6%	89.7%	1.6%	2.7%	95.7%	1.1%	2.7%	96.2%	4.9%	25.4%	69.7%	7.6%	12.4%	80.0%
昭和24年度 家事専業者・無職	200	5.5%	10.5%	84.0%	2.5%	5.5%	92.0%	1.0%	6.0%	93.0%	2.0%	3.5%	94.5%	2.5%	24.5%	73.0%	8.5%	9.5%	82.0%

Q2 上記以外のボランティア活動

・文化・芸術の国際交流 ・ボランティアと言えるかどうかわかりませんが、海外の恵まれない子供たちの里親をしていた時期があります ・障害者向けの情報をHPで提供 ・民生委員 ・青少年国際交流 ・障害児のスポーツ活動補助 ・ボーイスカウトの団委員長 ・少年野球チームの指導、コーチング ・マンションの玄関前の道路を掃除 ・音楽サークルで社会福祉施設への慰問演奏 ・赤い羽根の共同募金を街頭（東京駅）で5回やりました ・ボーイスカウト活動など青少年育成活動 ・ゴルフトーナメント ・訪問看護の補助 ・お年寄りの病院や買物などの送迎 ・パソコンサポート ・富士山の環境整備 ・老人の買い物の代行です ・精神障害者が通う作業所で行われる、パソコン教室のインストラクター ・朗読の会のサポート ・競技役員 ・地域の運動会の進行係 ・町内清掃・イベント整理 ・ゴルフツアー ・年とともにできなくなって住民同士での地域を活性化する取り組み ・WEB公募書道展を主催して書道の振興に努力しています。またネット掲示板で道徳の普及を心がけています ・毎月 少しずつだが世界の子供達の役に立ててもらいたいと寄付をしている ・通訳 ・区内のお年寄りを集めて、講演会等をした ・障害者の水泳教室 ・交通安全の車によるパトロール ・ボランティア合唱活動 ・動物実験反対のJAVAの会員です。寄付、署名集め、動物虐待阻止抗議活動（主にメール） ・以前金沢に居た頃、ロシアタンカー座礁事故の際、海岸の清掃活動に参加 ・ボーイスカウトの指導 ・高齢者の話し相手 ・地域における健康、カラスの問題、心肺呼吸などのセミナー開催 ・ハンディーキャブやリフトバスの運転手 ・障害児童・生徒に対する活動 ・韓国語の指導 ・人間関係改善講座を主催した ・知的障害の人の絵を年賀状やカレンダーに採用 ・パソコン点訳 ・山岳遭難救助活動 ・災害復旧物資の配達 ・ごみひろい ・町のイベントに協力 ・国内のプロゴルフツアー競技のボランティア活動 ・切手を集めて医薬品を送る ・日赤奉仕団での活動 ・駅の階段から落ちた人を救助して救急車を呼んだ。救急車が来るまでそばにいた ・PTAの委員 ・地域の子供たちのスポーツ コーチ ・子供の水泳教室の講師 ・どれをどれだけ、というほどではないが、常にボランティア精神で暮らしている。無効三軒両隣に気を配り、心地よく暮らすということは以前常識だったがいまはボランティア精神の発露という感じになってきたのでは？ ・日赤奉仕団で活動している ・市民団体の協力 ・ボランティアと言えるのかわかりませんが、国体などの選手などのお世話など… ・教育プログラムのボランティア ・自治体のパソコン講師 ・障害者の避難場所の設置を現在活動中です。関係官庁、企業にも働きかけています ・赤十字の奉仕活動で肢体不自由児の入浴介助や病院で包帯や備品の洗浄、洗濯物干しや取り込みの補助作業 ・小学校のパソコン教室のPC整備、ソフト整備、ソフトの使い方講習会の開催など ・利害を伴わず、具体的な対象もなく、誰かのためにしたいからすること全てがボランティアではないでしょうか？ ・献血 ・NPOレスキューストックヤードの活動 ・PTA ・震災などの募金（答えになっていなかったらごめんなさい） ・国際競技大会の通訳 ・老人ホーム等の慰問・老人ホームのようなところで、ピアノを弾きました ・特定学術情報の収集 ・市民のための栄養指導 ・地域の青少年健全育成に関するボランティア ・知的障害施設での活動 ・商店会活動 ・身障児者の介護治療 ・各種団体への寄付行為 ・障害を持っている子供のドーマン法の手伝い ・区立小学校の校庭開放指導員 ・引きこもりの子供の話し相手・自分の趣味を生かして子供の教室 ・海岸のごみ拾い。道路の掃除 ・バングラディッシュの子どものために育英資金を1年間送った ・アルコール依存相談 ・ユニセフや福祉施設への寄付 ・災害時の老人宅への水運び ・町内会、会館などの掃除 ・体育指導員 ・福祉施設の清掃（草刈等） ・デザイン振興 ・ハーモニカ演奏を施設等で行っている ・環境浄化運動です ・献血 ・森林ボランティア：地主が高齢化し荒れ放題となった里山の保全活動 ・地域内植栽 ・勤務先周辺での清掃作業 ・神奈川県のパソコンスクール ・PTAは15年間、子どもたちのサークルなどの手伝い ・生涯学習 ・自分から進んでのボランティア活動をしたことがありません ・地域

で行われるふれあい交流会のお手伝い ・ NPO法人子育て支援のボランティア ・ 1人分のカレーの炊き出しに数回参加しました ・ ハイスクールYMCAの活動として、廃品回収・身障者施設でのワークキャンプ等 ・ 夜回り ・ 少年院生への社会復帰支援活動 ・ 障害者音楽祭のイベント手伝い ・ お年寄りに社交ダンスを教えている ・ 車椅子ダンスパフォーマンス ・ 学校関係 ・ 地域の子供のスポーツクラブ手伝い ・ 社会福祉法人のバザーのお手伝い ・ パソコン講師、整体 ・ 日赤の会員になり、自治会等の災害訓練に出ています ・ 病気で学校に行けない子供に勉強を教える ・ 富士市来訪の外国人のアテンド通訳 ・ 野鳥の環境保護関連 ・ 車椅子贈呈のための古切手集め DV被害者支援 ・ 学校の資金集め ・ 小学生の見送り ・ 寄付活動 ・ 福祉のまちづくり（バリアフリー化）への協力、地域活性化への協力 ・ 一人暮らしの家庭の配食 ・ 独居老人の方のお話を聞く傾聴ボランティア活動 ・ 下校時のパトロール ・ 買い物の手伝い ・ 過疎地対策。地域の防災問題 ・ 地域のイベントやお祭りの役員など ・ 特別にこれと言ってはしていないが、たまたま必要な場面に出会えば、積極的に声をかけたり、手助けをしたり、出来ることをしている。これからもするつもり ・ 街中で白い杖をついてる人がいたら必ず声をかけ要望に応じてる（個人的ですが） ・ 点字図書館のお手伝い ・ 趣味でしているお箏などを、介護ホームなどで演奏して、楽しんでいただいています ・ NPOやNGOへの寄付 ・ 市のお母さんの教室での子供の子守 ・ 花の苗木を趣味の人に配布 ・ 日本語を話せない外国人に日本語を教えるボランティア ・ 毎月、アジアの子供たちへの募金 ・ 海外の高校生のホームステイの受け入れ ・ 障害者団体の行事参加で移動介助 ・ 献血 ・ 災害時の応援 ・ お年寄りに夕飯の配食 ・ フォスタープランに1年間協力した ・ 老人ホームや福祉施設に日本舞踊を披露する。外国人に日本語を教える ・ 個人的に近所のお年寄りの通院の送り迎え ・ 寄付は、人並み以上に行う ・ マンション55件のふれあいサロン 住民 特に高齢者のお話相手やゲーム、歌などを楽しむ会 ・ 献血 ・ ガールスカウトのリーダー ・ 保険所は愛護センターから助け出されたワンチャンの保護、里親、紹介。ノラ猫の保護 ・ お年寄りへ弁当の配食 ・ 衣類毛布等を集め、海外へ送る ・ 少年野球クラブのコーチをしています ・ 地球環境保護に関するNPOに参加してボランティア活動をしている ・ ボランティア団体NPOのホームページ更新メンテナンス ・ 災害支援の発送・新人研修時に研修地（那須）の早朝ごみ拾いを研修の一環として行った ・ 生活弱者のための各種支援活動 ・ 愛知万博ボランティア・リーダー ・ 公園ボランティア ・ 消防団活動 ・ 水源地域での植林 ・ 身寄りの全く無いお年寄りがおられました、たまたま、関わった時に、ピック病を発症しておられることが分かり、後見人を探しましたがおられないので、社会保険事務所、福祉事務所などと奔走し、市長を後見人に生活保護を受けられるように、しかるべく施設に入所できるように、引越してから何からバックアップしたことがあります ・ 海外援助募金 ・ お年寄りの入浴サービス ・ 市民図書 ・ 点字サービス ・ 地域消防団 ・ 国体のボランティア ・ 今現在老人ホームの色んなボランティアをしている ・ PC初心者にパソコン教室にて教えている ・ 町会HPの更新作業 ・ 施設でのヘアカット ・ 火の用心の巡回 ・ チャリティコンサートを毎年開いている。点訳 ・ 富士山ろくのゴミ拾い ・ 宗教上の地域活動の一環で、指定された場所の草引き、清掃などを行っている ・ 託児ボランティア ・ 陶芸場の開放、多少の指導 ・ 子供にダンスを教えた ・ 地域の自治会の活動や学校関係、子供会でのボランティアしか経験がない ・ 町内の老人宅の見回り ・ 引きこもり少年少女の話し相手 ・ 町内会の古紙回収 ・ お年寄りへの昼食のサービス ・ ボランティア活動を薦める本を出したことがある ・ 地域コミュニティー育成へ、学校PTAを対象に「学校新聞」作成の講師 ・ エクセルやワードなどが使えず、就職活動や会社での仕事に困っている人にメールで指導している。又、ソフトウェアの処理に対するアルゴリズムもメールにて指導 ・ 各種施設での音楽 演奏。手工芸（レザークラフト）指導 ・ 施設などの遠足、旅行のお手伝い ・ 引きこもりの子供たちの学習サポート ・ 犬のふん拾い ・ 文化活動の運営 ・ 障害者の方の送迎 ・ 国連支援 ・ 生活協同組合の世話人 ・ 日本

語教師 ・舞踊教室の出張イベントが主 ・子育て支援センターでのボランティア ・独居老人のための給食サービス ・チャリティバザー用に、進物品などを、ためておいて寄付するようにしている ・県内の会社の製品への応援活動（改良への意見、販売促進への協力など）まちづくり活動で観光客へのボランティア ・ユニセフへの募金 ・町内のお祭りや行事のお手伝い ・植林等の「みどりのNPO」の理事長です ・間伐材の伐採 ・観光ガイド ・神主の居ない神社の境内清掃 ・ホスピスでのお茶配りやベッドメイキング ・地域の公共施設で使用する薪割りや雑木林の下草刈りしいたけのほだ木の伐採など ・小学生の登下校時における付き添い ・都立公園の植栽、草木の育成、植え付け ・友人（離婚で小学生1人あり）が寝込んだ時、食事の世話をした ・旅の案内 ・活動とはいええないかもしれませんが、不当な扱いを受けている動物（特にペット）たちを救済する運動 ・林道整備 ・寄付金活動 ・カンボジアで現在活動中の民間ボランティアグループへの支援活動 ・環境問題に関して ・障害者対象パソボラ ・スポーツの指導 ・国際大会通訳 ・子供たちへの教育 ・海浜や川のごみ拾い ・学生時代に養護施設の訪問ボランティアをしました ・グループホームの食事づくり ・マンション管理に関する相談 ・献血支援活動 ・献血推進・子育て支援のための市の活動の補助 ・現在バンドを組んでおり、障害施設や老人養護施設で演奏ボランティアをしている ・電話相談員 ・観光ボランティア ・屋根の雪下ろし、道路の除雪 ・ボーイスカウト育成の支援や指導 ・海外児童支援 ・現在、町会長している ・地域の火防隊 ・町内の掃除、雑草刈り、溝掃除、公園の草刈り ・外国人の言葉のお手伝い ・緑化公園作り ・動物愛護をしている。事故にあった動物の病院での手当、保護した動物の世話と里親探し、地域猫の去勢と避妊手術、不適正な飼主の所にいる動物のための小屋の斡旋や指導等 ・少年野球のコーチ ・公園の除草作業 ・いろいろな行政との協働による社会活動 ・グループで調査、アンケートを行い、「まちづくり」について行政に提言を行っている ・アイドリングストップキャンペーンのボランティア ・道路の清掃 ・道案内ガイド ・庭掃除、軽度の家屋補修 ・草花観察会で案内したことがある ・ボーイスカウトのリーダー活動をしておりました ・子どもたちへの学習活動支援 ・町内で行われたスポーツ大会の手伝い ・老人ホームやいこいの家への慰問 ・献血運動・さい帯血バンクへの支援 ・プルタブ集め ・赤い羽根募金活動 ・講演会等の手伝い ・森林美化 ・老人ホーム訪問 ・消防団 ・神奈川県におけるあるスポーツの運営。京都府における、障害者スポーツのコーチ ・献血 ・絵本の読み聞かせ ・タイムケア 夏休みの期間に障害を持つ児童を預かるボランティアに参加 ・森林保護のための下草刈り ・児童館にての子供への絵本の読み聞かせ ・定期的な寄付行為 ・バレーボールの監督、地域のスポーツ振興員、バレーボールの審判員 ・障害児施設、老人ホーム等でのコンサート活動など ・御年寄りを招いて食事をしたり余興をする時の食事作り ・JVC合唱団で歌うことによる救済活動。横浜ジャズフェスティバルの手伝い ・ロータリー ・市の歴史を紹介するため、史跡を廻って、ガイドした。外国人のための史跡紹介のパンフレットを作った ・献血使用済み切手の回収 ・地域ボランティアではないが、自分が勤めている会社の周りの定期的な清掃 ・環境団体に入っていて、環境活動のボランティア ・川の浄化のためのごみ拾い ・趣味を生かしたパソコンの修理など ・町内会の幹事、マンションの修繕委員会、運転手 ・お寺や神社などで行われる行事の手伝い ・ウォーキングをしながらのごみ拾いや道路の清掃 ・文化ボランティアで、美術館の作品解説 ・問題行動を起こした青少年のカウンセリング、若者達の自立支援 ・ライオンズクラブでの活動 ・ユニセフへの募金など ・消防団活動 ・保育園の発表会での衣装づくり ・子供会の行事計画、行事实行に以前たずさわった ・老人世帯の除雪・雪降ろし ・養護学校での手芸指導 ・セーブザチルドレン、PDQの翻訳 ・ニート向けに自分の職業の紹介講座を持った ・里親 ・スポーツ大会（ランニング）の主催 ・PTA活動・町内会（自治会）役員・地域のお祭りのお世話・障害者施設や職業能力開発校での自治会活動 ・海岸清掃 ・ユニセフの募金海外の里子への募金 ・障害者施設での手伝い。バザーの手伝

い ・寝たきり老人介護、など ・外国人に日本語を教える ・御年寄りを招き食事をしたり余興を見てもらったりするその準備 ・環境問題 ・パンフレットの配布 ・衣服を身障者団体に寄付 ・スポーツイベント（ハーフマラソンなど）の受付や野外劇での服装更衣の手伝い ・中学校での校内整備 ・精神衛生ボランティア ・散髪の活動 ・観光ボランティア ・保健所のケースワーカーからの依頼で精神障害者のデイケアでお菓子づくりを指導した ・ベルマークの回収 ・公共の場での声かけ、あいさつ、子どもやお年寄りなど、すれ違う方にあいさつをするのも怖い世の中ですが、安全で明るい社会のため、あえて、おこなっています ・社会福祉施設への支援チャリティバザーや餅つき ・自治体に登録して必要に応じてやった。集まりのときの子供の世話等 ・車椅子テニスの指導 ・区の行政の青少年問題の公募委員をしている ・障害者スポーツ大会のお手伝い ・イベント公演 ・地区の児童館でのボランティア（食事、折り紙など） ・医療関係のNPOにおける活動 ・5人でアンサンブルを結成して、老人ホームや病院などで演奏活動をしている ・外国人の為に日本語教室を開催している ・施設されてた防災広場の開放運動 ・小学校でのしょうゆ作りの講義と実技実習 ・消防団活動 ・施設と連携して介護家族の会の運営。介護者の負担が少しでも軽くなるように ・スペシャルオリンピックス ・旅行 ・難病の写真撮影ボランティア ・年末・年始の路上生活者への炊き出し支援 ・独居老人宅の除雪、雪下ろしなど ・愛育会活動と言って各組に役員を置いてきめ細かく子供や年寄りなどの相談などを聞いたりする ・地域の行事にそのときだけ、協力する。例えば、マラソン大会の毛布かけとか ・フォスター・プランの年次報告の翻訳・赤十字の活動 ・ボランティアと認識した活動は無い ・介助犬の訓練施設での犬の世話 ・女性同士の支えあい ・手話通訳 ・自衛消防隊の活動 ・近くの老人訪問 ・ボランティア活動へ資金の寄付 ・更生保護委員として保護司とともに活動していた ・盲導犬育成のボランティア（パピーウォーカー） ・健康に関するボランティア ・自治会役員 ・フリーマーケットを開き寄付した ・町内会の役員として随時取り組まれる各種行事のお手伝いをしている程度です ・献血運動 ・ボーイスカウトのリーダー ・地域福祉協議会の開催する広報支援 ・海外でのボランティア活動 ・海外援助 ・PHP友の会26年（ボランティアといえないかも） ・男女共同参画社会への啓発活動 ・近所のお年寄りにパソコン操作の初歩やメール送受信方法の指導 ・社内ボランティア、地域清掃、植栽、ピラ ・マンションですがコミュニケーションを基本にふれあい喫茶をしています ・マンドリンクラブのチャリティコンサートのステージマネージャー ・飼い主がいらない、虐待されてきた、病気などの動物を対象に、募金やタオル等、フードの寄付など ・外国人に道案内 ・障害者支援の国会請願啓発活動（街頭署名） ・文化財を守る支援、市や県国際交流を支援 ・養護施設の子供達の週末里親 ・外国人のホームステイ ・子育て支援 ・ボランティア活動事務局の講演の手伝い。投稿 ・17歳のころ、施設訪問をしましたが、友達などと、お土産を買いもって、かよいましたが、ボランティアと呼べるかどうか ・相談員 ・養老院の掃除。障害者施設の子供の食事のお世話 ・民生児童委員と地域に於ける趣味の会を首肯 ・98年冬季オリンピック ・IT講習の指導ボランティア ・障害者との社交ダンスパーティー ・ボランティアに該当するかどうか、海外の戦争被災地へ衣料をおくったことがあります ・年齢が8才までの人に運動を教えている ・プルタブ集め ・横浜市が行っているに「こどもあんしんの家」に登録している ・老人ホーム等に慰問をした事が数回ある（楽器演奏等） ・海外でのボランティア ・公園の整備 ・里山の下草刈り等森林を守る為のボランティア活動 ・ボケ防止の活動 ・アルコール依存症者の回復のためのお手伝いをしたことがあります。イベントの準備等 ・古切手・使用済テレカの収集 ・民間ユネスコ活動の手伝い。書き損じはがき回収・コンサート募金など ・結婚前に知人の紹介で、お年寄り宅へ同行して、話し相手等の経験あり ・地域のごみ広い ・地域密着イベントの役員 ・身体障害者スポーツ活動の手伝い。大会のサポート、通訳など ・地域のミニコミ誌作り・ぞうきん、お手玉などの製作 ・子供を預かる ・国外での里親支援 ・個人で会社などでの募金活動を

したことがある。」 ・動物実験反対活動のボランティア ・難病を患い、1年間入退院を繰り返す苦しい闘病生活を経験しました。知られていない病気なので、その体験談をHP上で公開し相談にのっています ・子供会の世話やその他 ・ボランティアといえるかわかりませんが、使用済み切手を1年以上集めています ・宗教団体の事務、清掃など ・デイサービスセンターで介助の手伝いをした ・フラの演技慰問ですがこれはボランティアではないですか？ ・外国人に日本語を教える ・廃品回収による学校への寄付 ・盲導犬育成資金にする為の磁気カード集め・使用済み切手集め

Q3 あなたがその「ボランティア活動」をはじめたきっかけはなんですか。

合計	自分の自発的な意思で	家族や親戚に勧められて	友人や知人に勧められて	地域のボランティアに関する研修会、講習会、催しものなどに参加して	会社のボランティア活動のこどを学んで	会社の地域貢献活動で参加する機会があつて	所属する団体や組織等の活動として	地域(町内会や自治会等)からの呼びかけに応じて	福祉施設・学校などの呼びかけに応じて	ポスター・チラシなどを見て	新聞、テレビなどのマスコミを通じて	インターネットのホームページなどを通じて	
全体	1,587	59.1%	14.0%	29.7%	29.0%	7.1%	23.6%	39.6%	70.9%	27.3%	7.8%	6.2%	3.5%
昭和22年度勤労者	380	63.7%	20.0%	27.9%	30.3%	9.5%	25.8%	41.6%	69.5%	25.8%	5.0%	5.3%	4.5%
昭和23年度勤労者	386	59.6%	14.0%	27.2%	24.1%	8.5%	23.6%	40.2%	70.2%	23.8%	9.1%	6.5%	3.6%
昭和24年度勤労者	382	55.2%	10.7%	29.8%	28.8%	8.6%	26.7%	40.6%	69.6%	27.2%	6.0%	5.8%	2.6%
昭和22年度_家事専業者・無職	146	52.1%	8.2%	34.2%	32.2%	2.1%	21.9%	36.3%	74.0%	31.5%	9.6%	4.8%	2.1%
昭和23年度_家事専業者・無職	144	59.0%	13.2%	32.6%	30.6%	2.8%	15.3%	36.8%	69.4%	27.1%	11.8%	10.4%	4.9%
昭和24年度_家事専業者・無職	149	63.1%	13.4%	32.9%	34.2%	2.7%	19.5%	36.9%	77.9%	36.9%	10.7%	6.7%	3.4%

Q4 上記以外のきっかけ

・自然災害 ・もともと自己顕示欲が強い方なので、外側からの働きかけ以前に、自分の内側から、自己の持っている固有な能力資質を、他者との出会いの中で発信したいという欲求が強かったから。団塊の世代には、この手のオジサンが結構多いような気がします ・学生時代に「青少年赤十字」で活動をしていたから ・長野冬季パラリンピック ・学生時代スポーツをやっていたから ・自分の子供をボーイスカウトに入団させたので、親としての参加 ・地元イベントに参加して ・学校行事の一環として ・そのときの共感具合による ・自治会の役員の任期期間中 ・町内からの推薦で引き受けた ・私が入選したエッセイにパソコンを勉強したいと書いてあるのを見て私のPC経験でもパソコンが出来るかなと思ったから ・こどもの学校からの要請で ・手助けしたい気持ちからです ・自分の趣味を、誰でもが、共感の持てるものにしたいから。「愛のよぶんをもっていたら、誰でも出来る」と言われて、自分を試したくなった ・町内活動が狭くなってきたときに新しい取り組みを提言して賛同していただいた時 ・自治会の勧めで ・町会の役員をしてから ・ボランティア活動と言いますか、野良犬や猫の保護をしたりしています。きっかけは、野良犬や野良猫を虐待する人や車ではねて行く人が多いので、ほおっておけなくなったから ・自治会の役員なんです・・・ ・動物が大好き。現在の動物愛護法などの行政に不満 ・仕方なくしていた ・地域貢献 ・障害者団体から依頼されて ・順番に回ってきたためやむ無く活動に参加 ・通訳 ・公園の掃除など町内会から半強制的に義務としてやらされている ・時間に余裕ができた ・自分の技術向上目的として ・自治会のすすめ ・ゴルフ自体が好きで、間近でプロのプレーを観れるから ・資格を活かすため ・神戸の震災の時、友人たちと身の回り品などを持ってお手伝いできる事があるか、出かけた事があった。働いていたので、組織に属したボランティアはできなかった。きっかけにはなかったが、自分自身、家族の介護をしているのでボランティアは今現在は出来ていない ・別にないが好きなことだったので、趣味の延長 ・親しい友達もしているから ・癌を患って、幸い今生きている。この体験から「人は一人で生きているのではない。」 「多くの人と係わり合い、助け合って暮らすことはどんな良薬よりも薬効顕著」と実感した ・やりがいがある ・PTAや婦人会の活動の一環で ・町内会の役員さんからの呼びかけに応じて ・地域役員になったときから ・支援を必要としている人を目にして ・やむにやまれず ・子供に誘われて仕方なく ・地域の活動だから ・順番だから ・時間的に余裕があったから ・持ち回りで町内会長を2年間 ・阪神淡路大震災を神戸で被災したから ・友人に誘われて ・住んでいるマンションの理事会から頼まれて引き受けた ・仕事関係の組織からの依頼でしていました ・報道写真 ・居住町内会の持ち回り当番で区役所広報紙 ・親の介護がきっかけ ・父の病気、死 ・自分がやらなければという思いがあったから ・講演を聴いて ・平成2年、学校が隔週土曜日休日になるのをきっかけに、町内の子供たちを対象に和太鼓指導をして創作太鼓を立ち上げた ・子供がお世話になったお礼も込めて ・8番の地域に関係がありますが、市議会議員にお願いされました ・友人 ・町内の決め事 ・子どもたちがお世話になってるのでとの考えで ・仕事をやめて何かやりたいと思った ・役員の間だけした ・地域振興 ・知人から誘われた ・クラブの仲間と話し合っって ・公民館活動の一環として ・ボランティア活動はしたことが無い ・サークルで毎年している ・生協運動の一環として ・点字をならったから ・講座依頼を受けてボランティアに携わる方々とお会いしたことで、阪神大震災でお世話になったお返しが少しでも出来ればと思った ・自分の周囲の人々の支援 ・小さかった子供の為 ・たまたま時間に余裕があったので ・自分のスキルアップのため ・今は時間はありませんが、時間がとれるようになる場合は地域社会に交代で参加することがあります ・年代順の部分が要素を占める ・父の死去 ・時間的に余裕ができたので ・ボーイスカウト団体のお手伝いをしていましたので機会がよくありました ・ライオンズクラブでやっていた ・あまった時間を有効に・・・ ・社会に貢献したいと思った ・身内に高齢者がいたため ・友人が動けなくな

った時 ・ブログ仲間と連携 ・他には無いが、町内会、自治会などの当番が、数年に一度回ってくる。最近が高齢化が進んで、当番を出来ない家庭が増えている。年寄りだけの家庭、若い人が同居していても、家に病人、お年寄りがいて事実上不可能な家庭が年々増えて、当番を引き受けられる家庭が減る一方。数年に一度だったのが、殆ど毎年と言う班もあるので、自治会などの存続も難しくなるのでは？ ・何か人の役に立ちたいと思って ・両親に新聞を読んでやろうと思ってカルチャーセンターの朗読講座に通い、そこで点字図書館の人と知り合ったので ・NPOやNGOからのダイレクトメールを見て ・ボランティアの本来の考え方を欲する人に施す ・友達からのさそい ・台湾で9.19地震があった折、救援隊を組織し、救援活動を実施した ・現地を視察して ・自分が年を取った時の事を考えて後世に教えなければいけない事にきづいて、自発的にやっています ・社会教育主事の勉強を始め、色んなものの必要性を感じて。自分が今まで学んできたことの、社会還元として。身障者と健常者のバリアフリーを目指して ・子供が障害児だったから ・手助けが必要と感じた ・行きがかり上 ・持ち回りで順番が回ってきた ・時間に余裕ができた ・団体活動の知り合いに勧められて参加したものもある ・順番制 ・会社ぐるみで地域のごみ広いなどを地域に参加するという感じで参加しました ・定年退職後の記念に ・施設からの依頼を受けて ・自分の子供が幼少の折、町内会の子ども会に参加してから色々参加して止められずに今現在に至る ・役をしていて、その立場上、どうしても取り組まないといけなくなる事がある ・身近にそう言う環境があったから ・業務の性格上、率先垂範の必要性があった ・持ち回り ・町内会の人達に頼まれて ・何かしたいと思っていたところに友達から誘われて ・地区全員参加の為 ・子供の学校行事で ・友人に薦められた ・自分の出来る範囲で何かお役に立てることがあればと思って自分の意思からです ・自分に出来る範囲の事であれば参加出来る場面があったから ・陶芸をしているところへ子ども達が遊びにくるので ・家族に足の不自由の者がいたので ・現在はしていない ・PTA ・村役になれば 無視していけない現実 ・地域の呼びかけからスタートしたいと思います ・私でも役に立つ事があれば良いと思い ・福祉施設で、手話で話したいため ・いつも家にいると、社会から遠ざかってしまって、世の中から遅れていくように感じたから ・やっぱり、「お誘い」が重要な気がします ・あえてボランティア活動とは思わないが、道路にゴミが落ちていたら拾って所定の場所にするのは当たり前と思って実践しています。困っている人がいれば自分のできる範囲で力をかけてあげるのは当然だと思うし、いわゆるボランティア活動と認識していません ・地域のために貢献できるので ・輪番制みたいなものだったから ・知人が養護施設に勤務している ・以前勤めてた時の経験をいかすため ・友人から相談を持ちかけられて、軽い気持ちで承諾した ・年来の知人のボケの惨状を見兼ねて ・町内の持ち回りで必ず参加しなければならない ・少しでも、人の為、世の中の為、に成る事が嬉しいから ・自分と家族が住む地域の安全と住みやすい環境を得るためには積極的なボランティア活動をしていく必要があるため ・親のしつけ ・地域交流、友情 ・地域の国際交流センターのチラシを見て ・阪神大震災のとき、家族が神戸の小学校に訪問したことから夏休みに小学生4人を招いたことから始まった ・依頼されて ・地域の活動 ・災害、地震の時の救済活動を自らの意思で ・私でも社会で役に立つ ・何か他人の役に立ちたいと思ったから ・介護を必要とする母と病院へ訪れた時玄関で車椅子を待機して、付き添いが車を駐車する間受付まで母を車椅子を押して案内してくれたボランティアの方々に感謝。その思いで少し活動を始めた事がありました ・町内会での参加義務 ・子供が加入したことから ・県や市の人材育成の延長で ・楽しそうだったから ・自分では出かけられない国の子供たちの悲惨な様子を見聞きして ・夫から日本の森林の現状を聞いてから ・推薦された ・町内会活動にて ・農家の人に誘われて、村の鎮守の清掃 ・地域住民として ・地域の順番にあっていたので ・自然観察会に参加して ・友人に頼まれて ・子供会の活動 ・親戚に障害者がいるので ・現在異常な環境問題を知り、このままでは消滅する地球を少しでも救う何かに協力できればと思いました ・依頼を受けた ・簡単なことから

参加してみようと思った ・学校の総合学習の一環で生徒共に行い、それ以後自主的に継続している ・ 会社で講習会を開いてくれて参加した ・ 仲間のよびかけに賛同したから ・ 必要にかられて ・ 町内会からのお知らせで ・ 町内会で役員になった時、世話をするのが、時間的にも大変だったので、役員を降りた今もパソコンで書類を作ったりして協力している ・ 主催者からダイレクト文がきたので ・ 環境学習をしてから ・ 学校の先生と保護者で ・ 近所同士の誘い合い ・ 知り合いの呼びかけ ・ あまりに汚いのではじめた ・ 自分の子供がいたから ・ 地域の町内会の役員に強制的になったとき、少し手伝いをした ・ 持ちまわり ・ 自分に出来ることが何かないかと思っではじめた ・ 特に浮かばない ・ 森林美化活動の内容を知りたかった ・ 仕方なく参加 ・ 親子で関心があるので ・ その時は時間的なゆとりが有ったので、何かお役に立てる事ができればと思いました ・ P T Aなどの関係で昔参加したのみ ・ 自治会役員は、順番制だから ・ 廻り番だから仕方がない ・ 自営業で、外に出ることが少ないので、何か地域の活動に参加したいと思っているときに、募集があったから ・ 人のために働くことが好きだから何でも首をつっこむ ・ 子供の活動に協力する機会が出来た ・ 地域を紹介するホームページの I Tサポーター ・ 町内の活動の一環として ・ 公共機関の機関紙を見て ・ 働くのにはまだ子供への手が離れていないので早かったのだが、家にこもっているのがいやで何か外での活動をしたかった ・ P T Aを通じて ・ 所属団体の部署にボランティアの部所があった ・ 同期生から進められた ・ 自分の好きなものに接しながら、それがボランティアにつながるというのを聞いてやってみようと思いました ・ 日本語以外でも史跡のガイドが出来そうな人といわれ、やってみようと思った ・ 子どもが活動するつきそいで ・ 既に取得していて毎年活動している「ソフトボール審判員」の資格を生かし、地域の小学生ソフトボール大会などに、審判員として参加 ・ 区役所からの呼びかけ ・ 地区の理事をしていた時 ・ 行う意志が有った ・ 自分の家族がボランティアで助けられた経験があったから ・ 少し余裕が心にも金銭的にもできて人のことを見れるようになった為でしょう ・ 勤務企業以外の企業、団体からの強い勧誘 ・ 余り積極的ではなかったが、社会貢献をすべきだと考えてライオンズクラブに入った ・ 地域の呼びかけ ・ 何か社会に感謝の気持ちを示したかった ・ ある種、不適切な設問 ・ 当番で強制のようなもの ・ 自発的 ・ 体験の社会還元 ・ 近所に住んでる人が困っていたので、時間のあるときに手伝ってあげた ・ 地域や施設等をもっと生活しやすい環境に改善する必要があると思って ・ 小学生の行方不明 ・ 実際に施設を見て ・ 息子がボーイスカウトに入隊したのがきっかけで・・・ ・ 戦後1年ほどの少年期に孤児介護施設に自分の大切にしていた絵本や童話本を持っていったときに、それらに食い入るような表情と時間を見た ・ 介護研修を受け終了した際にボランティア登録をした。自分の出来る事で協力したいと思った ・ 地域とのつながりを持ちたいと思ったから ・ ゴルフの同好会のつながりから ・ 人手不足、公休日だったから ・ 阪神淡路大震災の時、非難所で泊り込みでボランティアをした ・ なんとなく参加しました ・ 順番だから ・ 親類がお寺で協力をたのまれたから ・ 学生時代学校の一貫教育として色々なボランティアがあったから ・ 子供が通っていたので ・ 身近に困っている人がいた ・ 地元なので始めた ・ 所属団体の一環として ・ ホームヘルパーの研修を修了したことと母が認知症になったのがきっかけ ・ 社会が乱れて行くのを実感していたから ・ 学生時代にワークキャンプに参加したり、YMCAの会員活動に参加していた ・ テニスコートで声を掛けて ・ 心理カウンセリングの勉強をしたので、役立てたいと考えてはじめた ・ 深部記事を見て ・ 周りの雰囲気の中で自然に ・ 順番に回ってくる ・ 親戚が、被災に会ってから ・ 憤慨から ・ 同年代の仲間と一緒に参加 ・ 当番制 ・ 子供会などは持ち回りなので ・ 地域の為に何かお役に立てればと思って ・ 自分が元気なうちに出来ることをしておきたい。地域で育てていただいたこれまでのお礼として ・ 地域への貢献をしたかった ・ 人手不足によりボランティアしました ・ 本を読んで ・ 阪神大震災時に会社での全社取り組みがあった等の理由 ・ 自発的に行った ・ 中学生の時老人ホームに慰問してから4人で毎月無記名で福祉課へ送金しホームへも

季節毎に银杏や手作り品を送っていたのがはじまり ・点訳ボランティア・・・点字ってどんなものかという興味から初めて、2年以上も続けてしまった福祉施設での介助・・・広報で募集しているのを見て。パピーウォーカー・・・点訳をしていた関係でいつかは盲導犬育成に携わりたいと思っていた ・地域の健康に関する講習を受けたのが、きっかけ ・子供がそのグループにお世話になっていたから ・地域からの呼びかけに応じてと知人からだけです ・福祉協力員に任命された事がきっかけ ・友人から頼まれてが一番多い福祉関係の仕事をしていたので活動する機会が多かった ・趣味のサークルの知人の紹介 ・ガイドヘルパーの資格を取得したので ・弱者救済のため ・何か役に立つことがあればと思って ・同年代の仲間と盛り上がり ・ご近所はお年寄りが多くて、夜中でも電話があった事が、きっかけです ・皆さんとしてみたかったから ・家でネコを飼いはじめてから ・空き缶の投げ捨てのひどさに散歩についでに出来る事なので ・自発的ではない ・町会の手伝いをした ・子供が生まれたときに考えて ・外国人と英語を、コミュニケーションをとりたくて ・地域の婦人会活動の一環として ・子供の教育のため ・将来の自分の親のため、自分自身の勉強になるとの思いから ・つきあいで ・子供がある程度大きくなり、時間に余裕が持てた事と前から何かしたいと考えていたから ・友達の心意気の、感動して ・県、市の広報 ・残りの人生を誰かのためにつかってみたいとおもって ・漠然と何か出来ることがあれば活動に参加したいと常々思っていたので ・宗教団体から ・仕事上関連があった ・地域の趣味の会或いは側溝掃除を通じ、ご近所となり同士の小さな輪から始まった経緯 ・やる人がいなかったのも仕方なく引き受けた ・退職前は、情報が沢山入って参加しやすかったが、退職後はなかなか情報がなく市役所の案内とかと探している ・YMCAを通じて ・子供の時から習慣 ・区の広報の募集を見て ・読み聞かせ ・経済中心の利己的な考えが蔓延している現状に抗議する意味でまたヒューマンズを回復するため ・当番制 ・地区商工会 ・自分のできる範囲で何かできることがしてみたい ・ご主人を亡くされ、一人暮らしの方が身近にいたから ・社会の役に立ちたい ・自分でも困っている方のお役にたてれば嬉しい ・ある団体に所属して、赤い羽根共同募金、交通遺児募金、障害者の人達とレクレーション山登りなどを体験、個人では出来ないけど団体だと出来る ・病気を克服した時、道しるべになろうと思った。本も出版したが思っていたほどの効果がなかったのも、HPでも公開した ・子供と共に楽しみを共有したい為 ・時間の余裕ができたから ・地域のバザーの手伝い ・身近に病人が居るので

Q5 あなたは、自分の行っている「ボランティア活動」に満足していますか。それとも満足していませんか。

	合計	満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない
全体	730	20.4%	52.1%	24.4%	3.2%
昭和22年度_勤労者	192	19.3%	53.1%	23.4%	4.2%
昭和23年度_勤労者	177	19.2%	51.4%	27.1%	2.3%
昭和24年度_勤労者	174	19.0%	51.1%	27.0%	2.9%
昭和22年度_家事専業者・無職	59	22.0%	62.7%	10.2%	5.1%
昭和23年度_家事専業者・無職	63	30.2%	46.0%	20.6%	3.2%
昭和24年度_家事専業者・無職	65	20.0%	49.2%	29.2%	1.5%

Q6 あなたは、自分の行っている「ボランティア活動」についてどのように思いますか。

(「とても思う」と回答した人)

	1. 地域 のために 役に 立っている	2. 活動 が楽しい ため に役に 立っている	3. 困っ ている人 のため に役に 立っている	4. 相手 から感 謝されて いる	5. 人間 性が豊 かになっ ている	6. 思い やりの 心が深 まっている	7. 生活 に充実 感があ る	8. 友人 や知人 を得るこ とができ る	9. 知識 や技能 が身に つく	10. も のの見 方、考え 方が広 がる	11. 会 社や職 場などで 評価さ れている	12. 福 祉など 社内の 課題に 対する 理解が 深まって いる	13. 経 費(お 金)がか かり過ぎ る	14. 活 動中の 人間関 係がうま くない	15. 自 分の時 間が少 なくなる	16. 責 任をど らされ る	17. 自 分の思 うとお りの活 動がで きない	18. 継 続的に おりの 活動が できない
全体	730	22.1%	13.4%	10.8%	11.2%	13.4%	10.4%	15.6%	10.5%	15.9%	2.3%	7.7%	5.6%	1.6%	6.0%	2.7%	2.7%	1.9%
昭和22年度_勤労者	192	21.9%	14.1%	11.5%	12.5%	16.1%	12.5%	16.1%	9.4%	17.2%	2.1%	9.9%	6.8%	1.6%	4.2%	3.1%	3.1%	1.0%
昭和23年度_勤労者	177	22.0%	11.9%	10.7%	11.3%	14.7%	9.0%	14.7%	11.3%	14.1%	4.0%	6.8%	7.9%	2.8%	6.8%	2.3%	3.4%	1.1%
昭和24年度_勤労者	174	19.5%	8.6%	8.0%	6.9%	7.5%	6.9%	12.6%	6.9%	12.1%	1.1%	4.6%	2.9%	0.6%	6.9%	2.3%	2.3%	4.6%
昭和22年度_家事専業者・無職	59	27.1%	23.7%	15.3%	15.3%	15.3%	16.9%	20.3%	16.9%	18.6%	1.7%	10.2%	6.8%	1.7%	8.5%	6.8%	3.4%	1.7%
昭和23年度_家事専業者・無職	63	27.0%	15.9%	11.1%	11.1%	15.9%	12.7%	20.6%	15.9%	23.8%	1.6%	7.9%	4.8%	3.2%	7.9%	1.6%	1.6%	1.6%
昭和24年度_家事専業者・無職	65	20.0%	16.9%	12.3%	15.4%	16.9%	9.2%	15.4%	10.8%	16.9%	3.1%	9.2%	3.1%	0.0%	3.1%	1.5%	1.5%	0.0%

(「思う」と回答した人)

	1. 地域 のために 役に 立っている	2. 活動 が楽しい ため に役に 立っている	3. 困っ ている人 のため に役に 立っている	4. 相手 から感 謝されて いる	5. 人間 性が豊 かになっ ている	6. 思い やりの 心が深 まっている	7. 生活 に充実 感があ る	8. 友人 や知人 を得るこ とができ る	9. 知識 や技能 が身に つく	10. も のの見 方、考え 方が広 がる	11. 会 社や職 場などで 評価さ れている	12. 福 祉など 社内の 課題に 対する 理解が 深まって いる	13. 経 費(お 金)がか かり過ぎ る	14. 活 動中の 人間関 係がうま くない	15. 自 分の時 間が少 なくなる	16. 責 任をど らされ る	17. 自 分の思 うとお りの活 動がで きない	18. 継 続的に おりの 活動が できない
全体	730	64.7%	51.8%	51.1%	49.5%	55.9%	47.5%	52.1%	35.9%	57.3%	16.6%	45.3%	21.5%	10.8%	34.1%	18.4%	25.5%	27.0%
昭和22年度_勤労者	192	64.6%	55.2%	55.2%	50.0%	55.2%	46.4%	56.3%	39.1%	59.4%	21.9%	47.4%	20.8%	7.3%	33.9%	17.7%	27.1%	27.6%
昭和23年度_勤労者	177	62.1%	50.8%	48.6%	47.5%	50.8%	46.9%	47.5%	33.9%	52.0%	14.7%	41.8%	24.3%	11.3%	31.6%	18.6%	22.0%	26.6%
昭和24年度_勤労者	174	73.6%	54.0%	49.4%	51.7%	56.3%	51.7%	52.9%	32.2%	58.0%	14.9%	42.0%	21.3%	10.3%	42.0%	16.1%	25.3%	27.6%
昭和22年度_家事専業者・無職	59	59.3%	45.8%	47.5%	55.9%	57.6%	44.1%	54.2%	35.6%	64.4%	22.0%	50.8%	22.0%	10.2%	32.2%	28.8%	27.1%	23.7%
昭和23年度_家事専業者・無職	63	58.7%	46.0%	57.1%	38.1%	65.1%	41.3%	42.9%	31.7%	55.6%	7.9%	49.2%	17.5%	12.7%	27.0%	17.5%	30.2%	20.6%
昭和24年度_家事専業者・無職	65	58.5%	49.2%	47.7%	52.3%	60.0%	50.8%	56.9%	46.2%	58.5%	13.8%	49.2%	20.0%	20.0%	29.2%	16.9%	24.6%	33.8%

Q6 あなたは、自分の行っている「ボランティア活動」についてどのように思っていますか。

	1. 地域のために役に立っている	2. 活動が楽しい	3. 困っている人たちのために役に立っている	4. 相手から感謝されている	5. 人間性が豊かになっている	6. 思いやりや心が深まっている	7. 生活に充実感がある	8. 友人や知人を得ることができている	9. 知識や技能が身につく	10. ものの見方、考え方が広がる	11. 会社や職場などで評価されている	12. 福祉など社内の課題に対する理解が深まっている	13. 経費(お金)があまり過ぎる	14. 活動中の人間関係がうまくない	15. 自分の時間が少なくなる	16. 責任を任せられる	17. 自分の思う活動ができない	18. 継続的に活動できない
全体	730	11.8%	30.5%	32.6%	33.6%	29.2%	25.8%	36.2%	26.4%	43.3%	23.2%	36.6%	54.9%	62.3%	45.3%	55.8%	52.7%	
昭和22年度_勤労者	192	11.5%	27.6%	28.6%	32.3%	25.5%	22.9%	36.5%	22.4%	43.2%	21.4%	31.8%	56.8%	64.6%	46.4%	55.7%	54.7%	
昭和23年度_勤労者	177	13.6%	32.2%	35.6%	34.5%	32.2%	29.9%	37.3%	30.5%	43.5%	29.4%	40.7%	49.7%	65.5%	47.5%	57.1%	54.8%	
昭和24年度_勤労者	174	6.3%	31.6%	35.6%	36.2%	29.9%	31.0%	33.3%	28.7%	47.1%	24.7%	41.4%	56.9%	62.6%	37.4%	60.3%	55.7%	
昭和22年度_家事専業者・無職	59	10.2%	25.4%	30.5%	22.0%	30.5%	22.0%	35.6%	20.3%	37.3%	13.6%	28.8%	54.2%	57.6%	44.1%	39.0%	52.5%	
昭和23年度_家事専業者・無職	63	14.3%	36.5%	27.0%	46.0%	31.7%	14.3%	42.9%	30.2%	42.9%	17.5%	36.5%	60.3%	54.0%	49.2%	55.6%	54.0%	
昭和24年度_家事専業者・無職	65	21.5%	30.8%	35.4%	26.2%	26.2%	23.1%	33.8%	23.1%	38.5%	21.5%	33.8%	53.8%	58.5%	55.4%	55.4%	47.7%	

(「まったく思わない」と回答した人)

	1. 地域のために役に立っている	2. 活動が楽しい	3. 困っている人たちのために役に立っている	4. 相手から感謝されている	5. 人間性が豊かになっている	6. 思いやりや心が深まっている	7. 生活に充実感がある	8. 友人や知人を得ることができている	9. 知識や技能が身につく	10. ものの見方、考え方が広がる	11. 会社や職場などで評価されている	12. 福祉など社内の課題に対する理解が深まっている	13. 経費(お金)があまり過ぎる	14. 活動中の人間関係がうまくない	15. 自分の時間が少なくなる	16. 責任を任せられる	17. 自分の思う活動ができない	18. 継続的に活動できない
全体	730	1.5%	4.2%	5.5%	5.8%	5.2%	4.9%	5.9%	5.9%	10.3%	3.7%	10.4%	17.9%	25.2%	14.5%	23.2%	18.4%	
昭和22年度_勤労者	192	2.1%	3.1%	4.7%	5.2%	4.7%	5.2%	5.2%	5.2%	8.3%	2.1%	10.9%	15.6%	26.6%	15.6%	23.4%	18.8%	
昭和23年度_勤労者	177	2.3%	5.1%	5.1%	6.8%	5.6%	4.5%	7.3%	7.3%	11.3%	4.5%	10.7%	18.1%	20.3%	14.1%	22.0%	17.5%	
昭和24年度_勤労者	174	0.6%	5.7%	6.9%	5.2%	5.7%	5.2%	5.7%	5.7%	13.8%	5.2%	12.1%	19.0%	26.4%	13.8%	21.3%	16.1%	
昭和22年度_家事専業者・無職	59	3.4%	5.1%	6.8%	6.8%	6.8%	5.1%	3.4%	5.1%	10.2%	3.4%	10.2%	16.9%	30.5%	15.3%	25.4%	20.3%	
昭和23年度_家事専業者・無職	63	0.0%	1.6%	4.8%	4.8%	3.2%	4.8%	6.3%	6.3%	9.5%	3.2%	6.3%	17.5%	30.2%	15.9%	25.4%	23.8%	
昭和24年度_家事専業者・無職	65	0.0%	3.1%	4.6%	6.2%	4.6%	4.6%	4.6%	4.6%	4.6%	3.1%	7.7%	23.1%	21.5%	12.3%	26.2%	18.5%	

Q7 ■あなたは「ボランティア活動」をしたいと思っっていますか。

	合計	活動したい	活動したくない
全体	1,350	52.8%	47.2%
昭和22年度_勤労者	308	54.5%	45.5%
昭和23年度_勤労者	323	53.9%	46.1%
昭和24年度_勤労者	326	53.7%	46.3%
昭和22年度_家事専業者・無職	136	47.8%	52.2%
昭和23年度_家事専業者・無職	122	50.0%	50.0%
昭和24年度_家事専業者・無職	135	51.9%	48.1%

Q8 Q7で「活動したい」とお答えの方にお伺いします。

「ボランティア活動」をしたくても、できない・しない理由について

	1. 仕事から忙しいから	2. 趣味や他にやりたい活動があり時間がないから	3. 家族の理解が得られないから	4. 上司の理解が得られないから	5. 関係者を作れないから	6. 情報が不足しているから	7. 活動に要する技術や知識を持っていないから	8. 活動経費などの経済的な理由から	9. 身近に相談できる人やリーダーがいらないから	10. 事故にあうなど安全の問題が心配であるから	11. したいと思わないから
合計											
全体	713	64.0%	59.6%	7.0%	5.6%	13.5%	57.5%	47.5%	45.7%	14.0%	38.1%
昭和22年度_勤労者	168	83.9%	60.1%	6.5%	4.2%	13.1%	58.3%	49.4%	48.2%	15.5%	35.7%
昭和23年度_勤労者	174	78.7%	60.9%	5.2%	9.2%	11.5%	59.8%	46.0%	42.5%	10.9%	33.3%
昭和24年度_勤労者	175	76.0%	62.9%	8.0%	5.7%	9.1%	52.0%	45.1%	44.0%	11.4%	33.1%
昭和22年度_家事専業者・無職	65	20.0%	56.9%	6.2%	3.1%	18.5%	60.0%	53.8%	38.5%	16.9%	53.8%
昭和23年度_家事専業者・無職	61	24.6%	59.0%	13.1%	3.3%	23.0%	63.9%	50.8%	52.5%	21.3%	50.8%
昭和24年度_家事専業者・無職	70	24.3%	50.0%	5.7%	4.3%	17.1%	55.7%	44.3%	52.9%	15.7%	42.9%

Q9 ボランティア活動ができない理由

・きっかけがない ・家庭的な事情。会社の理解が得られない ・家族の介護 ・今は家族の世話に時間がかかるので。余裕ができたならやってみたい ・親の介護 ・どういう活動をしたら良いかわからない ・病人を抱えているから ・どこが窓口かわからない ・障害者になったので、自分にも出来る事が見付からない ・独り者で余裕がない ・体が不自由 ・時間的に制約がある ・機会がないので。仕事のシフトが合わない ・家族に介護者がいる ・地域を知らない。時間が作れない ・家を離れられない ・家庭の事情で時間がない ・体力的に自身がない。きっかけがない ・てれくさいから ・定期的に継続出来ないから。約束しても変更の可能性がある ・時間がない ・時間が無い ・膝を悪くしてから自分の事でいっぱい。座って出来ることだったら良いが、立ちづめは無理 ・現在、その要望が無い ・よくわからない。相談相手がいない ・今現在において時間の余裕が無い ・タイミングの問題 ・思い切り。勇氣 ・時間が無い ・体調不良 ・現役で仕事をしているので時間がとれない ・時間がない ・時間がない ・経済的な負担が気になる ・時間が合わない ・病気になるので ・ボランティアをするための講習会に日時があわなくていけない ・尋ねる場所がわからない ・自分の空いた時間だけというのがない ・療養中 ・病的な理由で参加できない ・現在は、母の介護でそれどころではありません ・時間がない ・体が丈夫でない。時間の余裕が無い ・体の都合。うまく時間とれない ・身障者である ・介護生活中 ・仕事が忙しい ・家族の介護で手いっぱいです ・どのような活動があるか分からない ・体調がすぐれない ・家族の介護をしていて時間がない ・時間がない ・今いる地域で無いから。自分の生活が苦しいから ・したいと思う活動をどこでやっているかわからないから ・両親の介護が必要になり、これを優先しているため ・町内会での情報が無い ・今、自分を押し出す必要性を感じていないから ・時間がない ・定年まであと少しだから ・身体的理由 ・気持ちに余裕がない。退職したら時間的には可能となる ・依頼者が強制的。資金の関係 ・参加団体を知らない ・税金を払うと生活できない経済的な理由による ・体の不調 ・仕事中心で時間がない ・障害をもっているから下手に迷惑をかけたくない ・どんなボランティアが何処ですれば良いか分からない ・健康上の理由 ・介護が忙しくて、参加できないことがあると、次からは参加しづらくなる ・暇がない。はずかしい ・持病があり活動内容に制限を受ける ・仕事が忙しいから。趣味や他にやりたい活動があり時間がないから ・情報がない ・おっくう ・家庭に介護者を抱えているため時間がとれない ・自分の体調が思わしくないため ・今は孫の世話で時間がない ・帰宅時間が毎日19時頃 ・同居の92歳の母がいるし、趣味で忙しく時間がないからのみの理由 ・勤務時間がながすぎて時間に余裕がない ・仕事が忙しい ・親の介護をしているので ・家族の中に介添えの必要な者がおります ・時間的余裕がない ・知識等の不足。交通費等の費用の問題 ・具体的なアプローチをしていないから ・親の介護 ・チャンスがない ・活動の内容や、時間的情報が不足している。どの程度の知識・技術が必要なのかも明らかにしてほしい ・平日は時間がない。休日ではできれば身体を休めたい ・自分の休日とかみ合わない ・きっかけがない ・病気（進行性の障害者） ・介護 ・身近に情報が無い。長期に拘束されるような仕事であると責任が持てない ・きっかけが無い ・暇が無い。余裕がない ・身の回りにどのような活動があるのか不明であること。何処が組織の本部であるかも分からない事 ・自身が障害者のため ・毎日に仕事在不規則で予定が立たない ・余裕が無い ・時間的に合わない ・必要度が分からない ・他に趣味があり忙しい ・持病がある ・きっかけがない ・体調の具合 ・障害者になったから ・現在は趣味に没頭してるので ・身体が健康でない ・仕事 ・自分に収入がないのに活動するには諸々お金がかかるから ・時間が取れない ・情報がわからない。時間が合わない ・生活に追われ時間がない ・仕事が忙しい ・時間の余裕がない ・情報の不足 ・家族の介護や家事が忙しいので ・体

調が良くてあまり参加できない ・私自身が障害者の為活動に制限があるため。在宅・デスクワークの範囲で、できるものがあればしたい ・体調 ・仕事が忙しい。頻繁に海外出張がある ・仕事が忙しくなったので ・身体が不自由になったから ・趣味などに時間をとられる ・経済的 ・やってる事があるので時間がない ・自分に何ができるか判らない ・今は生活のために働いている為時間がない ・現在軽い障害があり、活動は難しい ・どんなものがあるかよく分らない ・活動グループがわからない ・会社の個人へのレポート提出が多すぎる ・通院中なので。まず健康を取り戻してからと思っています ・今は孫を見ているので ・自分の都合で出来るときだけするというような環境にない ・情報が入らない ・暮らしにゆとりが無い ・やはり時間、日程など調整がつかない ・現在、時間、経済、精神的な余裕が無い ・時間的にあわない ・自分自身の時間の確保 ・経済的に無理です ・自分にできるという自信が無い ・人見知りの所があるので、うまく出来るか心配 ・時間が取れない ・自身の体調に自信が持てない ・健康に自信がない ・他に趣味があり時間があまりとれない ・90過ぎの両親の面倒で手一杯（現在勤務中）。もう少しして時間が取れるようになったらしてみたい ・とにかく時間がない。身内に介護を必要としている者が今現在いるので ・身近にボランティアしてる人がいない。仕事でいそがしい ・機会が少ない ・時間が無い事。体力に自信がない事 ・今は経済的に余裕が無い ・現在、自分の体調が良くないため ・定年後に考えている ・現在身体の調子が悪いから ・身近なところがない ・自分が役に立つ不安 ・自由業なので思うような時間の取り方ができない ・自分の健康に自身がない ・人工透析治療中で疲れるから ・身体的、健康的理由 ・現在貧乏である ・健康事情 ・親の介護 ・体調を崩している時もあるので ・募集しているところを知らない。近くの人たちがやっていないので情報が入らない ・きっかりがない ・体力 ・熱意が薄い ・精神的に気力が出ない ・両親の介護をしているからできない ・目的のボランティアが見つからない ・母の介護のため

Q9 ボランティア活動をしたくない理由

- ・現在仕事をしていて、活動する余裕がない ・人間関係が煩わしい ・てれくさいから ・生活に余裕がないから ・バックアップの問題 ・疲れている ・グループがきまってしまっている ・人付き合いが苦手 ・個性が強い人多そう溶け込み難い ・内容がわからない。バックにあるものが見えてこない ・メンバーの固定化に不信がある ・魅力を感じない ・したいのだけど身体が動けない ・意見があわない ・個人で活動するならよいけれど、複数では煩わしい ・変にリーダーになりたがる人がいるから ・依頼者との人間関係 ・世間話が億劫なときがある ・時間があわない ・仕事が忙しいから。趣味や他にやりたい活動があり時間がないから ・政治的な活動に繋がる懸念。きっかけがない ・したい気持ちはあります ・子供の成長と共に地域社会との関連が薄れてしまったから ・自分の休日も足りないくらい。経済的な理由 ・近くに適当な会がない ・自分に何が出来るのかわからない ・したい活動が見つからない ・まだ仕事で手一杯 ・やってみたものが見当たらない ・障害者になったから ・上の人の考えが納得出来ない ・時間がない ・何となく煩わしい ・私自身身体障害者で車椅子利用者です。私自身車椅子でも何かのお役に立てたらと思います ・その分自分の仕事で稼いだほうが良い ・自宅より遠い場所は時間的に困る ・いまは1人で仕事をやっている ・マッチしない ・あまり公に目立つことが嫌い ・時間がない ・自主的にできない ・主人が失業中で生活がたいへんです ・人間関係 ・興味のある分野がない ・自分の事でいっぱい。他にやりたいことがある ・情報が今はない ・消極的 ・ボランティア詐欺に遭ったことがある ・面倒だ ・体力

Q10 Q7で「活動したくない」とお答えの方にお伺いします。

「ボランティア活動」をしたくない理由について

	1. 仕事から忙しいから	2. 趣味や他にやりた い活動があ り時間がな いから	3. 家族の 理解が得ら れないから	4. 上司の 理解が得ら れないから	5. 人間関 係をうまく 作れそうも ないから	6. 情報が 不足してい るから	7. 活動に 要する技術 や知識を 持っていない から	8. 活動経 費などの経 済的な理由 から	9. 身近に 相談できる 人やリー ダーがいな いから	10. 事故 にあうなど 安全の間 題が心配で あるから	11. したい と思う活動 がないから
合計											
全体	637	57.8%	71.6%	11.3%	10.0%	27.0%	34.1%	50.9%	32.3%	21.7%	53.2%
昭和22年度_勤労者	140	70.7%	77.9%	13.6%	12.9%	29.3%	39.3%	46.4%	32.1%	22.9%	59.3%
昭和23年度_勤労者	149	69.1%	73.2%	4.0%	8.7%	22.8%	33.6%	52.3%	31.5%	17.4%	49.0%
昭和24年度_勤労者	151	82.1%	79.5%	16.6%	17.2%	27.8%	37.7%	49.0%	34.4%	27.8%	58.3%
昭和22年度_家事専業者・無職	71	22.5%	62.0%	12.7%	4.2%	31.0%	33.8%	56.3%	38.0%	23.9%	56.3%
昭和23年度_家事専業者・無職	61	21.3%	62.3%	9.8%	3.3%	16.4%	23.0%	49.2%	24.6%	13.1%	32.8%
昭和24年度_家事専業者・無職	65	20.0%	55.4%	10.8%	3.1%	35.4%	26.2%	56.9%	30.8%	20.0%	53.8%

Q11 ボランティア活動をしたくない理由

・ボランティアは、人に進められたりしてするものではなく、自発的にするものと思う ・時間的余裕がない ・ボランティアに興味が無い ・興味が無い ・介護の親を抱えており、自分の体力にも自信がなく、とても出来ない ・ボランティアにたよらず、国がやるべきことが多い ・貢献できるか自信が無い ・自分のことで精一杯だから ・受ける側が当然というような考えの人が多くなってきたから ・災害支援などいくつかを除いて、日常ではみんなが毎日ボランティア精神をもって過ごせば、全てとはいわないが大凡のことは事足りると思うから ・仕事と家族の介護で忙しい。時間の余裕が出来ても家族の介護の方に時間を使いたい ・自分の事で精一杯 ・自分自身の健康に問題があります(持病) ・体調不良のためしたくても出来なくなっている ・自分の自由時間も不足している ・ボランティア活動は基本的にしたくない ・家ことで精一杯で時間がない ・気持ちの余裕がないから ・自分の生活が精一杯で余裕がない ・根本的にボランティア活動を自発的にやりたいとは思わない ・体力的に無理だから ・時間をとれない ・腰のヘルニアと狭窄症を患ってしまい、思うように身体を動かさないから ・時間と金の余裕がない ・時間が取れない ・身体の具合がよくないから ・強制されてやるものではないし、流行もののような気がして少々抵抗がある ・自分自身の体調が悪いから ・やはり時間がないのが一番 ・自分が役に立てるとは思えないから ・現在、自宅に介護の必要な主人の両親を抱え、仕事も持っているのでボランティアにさく時間が無いし体力的にも無理 ・体調が悪い ・良くわからないが、あまり他人とかかわりたくない ・気持ちが起こらないから ・自分の家での事でめいっばいである事 ・時間的なものが大きな理由だが、ボランティアをしている人がいかにボランティアをしていますという態度の人が多いのでそういう人たちと一緒に行動したいとは思わない ・個人的にやりたい ・健康上の問題からもある。腰痛、心臓病等から長時間手伝えない身体ハンディがある ・心身ともに参加する余裕がないから ・まだ、真剣に考えていないから ・今は家族が入院しているため病院通いと仕事で気持ちにゆとりが無いので ・自分が助けてほしい状況だから ・興味がありません ・ボランティア以前の問題として、自分の生活がきちんとできるかの方が心配です。生活の基盤がしっかりしていないと、他のことはできないから ・体調が悪い ・短期間だけとか、活動してる知人に声を掛けられたら考える ・そこまでの余裕がない ・体調がすぐれない ・幼少の頃から困った人がいると放っておけない性質で、人に親切にしてきたが、感謝される処かうるさがられたり非難されたりした ・兎に角、仕事が忙しい。週一回のお休みしかないのでは家のことが出来ない為 ・続くけられるかどうか ・交通事故にあい身体が不自由で、自分の事も思うようにできないので ・拘束されそうな感じがする ・人間関係のしづらみが鬱陶しいから ・用があって休んだりすると、文句を言ったり理由をしつこく聞く人がいるのが嫌 ・自分が今現在病気だから ・体力的に無理 ・体調に自信がない ・ボランティア活動の意義がわからない ・自分に合わない ・以前に比べて生活レベルの低下で余裕が減った ・自分の考え方を押し付けそう ・自分の家族の介護があるため ・今は、とにかく面倒という感じ。疲れそうなので ・自分の出来る限りの活動をしているから ・自分のことでいっぱいだから ・特に地域ボランティア団体は年配者が幅を利かせており、運営が民主的ではないから ・あえて拒否はしないが、積極的に始めたいとも思わない ・自分の健康に自信がないから ・時間的余裕がない ・参加するきっかけが出来ない ・健康が良くない ・自分や自分の家族で精一杯 ・例示されている理由以外に、特にない ・体力が無理 ・ボランティア活動をする気持ちは全くない。何故人の為に動かなければいけないのか？ 見ず知らずの人の為に。などと、全く思わない ・忙しい ・今はとにかく時間不足。わずらわしいのが苦手 ・健康に自信がない ・地域での人と人とのしづらみに疲れたから ・体力が追いつかない ・現在は、したいという気にはならない為 ・体調が悪いのでしたくても出来ません ・自宅に高齢者がいるから ・毎日の生活に追われ、気持ちに余裕がない ・多忙 ・自分の借金返済が大変なのに、ボランティアをする余裕が全くない ・する余裕が自分の健康状態にない ・身体をこわしているから ・興味がない

い ・重度の、身体障害者 ・夫が倒れ入院したりで、他人のことどころではないから
ら ・体力に自信がない ・一度活動に参加すると、相当な時間をとられるから。自分のし
たいことをしてから、余暇にボランティアができるとは、思えない。中途半端な形でボランティ
アをやめるくらいなら、迷惑をかけるから初めから参加しない ・自分が障害者であり、自分
でも出来るボランティアがあれば是非参加したいと思っている ・自分の体が著しくないか
ら ・体力に自身が持てない ・家族の介護でそれどころではないから ・面倒くさ
い ・身内の介護の為 ・現在は再就職活動に重点をおきたい ・好みに合わない ・現
在療養中 ・自分を上位にもっていくのがいやだから ・病気がちだから ・家族の介
護 ・自分の事で精一杯でゆとりが無い ・されるほう ・ボランティアは嫌い ・自
営業で、朝から晩まで年中無休で働いているため、体に余裕がない ・面倒だから ・めん
どうだから ・介護が必要な家族がおり、家を離れるわけに行かない ・特にないが、頭の中
にその気配もない ・持病があるので ・経済的に余裕がないため ・持病があり活動
に支障がある ・障害者のため ・自分自身の体調が今一なので ・健康上の問題 ・ボ
ランティアというが本来行政で措置すべきもの ・特にありませんがなんとなく ・体力に
自信がない ・「してあげる」とかの上からの目線。 格差をつくっておいて、自己満
足 ・お友達が少ないから ・病弱なので ・興味がない ・体調を考慮（昨年入院手
術をした為） ・体が疲れる ・友達がやってないから ・疲れるから ・余裕時間を
自分のために使ってしまうから ・自身のことで精一杯 ・自分の事で精一杯でゆとりが無い
い ・病気がある為活動ができないから。動くのが大変だから ・ボランティア活動が必要
だと思わない ・活動したくなるような理由がないから ・孫の世話をするので ・要は、
その気がないと言う事だと思います ・自分の親の面倒を見るから ・めんどくさい ・現
在介護支援専門員（ケアマネージャー）の仕事をしており、自分の時間が全く持てない。土日祭
日自宅にも電話があり、毎晩書類を持ち帰り介護保険の書類作成に追われている。時間の余裕が
ない為、ボランティアは出来ないが、知人等から相談などを受ける事もボランティアと捉えられ
るのでは？ ・したくないではなく、体力的に難しい ・情報がない ・体力的に無
理 ・特に自分ができないことがない ・実際は面倒だからと思う部分が大きいです ・余
裕がないから ・人との交流がにがて ・自分の体に自信がないから ・現在、病気療養
中のため ・自分自身が丈夫でないためお手伝いできない ・家族に病人が居て、余裕がな
い。それと、自分のしたい事にも打ち込みたいから ・健康に自信ない ・近所の住人とつ
きあいたくない ・一度参加したらいろいろ引っ張り回されそうでいろんなことに面倒になり
そう。マイペースが好き ・仕事が忙しい ・自分も歳を感じているので ・交通の手段
が限られている

Q12 あなたは、今後（退職後）に、どのような「ボランティア活動」に取り組んでいきたいと考えますか。

	1.町内会や自治会などの手伝い、まちづくりなどの活動など	2.夜間巡回や街頭指導、交通安全教室の指導・手伝い等の活動など	3.子どもの居場所づくりの活動、子ども会や育成会の活動、子どもの野外キャンプの指導等の活動など	4.学校の教育活動に対する支援、自分の知識や技術を生かした公民館における講座等における博物館等における作品説明など	5.地域の伝統芸能・伝統行事、祭り、スポーツやレクリエーションの指導等の活動など	6.地域のゴミ拾い等の環境美化、リサイクル活動、野生動物・植物等の保護活動など	7.お年寄りや障害のある人に対する介護、難病の克服を支援する活動、手話通訳や点訳・朗読サービスマス、通院の付き添い等の活動など	8.病院や福祉施設での手伝いや話し相手等のボランティアなど	9.国内の災害地における救助活動・救援活動など	10.通訳、ホームステイ、国外の災害地における救助活動・救援活動など	11.街頭募金活動やチャリティイベント等の援助活動など	12.上記以外のボランティア活動	
合計													
全体	2,080	54.9%	18.6%	26.4%	26.8%	34.7%	56.5%	30.2%	25.1%	28.6%	15.5%	18.9%	21.1%
昭和22年度_勤労者	500	58.0%	23.6%	29.2%	31.0%	38.0%	59.2%	30.0%	25.4%	33.8%	19.2%	17.8%	22.2%
昭和23年度_勤労者	500	55.8%	19.8%	26.6%	28.0%	33.0%	55.8%	30.0%	23.2%	30.2%	16.4%	18.6%	22.0%
昭和24年度_勤労者	500	59.0%	19.8%	29.4%	29.8%	40.0%	58.4%	27.4%	22.8%	30.8%	15.0%	19.0%	22.2%
昭和22年度_家事専業者・無職	195	49.7%	10.8%	20.5%	17.9%	33.3%	60.0%	31.8%	31.8%	21.5%	13.8%	20.0%	18.5%
昭和23年度_家事専業者・無職	185	49.2%	12.4%	20.5%	20.5%	24.3%	48.1%	33.5%	26.5%	17.3%	10.3%	17.3%	16.8%
昭和24年度_家事専業者・無職	200	44.5%	13.5%	22.5%	20.0%	28.0%	51.5%	33.5%	27.5%	23.0%	11.5%	22.5%	20.0%

Q13 上記以外に取り組んでいきたいボランティア活動

・手がいっぱい ・生活支援 ・地域活性化の活動 ・文化・芸術の国際交流 ・HPでの情報提供 ・青少年育成のためのスポーツプログラム ・学校の学習支援ボランティア ・インターネットが好きなので、高齢者のIT活動の援助など、自分に手伝えることがあれば、やりたい。 ・地雷撤去・地域の宣伝にHPを立ち上げている ・地域の子どもの健全育成になるような活動があるなら ・技術の継承 ・動物愛護 ・農園を中心としたケア活動 ・障害があってもなくても一緒にする ・どういった活動があるのか判らないので何ともいえない ・鬱病の人、引籠もりの人、いじめの現場で、カウンセリングしてみたい ・地域の皆さんと共同で出来ることをやっていきたい ・具体的には案が出てこないが思い付きでの取り組みが良い結果が得られたら良いかと思う ・介護 ・インターネットを使った活動 ・インターネットを通じたカウンセリングや道徳や書道の普及 ・色々 したいことが沢山あるが 今しているボランティア活動で手いっぱい。孫4人の面倒も見なくてはいけないので 子守も親に対するボランティア活動みたいだと思っている ・障害者の旅のお世話 ・合唱を通じた施設訪問 ・特には思いつかない、するぞと勢い込む必要はなく、出くわした場面で自然に行動したい ・動物に関した事で役立つことがあれば取り組んでいきたい ・自分でも模索中 ・伝統芸能の研究 ・今はまだ仕事しているので、リタイアしたら考える ・自然動植物の保全保護活動、大隕石の地球衝突監視国際活動 ・障害者の視点に立った社会環境調査 ・韓国語の学習指導 ・自分に出来るボランティアがなになのか、実感がないのでよくわからないのです ・町おこし活動 ・リサイクルのボランティア ・技術を生かしたインフラ作り ・地域のこと背も立ちの育成 ・環境問題、自然界動物の今後など人間との共存がうまくできるようになる事が理想です ・子ども達の可能性を伸ばせるような、読書や紙芝居などの活動手を動かして、何かを作るように活動 ・地球環境に関する活動 ・無料医療相談 ・母子家庭の子供の家庭教師 ・今行っている物で充分 ・ボランティア精神で暮らすこと。行く先々でそのような精神の拡がりが出ること ・ボランティア活動をネットで紹介しているのでボランティアを社会に広げたい ・社会活動 ・子育て支援 ・地域の活躍を行いたい ・海外から来て頑張っている人たちの支援 ・前の質問に回答した震災などの募金支援 ・音楽を通じてのボランティアを ・認知症の人の人権を守る ・スポーツ大会の補助員 ・山林活用など ・ホームステイ受け入れ、外国人通訳など ・アフリカの飢餓問題 ・商店会活動 ・マラソン大会の監察員 ・歯医者なので、それに関するボランティアが有れば参加したい ・環境保護 ・ジュニアの活動支援 ・身体の健康の具合でしたくても出来ない ・アルコール依存からの復帰 ・施設の子供達の一時受け入れというか、施設の子供達のホームステイ受け入れ等 ・自然の再生 ・緑化など環境保全活動 ・自分に出来る事を考えています ・状況が合えば何でも ・ひきこもり児や不登校児を対象にしたフリースクールなどで活動したいと思っている ・職業訓練所などで自分の技術を活かして講師をする ・職業の専門性を生かしたもの ・障害者やお年寄りを車で病院などに送迎する活動 ・今、行っている訪問演奏の回数を増やして行きたい ・動物愛護活動 ・特別に何をというより自分にあつた物が見つければ ・災害ボランティア ・電気製品、玩具類の修理するボランティア団体の紹介を以前にTVで見たことがある。このような活動は、自分の技術を発揮できる分野と思います ・パソコンスクール ・地域の町おこし ・生涯教育 ・気軽に溶け込みやすい人間関係が作れる雰囲気の良いところ ・障害者に対しての活動 ・悩みを持っている人たちの話し相手になって、心をなごませてあげたい ・パソコンを利用した活動 ・地球温暖化防止活動 ・英語 ・ボランティア活動者のコミュニケーション場所の提供 ・開発途上国での民間の活動 ・分からないが具体的事例に則して考えていきたい ・例えば、身近で困っている状況の人がいたらするかもです ・手芸をみんなで作る。絵だより年賀状など出すような作業 ・健康に関する取り組み ・自然出産できる母体の整体、食事指導など ・子供の見回り（登下校時）、子供との挨拶運動等子供にかかわること ・ケアセンターに一日介護

員 ・各種のボランティアに参加したい気持ちは多いにあるが、心臓病なので参加できない
・防犯 ・海外でのボランティア活動 ・物品のリサイクル活動 ・出来れば何にでも参加したいが、自分自身病気でその体力がない ・いきいき働き続けられる職場づくりにがんばる後輩たちの支援 ・お年寄りが大変増えているので、会員制のクラブでお話し相手になれるといい ・地域の環境整備 ・バリアフリー化の協力 ・地域の美化 ・保育 ・目の不自由な方への点訳に関するお手伝い ・地域の防災活動 ・自然保護の為に、市内の野山・河川敷の清掃などを企画して欲しいし、是非参加したい ・手話を勉強したい。点字もやってみたいが眼が最近余りよくないのでちょっと心配 ・その時出会った、大変な人に協力 ・NPOやNGOへの寄付 ・環境問題に関すること ・地域が元気になる様にレクレーション(スポーツ、バザー、祭り等)活動行いたい ・できる事を手伝う ・地球緑化、環境改善 ・地域のジャズオーケストラの育成 ・自分で判断して、最後まで出来る事を見つけて、やっていきます。人に言われてやったらやらされてる事ですから ・ハイキングコースの美化 外出できない人を自然に接してやること ・手話をしたい ・外国人居留者や短期滞在者、留学生への援助となる活動 ・今は色々な方面で活動しています。(子供の居場所、高齢者の工作的なもの、身障者の方との交流)ので、これらのものをもっと充実させて生きたいと思っております。障害者の人と健常者の皆さんとの、(私の今もっている特技で)バリアフリーを目指して交流の場を作って生きたいと考えています ・栄養や調理に関すること ・今は何をすればいいか何が必要なのか情報がわからない ・できることは何でもしたい ・動物全般の保護活動&啓蒙活動 ・児童の放課後の世話など ・ますます少年野球に取り組みたい ・自分が病気なので、殆どボランティアはできない ・海外援助の一環としてのボランティア活動をやりたい ・国際交流 ・ボランティア団体NPOのホームページ更新メンテナンス ・町おこしなどへの参加 ・まだはっきりとは判りません。ただ、負担にならない程度のは取り組んでいきたいと考えています ・一定の報酬を得ながらの弱者支援、地域貢献 ・小学校や作業所でのパソコン指導ボランティア ・わりに大きなイベント(スポーツ関係など)の手伝い ・地雷除去作業などの活動 ・趣味を生かして活動が出来れば、今までもそれだけは、こちらに無理がなければ、与えられる人にも喜びを与えることが出来るのでは ・困って頼られたら手をさしのべて挙げる、それが本当のボランティアだと思う ・マンション管理組合の運営 ・国際協力 ・乗馬療法での乗馬指導 ・こどもにとって生き生きとした時間を十分味わえるような活動 ・体に負担がかからないような家でも出来ること ・施設でのヘアカット ・災害時のボランティアというより地域の協力体制強化 ・病院などでのチャリティコンサート ・健康に自信がもてるようになったら ・近所に住んでいる年寄りの手伝いなど ・自分にまだ知識や経済力がないので、手広く又深くボランティアは困難。手にあった事しかできない ・地域の活動の協力 ・具体的には今は思い浮かばないが、自分のできる範囲でやれる事をしたい ・河川浄化運動 ・自分の趣味が生かされる活動 ・動物保護 ・地域美化には是非参加したい ・男性でリタイア後のボランティアといえば「経験を生かす」型以外に無いと思います。女性の様に「生活支援」型のボランティアは無理です。いわゆる「勤労奉仕」型は御免です。プライドを持たない様なボランティアは、したくありません ・別々に活動しているボランティア組織の共同活動の連絡員として働く ・子供たちの活動に何らかの協力をしていきたい ・捨て猫(地域ネコをはじめとする、災害時に放り出された恵まれないネコ、イヌ)を助け、里親を見つけるボランティア活動 ・ホームステイ ・働く女性の応援に関すること ・楽しみながらの人間交流と一環としての活動 ・ごみなどの環境美化を個人的に自発的にやりたい ・体と心の健康と財布の健康について ・子育て支援 ・小学生の登下校時の監視 ・JAICAでの活動 ・聴覚障害者の方への朗読ボランティアの養成講座を受講しようかなと考えています。試験があるので養成期間は2年だそうです ・お年寄りの介護。話し相手、お料理作りなど ・現在は具体的にわからないが、必要とされることがあればしたい ・絵本の朗読など ・朗読をテープに取って目の悪い人のために役立てる ・地域の祭り 盆踊りの継続

とか 子供のころからあった日本の風習をのこしたい ・パソコンを使ってのお手伝い ・森林環境保全活動 ・アマチュア無線活動を通じたボランティアなど ・図書館での寄贈図書の仕分け ・心豊かな環境を作っていく ・独居老人の話し相手を退職後したい ・自然環境、特に野生の動物たちにのびのびと暮らしてもらえるような環境の保護 ・地域の美化（地域のガーデニング）で町全体を美しい町にしたい ・年配者家庭訪問でのPC講習 ・東南アジアの貧しい山村の学校への支援活動 ・健康を維持するための運動教室の補助 ・盲導犬を増やして目の不自由の人の役に立てたらと思っています。それから植樹を団体でしたいと思います ・パソボラ 傾聴 ・目の見えない人の手伝い ・自分の経験を活かした活動 ・曜日・時間的に短時間で出来る内容のもの。自分の趣味を活かせる活動（熱帯魚・水草の水槽展示の維持・管理。施設や老人世帯の簡単な日曜大工的工作） ・一人住まいのお年寄りの家の雪かき ・帰宅後の子供の宿題をみたり、一緒に勉強したりして、働いているお母さんを支援したい ・特に有りませんが今後は考えてゆきたいと思います ・特技を活かせることがあれば時間の許す限りやりたい ・お年寄りの買い物や移動の手伝い ・不燃ごみを分類して、必要な人に使ってもらう。町内会に検討を依頼中 ・身近な地域を住み易くするための活動 ・介護に関する事 ・パソコンなど、趣味の世界を広げる ・町をきれいにしたい ・自然保護活動 ・JICA ・ホームレスの人たちの救援 ・環境美化環境改善 ・タイムケア ・趣味を生かした活動 ・森林保護のための下草刈り ・自分のスキルを役立たせたい ・ボラティアといえるほどでなくとも地域の子育て支援はしたいと思っている ・自分の仕事を通してのボランティア活動 ・デイサービス等で、童謡とか歌を歌ってあげる事は出来る ・料理が好きなので勉強にもなるのでそれを生かしたい ・悩み電話相談、電話11番など ・勉強したくても何らかの理由で学校にいけない人々への援助 ・手話と手話劇に関するものに関わりたい ・海外シニア ・家庭における介護支援 ・環境問題温暖化防止 ・環境教育の手伝い。環境問題についての啓発活動 ・地元の小中学校の同窓会活性化 ・NPO活動など ・パソコンを使った点字翻訳 ・他にはないし、自分に一番できそうなのは一つだけ ・手話の勉強をしている ・赤十字等への寄付 ・ボランティアと意識しないで、たまたま助けを欲しい場に行き合ったら、手を貸すことをしたいと思う ・日本を含めたアジア諸国の創造的文化活動の支援(現在もしている) ・少なくとも自分の周りの人が心地よく過ごせるよう空間、地域にさりげなくでも役立ちたい ・具体的には思いつかないが、できる限りしていきたいと思う ・川などの汚染調査 ・子供を守る ・毎日の生活の中で気がついた時どき実行したいと思う。あまり「今日はこれをする」と意気ごまないで、自然体でやりたい ・ゴミの削減やリサイクル、地球温暖化の防止など広く自然や世界に目を向けてボランティア活動していけたらと考えています ・市政策など政治に対して意見やチェックをボランティアとしてしたい。選挙だけでは国民の意見は反映されない。ボランティアでなら大勢の人が自発的に参加できると思います ・平和のために世界の母親組織をつくり対話していく活動 ・日本の良さを見直す ・何かしたいと思っているが、具体的に何がよいかはこれから考える ・動物愛護 ・障害者に対する意識の向上運動 ・景観の清掃 ・捨て犬の保護活動 ・具体的では無いが困っている人の役に立ちたい ・パソコンの指導 ・私はみんなに指導だとかみんなの前でのボランティアよりも陰でのボランティアをやりたい ・ホームステイなど ・環境問題 ・身体が不自由なので自由に歩き回ることが出来ないが家でなら出来るのでそんなのが有ればしたい ・老人の介護の協力 ・保険福祉関係 ・宗教 聖書教育 ・技術も資格も何も無いので今後は、老人や介護補助程度の、話し相手になったり、そんな事か、町の道路端に花を植えたりの手助け程度しか出来ないと思う ・何かしなければと言う思いはあるが、身近でできることにどんな事があるのかなかなか分からない ・高齢者の福祉関連 ・NPO法人を造り活動します ・地域の催事 ・老人ホームの下働き（選択や配膳） ・自分にできる事を探したい ・特にはありませんが、毎年少しではありますが、ユニセフに募金をしています ・子どもの車椅子テニスの支援 ・心理カウンセリングの技術を生かして 引きこもり、登校拒

否、いじめの問題のカウンセリングをしていきたいと考えている ・難病、貧困、などへの寄付 ・趣味やお茶を飲みながらお話をしたりする活動をしたと思います ・盲導犬の育成 ・各種公的組織に対する専門知識を生かした支援活動 ・老人ホームや病院での演奏活動を、ずっと続けていきたい ・点字を習得して役立てたい ・趣味を生かしたボランティア ・障害のある人の展覧会など ・在日外国人の相談相手 ・農業ボランティア。庭や空き地を活用して野菜作りをすすめたい ・地域の清掃 ・現在の活動（年末・年始の炊き出し支援） ・薬剤師として技術や経験を生かしたNPO活動 ・団塊の世代への仕事や趣味の提供 ・弱者に出来ること、グループ活動に自分として何が出来るかを見つつ参加できれば ・子どもたちに役に立つボランティア全般 ・具体的には現在考えてはいませんが、自分ができると思うことはやりたい ・体に負担の無いボランティア活動 ・障害者がもっと地域に参加できるようなシステムづくり ・捨て犬救援活動 ・お年寄り、寝たきり老人等の話し相手、相談相手。矯正施設でのボランティア ・応援するスポーツクラブでのボランティア ・海外でのボランティアの機会があれば参加したい ・一人でも出来る住んでいる周りのゴミ拾いなど ・子育て支援ボランティア。老人に手厚い介護保険に対して子育て支援が不足しているため ・国内で生活している外国人のサポートを続けたい ・男女共同参画社会実現への活動 ・一人暮らしのお年寄りの話し相手をしたり、簡単な家事の手伝い ・シルバーエイジへのスポーツアドバイザー ・公園などの緑化運動 ・地域振興に役立つ事 ・老人関係 ・子育て支援 ・無理をしないで続けていける事で、何かの役に立てることであればやりたい ・高齢者や身障者が街に出られように手助けをしたい ・特にない。情報がなくて、希望もないが、気楽に参加できるもの。家族に負担をかけないでできるものを捜したい ・今もやっているがスペシャルオリンピックの活動支援 ・県の地場産業や名所旧跡を外国の方に通訳をしながら紹介したいです ・道路の草取り ・捨て犬、捨て猫の保護や介護など、動物に関してのボランティア ・どの項目に当てはまるか良く分からないが、戦争に反対すること ・図書ボランティア ・情報提供。コミュニケーションの場の提供 ・思いあたらないが出来ることなら活動したい ・介護関係 ・具体的には何と決まっていなくても、本当に必要とされているものがあればすぐにでも ・今のまま続けて行きたい ・自然保護活動 ・子どものキャンプの支援 ・ひとりでも出来るような活動、大げさなものではなく道ばたのゴミを拾うとか、お年寄りがいたら手をひいてあげる、とか、小さな事でも気づいたことをする ・今の活動を継続したい ・ゆとりで出来たら ・悩み相談など ・訪問診療 ・インターネットなどで呼びかけられる様な事 ・園芸、陶芸、等の手づくりのたのしさを知ってもらえる活動 ・クラシックギターの演奏会をチャリティーで、開催したい ・外国人への日本語や生活習慣を伝授する ・結婚前に目の不自由な方のために点字のボランティアをしたいと思っていましたが、具体的にどういう窓口があってどういう形で参加できるかわからなかった。インターネットで、身元のしっかりした窓口で申し込めれば参加する方が飛躍的に増えるのではと思われまます ・水や空気をきれいにする事や緑を増やす ・犬・猫などを救出する ・障害のある人々の施設で、音楽療法のお手伝い ・恵まれない（親に）子の里親または面倒 ・デイサービスの食事補助 ・お年寄りのお話の相手になってあげたい ・海外で日本語を教えたい ・地域に根付いた活動 ・一人暮らしや高齢者の食事作り、お弁当作り等 ・乳癌で右乳房を切除しました。多くの方がその事に劣等感を抱いて温泉などが楽しめないのではと思っています。同じ病気を経験したもの同士痛みを分かち合いながら、温泉を楽しめたらと願っています ・動物の保護 ・人それぞれで自分にあったボランティア活動をすればいいのであって強制されるものではないと思う。ですから、今の活動を続けていく ・今は介護で大変なので、参加できないが、自分に出来ることは、何でもしたい ・何であれ困っている方への手助けが出来れば ・児童の帰る時間帯に犬の散歩をする

Q14 ボランティア活動ができない理由

- ・仕事が忙しい
- ・人づきあいが苦手
- ・経済的に大変なのでとても人様の援助なんてとんでもないです
- ・興味が無い
- ・スキルがない
- ・両親の介護
- ・なんとなく
- ・気が無い
- ・体力が無い
- ・母の介護で忙しい
- ・仕事の関係
- ・家族の介護の為
- ・自分の事で精一杯
- ・生涯現役
- ・持病があるので行動が出来ません
- ・体力がない
- ・興味が無い
- ・ボランティア活動するから自立しない
- ・経済的なもの
- ・時間がない
- ・家族の理解が得られないと思う
- ・金銭的にも時間的にも余裕がない
- ・時間的に無理
- ・したくない
- ・人との関わりが面倒
- ・どこかで自分が偽善者みたいな…
- ・余暇は別のことをしたい
- ・自分の生活に余裕がない
- ・興味が無い
- ・生涯働かないと食べていけない
- ・年金だけでは生活できない
- ・体力的にしんどい
- ・体力がない
- ・体が不自由
- ・時間をとれない
- ・仕事が忙しい
- ・わずらわしい
- ・仕事中心でいきたい
- ・時間と金に余裕がない
- ・退職がない
- ・体調不良
- ・自分のことで、精一杯
- ・自分の事でいっぱい
- ・定年がない
- ・身体の具合がよくないから
- ・病気がちである
- ・身体的理由
- ・個人でやっている研究がある
- ・仕事をするから、時間がない
- ・体調が悪い
- ・家族に難病の病人を抱えているので
- ・時間がない
- ・経済的
- ・自分の趣味をしたい
- ・一人暮らしの親
- ・自分のやりたいことが多い
- ・健康上の理由
- ・介護の為
- ・自分の体調
- ・生涯現役
- ・ニーズが合わない
- ・昭和3年のようなモラルが現在ない
- ・興味が無い
- ・めんどうだから
- ・時間がない
- ・参加する意欲がない
- ・家族の介護で時間がない
- ・経済的理由
- ・体力的理由
- ・家族の理解
- ・時間がない
- ・自分が食べるのでせいっぱい
- ・自分の趣味が忙しい
- ・ボランティアをするタイプではない
- ・ボランティアをしている暇は無い
- ・仕事現役
- ・現在は考える余裕がない
- ・人付き合いが苦手
- ・趣味に生きたい
- ・性格的に人と接するのが不向きである
- ・時間と経済的理由
- ・身障者である
- ・身体が不自由
- ・日常生活も1人では出来ない
- ・入退院の繰り返し
- ・定年後の再就職希望のため
- ・老親の介護のため
- ・時間がない
- ・鬱だから
- ・自分が入退院を繰り返す病人だから
- ・体力的に無理だから
- ・興味なし
- ・退職はしないつもり
- ・皆でまとまってすることがボランティアなのです
- ・体力的
- ・したくないから
- ・ちょっとゆっくりしたい
- ・生活の余裕がない
- ・自分自身が病院にかよっているので
- ・仕事で手一杯
- ・休養をしっかりとりたい
- ・仕事をしている
- ・老親の介助、介護に手を取られる
- ・自分から進んではじめたいことではない
- ・他にやりたいものがある
- ・楽しくない
- ・時間的余裕がない
- ・再就職する
- ・余裕が無い
- ・介護者がいるので時間がない
- ・やる事が多すぎて
- ・健康状態が良くない
- ・働ける限り働いていきたいので
- ・健康体でない
- ・退職は無いから
- ・時間がない
- ・現在、健康を損なっている
- ・自分自身も障害があり、家族を頼って生活している状態なので…
- ・趣味を生かす
- ・今まで自分の出来なかった事をやりたい
- ・人間関係が苦手
- ・体力がない
- ・忙しい
- ・体がきかない
- ・人と対話する事が苦手
- ・高齢の母がいるから
- ・自宅を長い時間留守にできない
- ・腰痛あり
- ・何となく億劫である
- ・家庭の事情
- ・体力がない
- ・自分の生活に余裕がない
- ・身体の調子が悪い
- ・興味が無い
- ・重度の身体障害の為
- ・現在健康を害しているから
- ・夫の世話でいっぱいだから
- ・自分の健康に不安があるから
- ・自分が介護される立場にいるから
- ・忙しい
- ・健康面
- ・時間がない
- ・自分の家族の世話で精一杯
- ・仕事もできないのに
- ・好みに合わない
- ・自分の生活に余裕なくさきがない
- ・今のところ何も考えていません
- ・自分の趣味が忙しい
- ・趣味
- ・他にすることがある
- ・体調がよくない
- ・時間がない
- ・自由業なので退職後はない
- ・病気の為
- ・体が弱い
- ・仕事と家族の介護で時間がない
- ・することが山積み状態である
- ・時間的な問題
- ・金銭的な問題
- ・経済的理由
- ・ゆとりが無い
- ・ボランティアは嫌い
- ・活動に脅迫観念を抱きそう
- ・自営業・年中無休で働いているから
- ・忙しい
- ・身体的に無理
- ・経済的にゆとりがない
- ・定年は関係なく働き続けなければならないため
- ・仕事で忙しいので
- ・障害者のため
- ・他にやり

たいことがあるから ・興味が無い ・するかもしれないけれども今は進んで ・仕事だけでせいっぱい ・体力 ・経済力 ・家で出来るものが少ない ・なし ・時間が取れない ・私自身車椅子使用者です ・車は運転できるのでコレを利用出来れば ・考えたくない ・仕事 ・病弱なので ・活動グループがわからない ・他にすることがある ・体調を考慮（昨年入院手術した為） ・家事や仕事に忙しい ・経済的 ・体力的 ・現在勤めている会社が定年が無いので ・いそがしい ・面倒 ・興味がない ・退職しないから ・時間が取れないから ・同居の親の面倒を見なくてはならないから ・先が見えてこないから ・自身の生活だけで精一杯 ・ひまがない ・ゆとりが無い ・親の介護（要介護5）で時間が取れない ・時間的理由 ・やりたくない ・体力的に ・できる理由がない ・面倒 ・体力的に無理 ・孫の子守 ・理由はない ・親の面倒を見るから ・興味がない ・めんどろ ・親の介護があるため ・家族介護があるため ・介護をしてるので時間がとれない ・体力面が不安です ・体力的に無理 ・自分のことで精一杯 ・体調が悪いため ・しんどい ・体力に自信が無い ・めんどろ ・時間がない ・仕事が忙しいため ・体が丈夫でないため ・仕事や体力的な事情で金品でのボランティア活動です ・自分の健康に自身がない ・理由はない ・介護 ・時間がない ・自分自身体調がわるいから ・子供の面倒 ・人付き合いが苦手 ・他にやる事あり ・自分も障害あるので体力の衰え

Q14 ボランティア活動をしたくない理由

- ・もう今までに十分やってきた、自分だけのための時間を持ちたい ・知らない人とは接触したくない ・興味がない ・経済的困窮 ・興味が無い ・興味が無い ・他にしたいことがある ・理由なし ・介護で時間がない ・現在の活動で充分 ・気が無い ・体力的にも、時間もないのでボランティアどころではない ・時間が無い ・自分の余生をゆったり楽しみたいから ・自分の事で精一杯 ・一線を引いたと思われるようなことはしない ・気持ちは行きたいと思えます ・ボランティアは他人からどうこう言われてやるものではなし ・興味が無い ・国、政府、県がすべき ・精神的なものの ・小さい子ども、介護の必要な老人がいるためそれどころではない ・一人で参加するのは心細い ・活動に興味がない ・人間関係が悪くなる ・理由ない ・人との関わりが面倒 ・どこかで自分が偽善者みたいなの・・・ ・こちらの都合に合わせられない ・体力がない ・人間関係がうまくいか心配 ・面倒くさい ・仕事を辞めたらやりたいことがある ・偽善が多い ・市や町がやるものだから ・今はその気がない ・無理にやる必要は無い ・状況次第ではやるかも ・ボランティア活動はしたくない ・なんとなく ・やる時は一人で静かにやる ・身体の具合がよくないから ・興味がない ・人間関係がわずらわしい ・いやだから ・時間の無駄 ・体力的に無理 ・他にやりたいことがあるので ・煩わしい ・自分を見つめなおしたい ・人間関係の難しさ ・介護で疲れて他人の事までは考える余裕がない ・時間が割けない ・時間がない ・団体の中ではやりたくない ・むなしい感じを受ける ・他にやりたいことがある ・関心がない ・めんどろだから ・意見が異なる事が多い ・必ずしも必要とされない活動が多い ・余裕がない ・面倒だから ・わずらわしい ・人間関係が嫌になった ・自分が食べるのでせいっぱい ・収入につながらない活動はしたくありません ・自分の生活の方が大事だから ・仕事現役 ・社会に積極的に働きかけられない性格 ・興味が無い ・魅力を感じない ・やりたいものが無い ・趣味に生きたい ・人間関係 ・したくないのではなく介護を受ける側 ・人間関係が鬱陶しい ・自分の身体をいたわりたい ・自分の時間が欲しい ・人間関係が嫌 ・時間的に拘束されるから ・体力が続かない ・興味なし ・自分に会ってない ・体力的 ・それどころではない ・他人より親、伴侶、子、孫に時間を使いたいから ・面倒に感じる ・疲れやすい ・気を使いたくない ・あまり興味ない ・人にかまっていられない ・1年母親の介護をしてきた。こ

れからは自分のために時間を使いたい ・したくないわけではない ・自分の時間を大事にしたい ・人間関係をうまくできないから ・楽しくない ・わずらわしい ・時間がない ・人間関係が不満 ・時間が惜しいので ・健康に自信がない ・ボランティアが気に入らない ・体が許さない ・時間がない ・人付き合いが面倒 ・片手間でしたくないから ・ボランティアは大嫌い ・一度はした ・興味がない ・人間関係が苦手 ・ボランティアという言葉はきらいです ・お互い楽しめればそれがいい ・疲れる ・忙しい ・時間的な余裕が無いから ・興味がないので ・人間関係が煩わしい ・以前にやって不愉快のことが多かったから ・時間に束縛される ・まずは家庭を大切にしたい ・煩わしい ・興味がない ・趣味など、他にやりたい事が沢山有るので ・時間に拘束されるのがいや ・事故が怖い ・魅力を感じない ・興味が無い ・自分の時間がなくなる ・好きではない ・時間がない ・時間 ・腰痛等 ・自己中心 ・人間関係が面倒 ・自己満足になりそうだから ・偽善的になりそう ・経済的 ・自由業なので退職後はない ・病気の為 ・考えていない ・雇用機会を奪う要因になる ・行政の責任回避になる ・自分の事で精一杯 ・ボランティアは嫌い ・年中無休で働いているため、体も時間も余裕がない ・めんどろ・特にないが、頭の中にない ・時間がない ・障害者 ・気に入ったボランティアがあればやってもよい ・興味ない ・興味が無い ・偽善にみえるものがある ・分からない ・元気が無い ・仕事でつかれている ・配偶者がする ・病弱なので ・収入がある仕事をしたい ・面倒 ・時間的な余裕なし ・退職後は体力的に無理なので ・面倒くさいから ・時間的に拘束されるから ・興味がない ・疲れるから ・自分のしなくてはならないことがあるから ・他所様のお世話が出来るほどのゆとりが無いから ・めんどろ ・興味がない ・自分の事で精一杯 ・やりたくない ・変な目で見られる ・したい理由がない ・やる気なし ・体がしんどいので ・その気がない ・わずらわしい ・ほかにすることがある ・めんどろ ・人間関係 ・親の介護があるため ・今でも時間に追われてるので、体がもたないので ・やはり面倒なので ・時間に余裕がない ・しんどい ・めんどろ ・めんどろくさい ・責任を取らされる ・人間関係が心配 ・面倒だから ・興味関心がない ・理由はない ・自分のしたいものがないから ・周りの人に干渉したくないから ・わずらわしいから ・人付き合いが苦手 ・身体的理由 ・手助けしたいけど衰え ・興味がない

Q15 あなたは、「ボランティア活動」に取り組む際に、NPOやNGOへの参加の意向についてどのようにお考えですか。

	1. 現在、NPOやNGOに会員として加わり、活動している	2. 現在、NPOやNGOに役員として参画し、活動している	3. 今後、NPOやNGOに会員として加わり、活動したい	4. 今後、NPOやNGOを新たに組織し、活動したい
合計				
全体	1,745	5.9%	28.4%	12.0%
昭和22年度_勤労者	432	6.5%	33.3%	13.7%
昭和23年度_勤労者	417	6.2%	33.3%	13.2%
昭和24年度_勤労者	428	4.4%	26.9%	13.3%
昭和22年度_家事専業者・無職	165	4.8%	17.0%	6.1%
昭和23年度_家事専業者・無職	150	6.7%	17.3%	9.3%
昭和24年度_家事専業者・無職	153	7.8%	28.1%	9.8%

Q16 あなたが、子どもの学校生活を支援するボランティア活動について、行ってみたいと思う分野について

	1. 教科指導・道徳や総合的な学習の時間における指導など	2. 運動会や学芸会・文化祭などの学行事	3. クラブ活動や部活動	4. 校舎等の補修、清掃、校庭の美化など	5. と書の整理、教材の作成、校内のパソコン整備など	6. 社会体験活動の受け入れなど	7. 登下校時の安全確保、校外生活の引率支援など	8. 上記以外のボランティア活動
合計								
全体	2,080	20.5%	22.3%	21.8%	22.4%	22.5%	30.5%	14.4%
昭和22年度_勤労者	500	23.4%	25.0%	23.0%	24.2%	26.4%	35.0%	16.6%
昭和23年度_勤労者	500	25.0%	23.4%	24.0%	22.6%	26.8%	29.2%	14.6%
昭和24年度_勤労者	500	21.4%	22.6%	23.6%	23.8%	24.8%	29.6%	14.4%
昭和22年度_家事専業者・無職	195	13.3%	16.9%	14.4%	22.1%	13.3%	29.7%	9.7%
昭和23年度_家事専業者・無職	185	13.0%	18.4%	23.2%	16.8%	13.0%	27.6%	11.9%
昭和24年度_家事専業者・無職	200	13.5%	20.5%	14.5%	19.0%	13.5%	28.5%	15.0%

Q17 上記以外の学校支援ボランティア活動

・交通安全指導 ・スポーツの指導 ・子どもの相談員 ・パソコン教室 ・障害者のことを知って貰う ・小、中学生を対象とした科学教室を主催 ・老人の話し相手です ・交通誘導等 ・遠足・修学旅行・クラブ活動の県外移動などの引率の手伝い ・学童保育の補助 ・自分の経験を生かした講演会 ・子供にボランティア活動に参加する意識をつたえたい ・依頼があれば出来る範囲内での協力はするつもり ・校区内におけるスポーツ活動に対する手伝い ・昔の遊び ・子どもの集団遊びや自然体験活動 ・遊びの指導 ・放課後の居場所を提供する場合のおてつだい ・学童保育所への参加 ・小学生以下の登下校の見守り ・スポーツや野外活動 ・コミュニケーションのとり方や自分の感情の表現の仕方。感情の表現の仕方ですら相手に対して、感じる感情に違いが出ることを体験して精神的に大人になれるような活動 ・学校保険にかかわる無料相談 ・学校の花壇に子供たちと一緒に花の苗を植えて育てている ・思い浮かばない ・送迎 ・夜の巡回など ・勤務先の事務所と営業車を「こども110番」に登録した ・遊び相手 ・パソコンの、使用方法の教授や困りごとへの相談対応等 ・生徒へのカウンセリング ・子供の扱いに慣れていないので、それ以外 ・スポーツ21（〇〇県）の活動のお手伝い ・自然の再生 ・自分に出来る事があれば行きたいです ・出来るものには積極的に参加したい ・おちこぼれの子供を対象に勉強をみてあげたい ・趣味の（つりなど）クラブをつくって、活動する ・PCに関する事 ・パソコンに関する事なら自信もあるので機会があればやってみたい ・子供の情操教育活動 ・交通安全など ・地域としてこどもにかかわって行きたい ・子供達の抱えている悩みを聞いてあげたい ・地球温暖化防止に関連した教育関係、河川の生物調査、等 ・具体的には分かりませんが自分に出来ることであれば ・先生方の情操教育 ・スポーツの指導 ・町で見かけたなら、安全性を遠くから見守る ・校外学習 ・授業に遅れている子の勉強を見てあげる ・登校、下校の見守り ・教師たち、父兄たちと手をつなぎ、子供たちの心身ともに健全としあわせを願っての、行政への要請行動などに参加している ・こどもの遊び指導 ・ものづくりと働くおもしろさをわかちあいたい ・交通安全 ・送迎 ・放課後活動での少年野球の審判 ・この地域では、自転車で買い物などをする大人が、周りに気をつけながら、パトロール中と車体を書いて市内を走っている ・放課後の見守り ・学校周辺の草木の手入れなど ・生活指導 ・できる事を手伝う ・具体てきなものはありませんが、自分にできるものがあればやってみたい ・まちの文化、歴史などを子どもに紹介する活動 ・福岡県が主催してきたアンビシャス広場づくりでは、居場所を立ち上げ、今でも活動しています。地域の皆さんがもって子供との接点、地域での受け入れをすすめていきたいと思っています。こどもたちを、3本柱で見守っていくべきですから。（学校、家庭、地域） ・学童保育のようなボランティア活動があればやってみたい ・力になれば ・登校下校時の監視など ・パソコンスキルアップ ・野外活動 ・乗馬療法 ・映像教育など、自分の職業知識を活用できる活動 ・登下校時の子供が家の前を通る時見守りたい ・本の読み聞かせや、清掃、学童保育の受け入れなど ・子育ての支援を何らかの形で手伝いたい ・色々な下準備 ・地域の伝統行事の伝承 ・学習の遅れている子供さんに対する指導 ・放課後の活動や児童館みたいな所での活動など ・通学路のトイレ貸し ・相談相手（不登校児や何らかのショックを受けて心身に傷害をを持った児童など） ・国連支援 ・踊りを通して課外授業継続している ・つう学路の整理 ・水泳指導 ・社会常識 ・学校で必要とされること ・街頭紙芝居 ・個人参加のサッカーや野球などのつきそい ・両親が仕事をもっている家 塾にいけない子の放課後の時間 ・登下校の見守り ・「いのち」の学習教育として、「みどりのNPO」活動を ・特にないがパソコン利用におけるソフトの操作説明、活動の指導ができる ・学校周辺の清掃 ・登下校の監視ばかりでなく、時間外に自宅でわたしの趣味を教え、見せる ・子供の交通安全 ・通学の安全 ・スポーツの振興 ・発展途上国の子供のための活動 ・一緒に遊ぶ ・自分の体験を伝える ・学校行事のお手伝い ・自宅での子どもの預かり ・勉強を見てあ

げる ・植物を育てて町中に設置する ・環境保全教育 ・環境学習のボランティア
 ・物作り ・こどものスポーツ活動 ・昔の遊びの伝承 ・情緒を深めるような
 物があれば遣りたい ・命の尊さを教えたい ・子供の「駆け込み寺」のような一時的な
 施設 ・障害を持つ児童への支援 ・工作等を通じて行うもの ・私の持つ技能を子供
 に伝えたり、昔の事を子供に話すなどのボランティア ・スポーツに関わっているコーチな
 どへの配慮 ・子供の下校時に見守りをしたい ・面白い児童書の朗読。子供向けお笑い
 (落語・漫才・手品など)の招致 ・帰宅時間の遅い両親のための、学童保育 ・放課後、
 学習 ・子供の道徳教育支援。いじめ問題への対処 ・保護者の役割(特に男性)、教育委
 員会の役割、学校の役割、地域の役割についての経験談を語る ・カウンセリング ・環
 境学習の手伝い ・子供の通園通学等又遊びの時などの安全面で野サポート ・問題行動
 のある子供たちへのカウンセリングや行動療法による支援 ・できるだけ子供に声を掛けて
 いる ・演劇や音楽活動など子ども達と一緒に楽しめたらいいと思います ・野外学習の
 指導・安全確保・教材製作 ・心のケア ・子供の精神生活をフォローするための母親の
 育成 ・料理 ・職業体験 ・パソコンの指導等 ・いじめを無くす活動 ・学校
 周辺の環境整備活動 ・きれいな水を飲むことができない発展途上国の人たちの状況やそれ
 に対する支援等の紹介 ・いじめをなくしたい ・地域の歴史を教えること ・子ども
 たちと一緒に遊び、学ぶような中で、いじめやマナーについて教えたい ・社会における子
 どもの立場の教育。自然環境にふれる、そして安全と危険を体感させる ・いじめの防
 止 ・車椅子での通学などに便利なような環境づくり ・スクールカウンセリング、相談
 室をやりたい ・子供の登下校の安全、見まわり ・読み聞かせ、ブックトーク、演劇指
 導など ・登下校の安全指導 ・仕事経験を生かした、技術や経験の伝達 ・こども110
 番の家(緊急時のかけこみ所)の継続 ・手話講習 ・地域の子供たちと顔見知りになっ
 て不審者が近づかないよう見守る ・スポーツクラブのお手伝い ・公民館活動を通した
 昔遊び ・特別支援教育の補助 ・自分のこれまで生きてきた経験、知識が活用が出来た
 ら ・英会話など国際人としての教育 ・子供が好きだから ・自分の職業で得た知識
 の講義 ・日本の伝統芸能、文化の体験学習指導 ・学童保育の補佐 ・学生とのミー
 ティング ・音楽、絵画、英語 ・図書関係 ・学童保育の手伝い ・福祉に関する
 知識を話す場など ・児童の通学路の安全に協力したいとおもいます ・具体的にはかけ
 ないが、自分が役立つチャンスがある時参画したい ・学校生活に関する経済的な支
 援 ・理科教室、工作教室 ・野外活動 ・不登校児への精神ケア ・ベルマークの
 収集、命の大切さ、思いやりの気持ちを育てる本の朗読等 ・ボーイスカウト ・親が仕
 事などで家にいない間、下校から親が家に帰るまで子供とつきあうボランティア ・伝統芸
 能 ・公園など、公の場所でたむろっている子供たちへの注意など ・子供たちが話した
 い環境づくり ・帰宅時の居場所作りなど ・悩み相談 ・クリエイティブな遊び

Q18 学校支援ボランティア活動の協力ができない理由

- ・健康面で不安があるため責任があるものには参加ができない
- ・興味がない
- ・収入を得るのに時間があるので、そういった活動をする時間が無い
- ・仕事が忙しい
- ・子供がいない
- ・時間がない
- ・きっかけがない
- ・時間がない
- ・自分に合わない
- ・病弱
- ・子供より親の再教育が先
- ・子供がいない
- ・気が無い
- ・時間が無い
- ・仕事や看護で時間的余裕がない
- ・すでに子供は嫁いでいる
- ・家族の介護の為
- ・時間的に合わない
- ・自分の自由な時間を大切にしたい
- ・何となく
- ・近所に該当する子供たちがいない
- ・現在は町内会に活動が限られている
- ・子供がいないのでわからない
- ・生活に余裕がない
- ・規則的な時間が取れない
- ・現在、教員
- ・生活にゆとりが無い
- ・子供がいない
- ・学校自体ですべき
- ・活動の場がない
- ・対象となる子供もいない
- ・時間がない
- ・私自身が障害者で活動が制約される
- ・病人がいるから
- ・活動に興味が無い
- ・時間的に無理
- ・学校の時間帯に合わない
- ・時間がない
- ・したくない
- ・時間
- ・どこかで自分が偽善者みたいな・・・
- ・余暇は別の

ことをしたい ・子供が嫌い ・自分の生活に余裕がない ・子供がいない ・生涯働きづめ ・年金では生活できない ・時間が無い ・自分のことで精一杯 ・したいと思わないから ・わからないから ・忙しいから ・対人関係 ・子育ても終わり、自信がない ・忙しい ・やる意志が無い ・子供がいないので実感が無い ・時間が無い ・時間と金の余裕がない ・出来るボランティア活動がない ・年代の差 ・子供がいない ・時間が無い ・該当する子供がいない ・自分自身 ゆとりがない ・学校外の活動に専念したい ・自分自身が高齢化 ・なんとなく ・子供がいない ・まだ先の事なので ・身体の具合がよくないから ・時間が無い ・小さな子供が身近にいない ・病気のため ・求められていない ・病気がちである ・できるものがないと思う ・子どもがいない ・子供はいない ・自信が無い ・時間的余裕がない ・身体的理由 ・子供がいない ・年寄りが口を出す必要はない ・自分の研究をやりたい ・仕事が忙しいから ・時間が無い ・仕事がある ・体調が悪い ・自分にそれだけの能力も時間もない ・なんとなく ・時間が無い ・時間が無い ・保護者がするべき ・病人を抱え時間が取れない ・時間が無い ・女性で6才が近いから ・子供のことは学校なり、生徒自身でやるべきである ・自分の趣味がたくさんある ・自分のできる範囲のことをしたい ・忙しくて時間が無い ・自分のやりたいことが多い ・健康上 ・気持ちが無い ・介護の為 ・仕事で時間が合わない ・体調不良 ・時間なし ・興味がない ・学校との接点がないので ・現在のボランティア活動で手一杯 ・自分の趣味で忙しい ・時間が無い ・時間が無い ・余裕がない ・時間的に余裕がない ・時間が無い ・子供がいない ・時間が無い ・会社の仕事で時間がとられて参加できない ・家族の介護で時間が無い ・勤務の関係で時間が取れない ・疾病の為、通院が必要 ・時間がとれない ・あまり気が向きません ・子供に何かあった時がいやだから ・時間が無い ・自分が食べるのでせいっぱい ・学校に行っている子供がいないので ・現状としてゆとりが無い ・元来、自分自身が強く生きるのが本来だと思うから ・子供の扱いに慣れていない ・自分の生活時間の自由が無くなるから ・対象年齢の自分の子供がいない ・気力が現在はない ・子供が学校に行っていないから ・時間的に無理 ・まだ働いているので先まではわからない ・時間が無い ・子供が嫌い ・どのように関わったらいいかわからない ・子どもがいないので実感がわからない ・自分自身が病気だから ・自信がない ・もっと他の方面で ・時間が無い 為 ・時間 ・身障者である ・体調不良 ・時間が無い ・老親の介護のため ・仕事がいそがしい ・子供について行けない ・体力がない ・体調が不安 ・日曜祭日とかにボランティア活動をされているようですが、参加できません ・子供がいないので ・自信が無いから ・仕事が忙しい ・もう子供は大人になったから ・勤めているので時間がとれない ・親の介護があるので ・体力的 ・したいと思ったときには協力するが、いまは思っていない ・体力的に無理 ・自分の家族に手がかかる ・能力的に無理だと思う ・知識がない ・子供の扱いができない ・親の介護があり余裕が無い ・時間が無い ・子供が大きくてどのようなことに協力していいかわからない ・子供は嫌い ・体が丈夫でない ・自分の子供が障害児でその世話で手一杯 ・子供がいないのでわからない ・学生の子供がいない ・小中学生がいない ・協力の仕方を知らない ・興味ない ・持病があるから ・出来そうな事柄がない ・老親の介助、介護に手を取られる ・時間が無い ・時間が無い ・億劫である ・体が弱い ・情報が無いのでわからない ・自分が病気だから無理ができない ・特別な理由はないが責任が重いと思う ・楽しくない ・仕事が忙しい ・頼まれればする ・再就職のため ・余裕が無い ・子供に関するボランティア活動より今後増加する高齢者を支援したい ・会社勤めで時間が無い ・機会ない ・能力がない ・介護者がいるので ・時間が無いから ・健康状態が悪い ・時間的に余裕がないと思う ・自分には子供はいない。親と学校がしっかりとすればいいだけのこと ・興

味がない ・子供がいないから ・子供がいないから ・健康でない ・子供についていけるだけの体力がない ・仕事があるから ・考えるゆとりがまだ無い ・時間がない ・時間がとれない ・時間的に余裕が無い ・自身が障害者であり、また、子育て経験も無い為、子どもとの“かかわる事”は苦手 ・忙しい ・子供が苦手 ・時間がない ・他のものに時間がかかるから ・忙しい ・自営業のため 自宅で出来ること以外でないつもり ・年とともに忘れっぽくなっている ・親の介護をしているので、外出できない ・子供が成人のため、機会がありません ・体調不十分 ・多忙 ・時間的に制約が出来そうだから ・時間がない ・子供がいないのでよくわからない ・高齢の母をおいて長く留守はできない ・介護に忙しいので ・腰痛あり ・教えるようなものを持っていない ・現状で手一杯 ・自分のやりたいことがたくさんあるので時間が無い ・子供がいない ・該当する子供が居ない ・時間がない ・身体の調子が悪い ・資格に自信が無い ・子供がいない ・重度の身体障害者 ・時間が無い ・遠くに住む親の介護に時間がとられるから ・夫の世話でいっぱいだから ・他のボランティアをしているから ・時間に余裕が無い ・子供い成人なので ・現実的に時間が取れない ・子育てから時間が過ぎていすぎて自信が無い ・子供がいない ・仕事が忙しい ・今の子供は、家庭での躾が出来ていない ・体力に自身が無い ・仕事と自治会の役の仕事があるので ・体力と時間の余裕がないので ・現状の活動で一杯である ・自分の責任の範囲が曖昧なような気がする ・こどもの命を預かることになるから ・子供がいない ・学校に興味は無い ・友人関係へのボランティアをしたい ・健康面 ・今は考えていない ・体力がない ・決まった時間が取れない ・子供がいない ・他にやりたいことがいっぱいあるので ・学校に関することは専門の人をお願いしたい ・子供のことはもう卒業しました ・他人の子供に関わることの不安がある ・時間がない ・なんとなく ・時間がない ・自分の病気もなおせないのに ・親の介護のため ・やりたくない ・子供が大人になった ・子供がいないものがするわけがない ・時間が無い ・悪い事をした子供に注意すると親が怒って来るような状況の中で、ボランティアができるわけが無い ・忙しい ・趣味 ・仕事が忙しいから ・要素がない ・1人身で、自分の生活と、体力もなくまだ、助けがいるかもしれない身で、そういう活動はできない ・体調がよくない ・時間に余裕がない ・無給はいやだから ・親の介護などで時間がとれない ・グループがわからん ・いそがしい ・子ども達の親がやるべき ・該当する子供がいない ・病気の為 ・他に大切にしたい時間があるから ・持病があり体力に自信がない ・経済的に余裕がない ・人付き合いが苦手 ・ボランティアを必要とする立場 ・子どもなし ・時間の都合がつかない ・責任が重過ぎる ・興味がない ・経済的理由 ・自分の子がもう大人である ・子供の相手をする体力がない ・ゆとりが無い ・金にならないことはしない ・時間がない ・時間がない ・仕事を続けて時間がないから ・経済的にいっぱいなので時間がない ・子供の扱いに苦慮しそう ・思うように動けなくなってきたから ・自営業・年中無休で働いているため ・体が自由にならない ・忙しい ・時間がない ・身体的に無理 ・時間的に余裕がない ・子供が苦手 ・子どもは苦手 ・体力的に無理 ・子供がいないので、子供の世界とは遠いから ・体力に自信が無い ・子どもの学校生活を支援は難しいと思う ・余裕が無い ・障害者のため ・活動範囲に制約あり ・自身、身体障害者である ・単にやりたくないだけ ・子供のけがなどの責任が持てない ・体力がない ・昼の時間はしごとをしている ・仕事がある ・知識（能力）不足 ・自分自身の体調が今一だから ・子どもの時間帯に合わせるができないから ・近所に学校は無い ・頼まれればするとは思いますが ・子供がいない ・時間が取れない ・仕事だけで時間がない ・興味がない ・体力に自信がない ・関心がない ・家で出来るものが少ない ・学校とは連絡がない ・年齢的にもう少し若い人をお願いしたい ・忙しい ・身体が不自由 ・子供が苦手 ・どこからきっかけをつかんでよい

かわからない ・時間の余裕が無い ・体力 ・病弱なので ・無子供 ・日常の生活以外に余裕が無い ・仕事が忙しい ・ボランティアに興味が無い ・地域の学校で就学児童のいない家庭には、ボランティア活動をつのっていません ・他にすることがある ・体調を考慮(昨年入院手術した為) ・他のボランティア活動の為 ・家事仕事に忙しい ・特に知識なし ・体力に自信なし ・時間がない ・時間が無い ・生活に追われている ・子供がいない ・興味がない ・その時間が取れない ・状況が許さない ・知識がないから ・他の仕事があるから ・時間的余裕 ・自身の生活で精一杯 ・ひまがない ・ゆとりが無い ・頼まれていない ・親の介護で時間がとれない ・時間的な余裕がない ・見返りが無い ・なれていない ・自信がない ・何かあったとき対応できない ・ほかの事を考えているから ・体力が無い ・やりたくない ・協力しなければならない理由が見つからない ・時間ない ・体力的に無理 ・学校との接点がない ・子供はとっくに学校を卒業している ・機会が無い ・仕事が忙しい ・多趣味で時間が取れない ・こどもがいない ・時間がない ・時間がとれない ・親の面倒を見るから ・わずらわしい ・転勤組なので地域に馴染みがない ・自分の活動に時間がかかり、時間的に ・余裕がない ・いやだから ・親を介護中で外出できない ・教育関連ボランティアは現教育現場では難しいと感じるから ・学校関係は閉鎖的だと思うから ・仕事をしているので時間がない ・時間が出来ない ・責任がもてない ・親の介護があるため ・体力的に難しい ・家族の介護があるため ・子供相手はしたくない ・なにをしたら良いかわからない ・介護をしてるので ・時間がない ・現在自分が障害者になっているため ・めんどくさい ・余裕がない ・体力面が不安なので ・体力的に無理 ・つてがない ・体調が悪いため ・時間てきに無理 ・しんどい ・小さい子供がいない ・自分のことで精一杯 ・時間が無い ・時間がない ・子供を持ったことが無いので接し方が判らない ・高齢の母を抱えていて出かけられない ・体調不良のため ・子供に対する理解が出来ない ・学校が近くにない。子供の親の参加が望ましいと考えている ・退職予定がないので仕事が忙しくボランティアの時間が取れない ・自分の健康に自身がない ・子どもがいないので学校とのかかわりが無い ・体力的に子供を相手にするのはきつい ・今は時間が無い ・体が不十分 ・気分的に余裕がない ・体が不自由 ・体力的に無理 ・仕事で時間がない ・時間が無い ・趣味が忙しい ・介護 ・自分の健康保持 ・人間関係 ・特技何も無し ・内向的な性格だから ・身体的 ・未婚 ・体に障害があり無理

Q18 学校支援ボランティア活動の協力をしたくない理由

- ・もう十分にボランティア活動をしてきた、対人関係でしんどい思いをしたくない ・協力はしたいが健康面で不安があるから ・興味がない ・学校関係よりも高齢者の手助けをしたいので ・興味がない ・興味が無い ・他にしたいことがある ・自信がない ・親がやればよい、人を頼るな ・子供がいない ・子供より親の再教育が先 ・子供が好きではないので ・子供がいない ・気が無い ・子供はいないので学校のボランティアになじみが無い ・時間的に ・子供が好きではない ・何となく ・学校から自宅が遠い ・子育てがもう終わった ・体力面 ・引っ込み思案だから ・自身の自由時間が欲しい ・ボランティアそのものと同じ ・事故などにおいて責任が発生する ・時間がない ・活動に興味がない ・自分の事がしたい ・時間 ・どこかで自分が偽善者みたいな・・・ ・子供が嫌い ・他の父兄との交わりが不安 ・マイペースで出来ない ・ボランティアに興味がない ・したいと思わないから ・人間関係が心配 ・時間の余裕がない ・他のボランティアを行いたい ・子供が苦手 ・子供が好きじゃない ・弱い動物達のボランティア優先に考えたい ・人間関係がわずらわしい ・ほかにやりたいことがある ・今風のやり方が分からない ・学校がやるものだから ・体力的に問題がある ・やりたくないただそれだけ ・なんと

なく ・本当に勉強したい子供だけ学校にいけばよい ・インドを見習うべし ・身体
の具合がよくないから ・子供は苦手 ・病気のため ・税金をたくさん取られている
ので ・子供はいない ・時間の余裕が無い ・子供がわからない ・人間関係がわ
ずらわしい ・子供が嫌い ・子供がいなくて、関心がない ・自分達でやらせるべ
きだと思う項目がある ・子供が好きでないから ・子供の扱い方がへた ・子供がい
ない ・子供対象の活動は好きではない ・体力的に無理 ・他にやりたいことがある
ので ・健康面で自身がないから ・人間関係の難しさ ・自分の子供のときに十分や
ったから ・多忙 ・教師がもっと積極的に参加すべき ・むなしい ・他にやりた
いことがある ・関心がない ・学校との接点がない ・子供を育てた経験がないので、
役に立てないと思う ・時間が束縛される ・事故の心配があるから ・子供が好きで
ない ・余裕がない ・子供たちの親の考え方に違和感を持っている ・子供が大き
なってるし、人の子供の面倒までみたくない ・持病が有り、病気に感染しやすい体
質 ・わずらわしい ・あまり気が向きません ・人間関係でもめるのが嫌になるか
ら ・自分が食べるのでせいっぱい ・子育てを終わって自分の趣味が忙しいの
で ・父兄がわがまま ・昔学校にはずいぶん協力したから、子どもの手が離れたいま
はかかわりたくない ・該当する子供がいなくて、子供に安易にかかわる自信がな
い ・興味が無いから ・魅力を感じない ・子供が嫌い ・責任がとれないか
ら ・協力はしたいが体力がない ・プライベートの時間が無いので一日でもOFFがあつた
ら家の用事をしたい ・子供がいなくて、自分の時間が欲しい ・いそがし
い ・自分の身体を労わりたい ・今の子供は恐ろしい ・時間的に拘束されるか
ら ・体力がない ・協力したくないとは思いません ・子供がいなくて、リー
ダーの質の問題 ・体力的 ・いまわ思っていないから ・生活するのにやっとで余裕
がない ・面倒 ・他人に時間をさくゆとりが無い ・興味がわからない ・時間がな
い ・子供は嫌い ・よくわからない ・部外者といわれる ・興味ない ・持病
があるから ・前問に同じ。やりたいことがあるから ・学校に行く子供がいなくて、関
わりを持ちたくない ・子供が嫌い ・健康 ・学校に通う子供がいなくて、子供が
いない ・楽しくない ・時間が無い ・該当する得意分野がない ・活動自体が嫌
い ・時間が無い ・暇がない ・健康に自信がない ・興味がない ・子供がい
ないから ・時間が取れない ・ボランティア活動が気に入らない ・体が許さな
い ・考えるゆとりがまだ無い ・時間が無い ・子育ては親の責任の元に行うのが当
然の事 ・ノウハウがない ・ヤブヘビになったことはあったから ・子供が苦
手 ・主人がやっていて二人時間をとられるとしごとができないから ・以前はやって
いたのですが 地域の対人関係に疲れたので できるなら地域以外のボランティアなら しても
良いと思っている ・特に意識してません ・体調不十分（上記に同じ） ・子育てを
したことが無い ・今の学校教育に納得できない ・親の無責任さが嫌 ・時間的に余
裕が無いから ・体力に自信がないので ・子供が小さい時にはいろいろボランティア活
動はやってきたのもうやりたくない ・子供を育てた経験がないので、どう接してよいか
わかりません ・現状で手一杯 ・面倒くさい ・億劫である ・人間関係が煩わし
い ・学校関係ではないものがしたい ・子供がいなくて、子供が好きではない ・子
供が好きではない ・今の活動でいっぱい ・考え方が違うので ・子供がいなくて、
さほど積極的にならない ・めんどろ ・自分勝手な子供や親が多く、かかわりたくな
い ・もしものことがあると責任が取れない ・学校教育への侵害 ・教育活動に携わ
れるほど立派な人間とは思っていない ・興味が無い ・責任が持てない ・時間がな
い ・なんとなく ・子供は成人していて小さな子供はいない ・現在の学校教育がわ
からないから ・好みに合わない ・病気療養中 ・面倒 ・子供があまり好きでは
ないので ・時間が無い ・時間 ・腰痛 ・他にしなければならぬことがある
 ・生活資金と心に余裕がない ・近所にほとんど子供がいなくて、子供がもう成人
している ・働きたくない ・いそがしい ・子ども達の親がやるべき ・子供の教

育に興味はない ・病気の為 ・経済的に ・責任が重い ・時間が制約される
・まず保護者の家族がすべき ・自分の事で精一杯 ・金にならないことはしない
・時間があればしたい ・年中無休のため、体も時間も余裕がない ・体調の状態を前もって把握できない
・めんどろ ・子育てを終わり、今の子供の考え方がわからない ・特になが頭の中になが
・親がうるさいから ・子供と接触したくない ・子供を育てている両親との考え方が大きく違うと思うから
・子供が好きではないから ・余裕がない ・障害者 ・単に協力したくないだけ ・躰が出来ていない
・地域に知り合いもない ・親権者等と上手くやっけていく自信がない ・興味がない ・一回限りでなく、継続的なものだと思うので
・時間が無い ・子供がいない ・子供相手の活動はしたくない ・興味がない ・責任が重い
・子供がいない ・自分に出来る事があれば協力したいがどのようなものがあるのか分からない
・身近に感じないから ・子供が苦手 ・誘いもない ・病弱なので ・現在学校に縁が無い
・自分に合わせて??簡単に抜けられそうに無いと思う ・子供に対する母親たちの考えがわからないことが多く協力するきになりません
・収入が無い仕事はしたくない ・必要ないと思う ・技術がない ・面倒だから
・時間的に拘束されるから ・子供がいないので接し方がわからない
・子供がいない ・疲れるから ・面倒だから ・他の仕事があるから
・趣味に時間を使いたい ・面倒 ・興味がない ・自分の事で精一杯
・ギブ&テイク ・子供が成人しているので、体にムチを打ってまでボランティア活動をしたとは思わない
・やりたくない ・協力したくなる理由が見つからない ・子供が苦手
・その気がない ・子供がいない ・子供が卒業してしまった ・子供がいない(親の責任)
・学校生活支援への関心が薄い ・したくない ・いやなんです ・若い親が怖い、理解できない
・責任重大 ・不安 ・事故が怖い ・自分の能力ではできないのでは
・する時間がなし ・学校または家庭でやるべき事が殆んどであり、それが出来ない子供をケアすれば良い
・時間がない ・自分に子供がいない
・やはり面倒なので ・ルートがない ・他の分野の方が向いていそうだから
・しんどい ・時間が無い ・めんどくさい ・自分には子供がいないから
・PTAがやるべきだと思います ・PTAのあり方が問われていると思います
・我が子を他人や社会に任せすぎていると思う ・皆の足でまといになるのがいやだから
・人とのコミュニケーションがめんどろ ・色々協力してる物が現在有るから
・学校生活は支援するものと思えない ・難しそう ・子供はあまり好きではない
・したいと思うものがないから ・身勝手 ・偉くなったとはき違いな人が多い
・子供も大きくなったから ・人間関係 ・自分の趣味で忙しい ・内向的な性格だから
・身体的 ・未婚 ・興味がない ・ボランティアにも責任が付きまとう

Q19 もし国や都道府県、市区町村が「あなたが行うボランティア活動を側面から支援してくれる」としたら、どのようなことをして欲しいと思いますか。してくれたいと思うもの3つ以内を選択してください。

	「ボランティア活動」の希望者に対して技術や知識等の研修会を開催する	「ボランティア活動」の相談をしやすいとする	「ボランティア活動」の情報を提供する	ボランティアグループに対する活動資金などの経済的援助をする	「ボランティア活動」をする場所を確保する	「ボランティア活動」中の事故に対する保険を充実させる	ボランティア希望者の登録制度を実施する	「ボランティア活動」のリーダーの育成に対する支援をする	「ボランティア活動」の啓発、意識向上などをキャンペーンする	就業時間の短縮、「ボランティア休暇」などの社会的環境を整備する	その他(具体的にお書きください)	国や都道府県、市区町村は関与しないほうがよい	
合計													
全体	2,080	41.8%	14.2%	44.7%	36.6%	19.4%	30.3%	17.9%	7.0%	11.0%	10.9%	2.2%	9.1%
昭和22年度_勤労者	500	42.8%	12.6%	42.0%	41.0%	21.2%	27.8%	16.6%	8.4%	9.8%	14.4%	2.6%	8.8%
昭和23年度_勤労者	500	41.0%	13.4%	47.4%	33.8%	16.2%	30.4%	19.6%	5.8%	10.6%	11.4%	2.0%	9.8%
昭和24年度_勤労者	500	40.0%	14.8%	42.6%	37.4%	20.0%	28.4%	18.0%	7.0%	12.2%	10.8%	1.4%	9.4%
昭和22年度_家事専業者・無職	195	40.5%	14.9%	49.2%	29.7%	17.9%	30.3%	16.9%	9.2%	15.4%	6.2%	1.0%	8.7%
昭和23年度_家事専業者・無職	185	43.8%	13.0%	40.0%	37.8%	20.0%	38.9%	18.4%	7.6%	8.6%	8.6%	3.2%	9.2%
昭和24年度_家事専業者・無職	200	45.0%	19.5%	49.5%	36.0%	22.0%	33.0%	17.5%	3.5%	10.0%	7.5%	3.5%	8.0%

Q19 行政支援の「その他」の記述

- ・対外的な問題が起ったときの支援
- ・特にして欲しいとは思わない
- ・ボランティアとは無償のこころ
- ・病気の為関われない
- ・受入側に対する啓蒙活動
- ・活動費の援助
- ・ありえないが収入に繋がること
- ・現場の方たちの意見交換の機会を増やす。情報交換
- ・ボランティアの活動内容基準づくり
- ・点字
- ・情報提供、資金援助、場所の提供等以外、活動内容、方法に関して、国や都道府県、市区町村は全く係らない方がよい
- ・そっとして置いて欲しい
- ・広報宣伝活動を支援してほしい

「団塊世代のボランティア活動に対する意識調査票」

平成19年1月

体験活動ボランティア活動の推進に関わる調査研究委員会

委員長 白石克己（佛教大学教授）

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター長

馬場 祐次朗

この調査は、地域において、ボランティア活動の指導者・コーディネーター等として活躍が期待されている団塊の世代を対象に、ボランティア活動に対する意識調査を実施し、今後のボランティア活動推進施策に資することを目的に実施いたします。

Q1 あなたは、現在どのような分野の「ボランティア活動」をしていますか。（それぞれひとつだけ）
〔「ボランティア活動」は、幅広い分野にわたる活動がありますが、本調査では、仕事とは別に「自主的」で「金銭を得ることを目的としない」「公共性のある」活動のこととします。〕

※ 全ての項目で、「1. 現在している」、「2. 現在はしていないが、以前したことがある」、「3. 全くしたことはない」から選択回答する。

- 1 町内会や自治会などの手伝い、まちづくりなどの活動など
- 2 夜間巡視や街頭指導、交通安全教室の指導・手伝い等の活動など
- 3 子どもの居場所づくりの活動、子ども会や育成会の活動、子どもの野外キャンプの指導等の活動など
- 4 学校の教育活動に対する支援、自分の知識や技術を生かし公民館における講座等の講師、博物館等における作品説明など
- 5 地域の伝統芸能・伝統行事、祭り、スポーツやレクリエーションの指導等の活動など
- 6 地域のゴミ拾い等の環境美化、リサイクル活動、野生生物・植物等の保護活動など
- 7 お年寄りや障害のある人に対する介護、難病の克服を支援する活動、手話通訳や点訳・朗読サービス、通院の付き添い等の活動など
- 8 病院や福祉施設での手伝いや話し相手等のボランティアなど
- 9 国内の災害地における救助活動・救援活動など
- 10 通訳、ホームステイ、国外の災害地における救助活動・救援活動など
- 11 街頭募金活動やチャリティバザー等の援助活動など
- 12 上記以外のボランティア活動

Q2 Q1で例示されているボランティア活動以外にしたことがあるボランティア活動がありましたら、具体的にお書きください。

Q3 Q1に挙げた「ボランティア活動」をひとつでも「現在している」、「現在はしていないが、以前したことがある」とお答えの方にお伺いします。

あなたがその「ボランティア活動」をはじめたきっかけはなんですか。該当するものには○、該当しないものには×でお答えください。

- 1 自分の自発的な意思で
- 2 家族や親戚に勧められて
- 3 友人や知人に勧められて
- 4 地域のボランティアに関する研修会、講習会、催しものなどに参加して
- 5 会社の研修でボランティア活動のことを学んで
- 6 会社の地域貢献活動で参加する機会があって
- 7 所属する団体や組織等の活動として
- 8 地域（町内会や自治会等）からの呼びかけなどに応じて
- 9 福祉施設・学校などの呼びかけに応じて
- 10 ポスター、チラシなどを見て
- 11 新聞、テレビなどのマスコミを通じて
- 12 インターネットのホームページなどを通じて

Q4 Q1に挙げた「ボランティア活動」をひとつでも「現在している」、「現在はしていないが、以前したことがある」とお答えの方にお伺いします。

Q3で例示されているきっかけ以外に、ボランティア活動をはじめたきっかけがありましたら具体的にお書きください。

Q5 Q1に挙げた「ボランティア活動」をひとつでも「現在している」、「現在はしていないが、以前したことがある」とお答えの方にお伺いします。

あなたは、自分の行っている「ボランティア活動」に満足していますか。それとも満足していませんか。

- | | | | |
|--------|----------|------------|---------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 満足している | やや満足している | あまり満足していない | 満足していない |

Q6 Q1に挙げた「ボランティア活動」をひとつでも「現在している」、「現在はしていないが、以前したことがある」とお答えの方にお伺いします。

あなたは、自分の行っている「ボランティア活動」についてどのように思いますか。以下の中からお選びください。(それぞれひとつだけ)

※ 全ての項目で、「1. とても思う」、「2. 思う」、「3. あまり思わない」、「4. まったく思わない」から選択回答する。

- 1 地域のために役に立っている
- 2 活動が楽しい
- 3 困っている人のために役に立っている
- 4 相手から感謝されている
- 5 人間性が豊かになっている
- 6 思いやりの心が深まっている
- 7 生活に充実感がある
- 8 友人や知人を得ることができる
- 9 知識や技能が身につく
- 10 ものの見方、考え方が広がる
- 11 会社や職場などで評価されている
- 12 福祉など社会の課題に対する理解が深まっている
- 13 経費（お金）がかかり過ぎる
- 14 活動中の人間関係がうまくいかない
- 15 自分の時間が少なくなる
- 16 責任をとらされる
- 17 自分の思うとおりの活動ができない
- 18 継続的に活動ができない

Q7 Q1に挙げた「ボランティア活動」のうち「現在はしていないが、以前したことがある」「全くしたことはない」とお答えの方にお伺いします。

あなたは「ボランティア活動」をしたいと思っていますか。

1
活動したい

2
活動したくない

Q8 Q7で「活動したい」とお答えの方にお伺いします。

「ボランティア活動」をしたくても、できない・しない理由について、該当するものには○、該当しないものには×でお答えください。

- 1 仕事が忙しいから
- 2 趣味や他にやりたい活動があり時間がないから
- 3 家族の理解が得られないから
- 4 上司の理解が得られないから
- 5 人間関係をうまく作れそうもないから
- 6 情報が不足しているから
- 7 活動に要する技術や知識を持っていないから
- 8 活動経費などの経済的な理由から
- 9 身近に相談できる人やリーダーがいないから
- 10 事故にあうなど安全の問題が心配であるから
- 11 したいと思う活動がないから

Q9 Q7で「活動したい」とお答えの方にお伺いします。

Q8で例示されている理由以外に、ボランティア活動をしたくても、できない・しない理由がありましたら具体的にお書きください。

Q10 Q7で「活動したくない」とお答えの方にお伺いします。

「ボランティア活動」をしたくない理由について、該当するものには○、該当しないものには×でお答えください。

- 1 仕事が忙しいから
- 2 趣味や他にやりたい活動があり時間がないから
- 3 家族の理解が得られないから
- 4 上司の理解が得られないから
- 5 人間関係をうまく作れそうもないから
- 6 情報が不足しているから
- 7 活動に要する技術や知識を持っていないから
- 8 活動経費などの経済的な理由から
- 9 身近に相談できる人やリーダーがいないから
- 10 事故にあうなど安全の問題が心配であるから
- 11 したいと思う活動がないから

Q11 Q7で「活動したくない」とお答えの方にお伺いします。

Q10で例示されている理由以外に、ボランティア活動をしたくない理由がありましたら具体的にお書きください。

Q12 あなたは、今後（退職後）に、どのような「ボランティア活動」に取り組んでいきたいと考えますか。該当するものには○、該当しないものには×でお答えください。

- 1 町内会や自治会などの手伝い、まちづくりなどの活動など
- 2 夜間巡視や街頭指導、交通安全教室の指導・手伝い等の活動など
- 3 子どもの居場所づくりの活動、子ども会や育成会の活動、子どもの野外キャンプの指導等の活動など
- 4 学校の教育活動に対する支援、自分の知識や技術を生かし公民館における講座等の講師、博物館等における作品説明など
- 5 地域の伝統芸能・伝統行事、祭り、スポーツやレクリエーションの指導等の活動など
- 6 地域のゴミ拾い等の環境美化、リサイクル活動、野生生物・植物等の保護活動など
- 7 お年寄りや障害のある人に対する介護、難病の克服を支援する活動、手話通訳や点訳・朗読サービス、通院の付き添い等の活動など
- 8 病院や福祉施設での手伝いや話し相手等のボランティアなど
- 9 国内の災害地における救助活動・救援活動など
- 10 通訳、ホームステイ、国外の災害地における救助活動・救援活動など
- 11 街頭募金活動やチャリティバザー等の援助活動など
- 12 上記以外のボランティア活動

Q13 Q12で例示されているボランティア活動以外に、あなたが今後取り組んでいきたいボランティア活動がありましたら具体的にお書きください。

Q14 Q12の今後（退職後）取り組んでいきたいボランティア活動において、全てに該当しない方にお伺いします。

今後（退職後）取り組んでいきたい「ボランティア活動」はできない、もしくはしたくない理由を具体的にお書きください。

Q15 Q12で「今後（退職後）取り組んでいきたいボランティア活動がある」とお答えの方にお伺いします。

あなたは、「ボランティア活動」に取り組む際に、NPO（特定非営利活動法人のほか、ボランティア団体や公益目的のグループ・サークルを含む）やNGO（非政府組織）への参加の意向についてどのようにお考えですか。該当するものには○、該当しないものには×でお答えください。

- 1 現在、NPO や NGO に会員として加わり、活動している。
- 2 現在、NPO や NGO に役員として参画し、活動している。
- 3 今後、NPO や NGO に会員として加わり、活動したい。
- 4 今後、NPO や NGO を新たに組織し、活動したい。

Q16 現在、子どもの学校生活を支援するボランティア活動（学校支援ボランティア等）が、全国的に行われております。

あなたが、子どもの学校生活を支援するボランティア活動について、行ってみたいと思う分野について、該当するものには○、該当しないものには×でお答えください。

- 1 教科指導・道徳や総合的な学習の時間における指導など。
- 2 運動会や学芸会・文化祭などの学校行事。
- 3 クラブ活動や部活動。
- 4 校舎等の補修、清掃、校庭の美化など。
- 5 図書の整理、教材の作成、校内のパソコン整備など。
- 6 社会体験活動の受け入れなど。
- 7 登下校時の安全確保、校外活動の引率支援など。
- 8 上記以外のボランティア活動

Q17 Q16で例示されているボランティア活動以外に、あなたが参加されたい子どもの学校生活を支援するボランティア活動がありましたら具体的に書きください。

Q18 Q16の子どもの学校生活を支援するボランティア活動において、全てに該当しない方にお伺いします。

子どもの学校生活を支援するボランティア活動の協力ができない、もしくはしたくない理由を具体的にお書きください。

Q19 もし国や都道府県、市区町村が「あなたが行うボランティア活動」を側面から支援してくれるとしたら、どのようなことをして欲しいと思いますか。してくれたらよいと思うもの3つ以内を選択してください。

- 1 「ボランティア活動」の希望者に対して技術や知識等の研修会を開催する
- 2 「ボランティア活動」の相談をしやすくする
- 3 「ボランティア活動」の情報を提供する
- 4 ボランティアグループに対する活動資金などの経済的援助をする
- 5 「ボランティア活動」をする場所を確保する
- 6 「ボランティア活動」中の事故に対する保険を充実する
- 7 ボランティア希望者の登録制度を実施する
- 8 「ボランティア活動」のリーダーの育成に対する援助をする
- 9 「ボランティア活動」の啓発、意識向上などをキャンペーンする
- 10 就業時間の短縮、「ボランティア休暇制度」などの社会的環境を整備する
- 11 その他 → （ 具体的にお書きください ）
- 12 国や都道府県、市区町村は関わらないほうがよい

Q20 あなたの職種について以下の中からお選びください。

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1 営業・販売 | 14 自営業 |
| 2 研究・開発・技術者 | 15 パート・アルバイト |
| 3 総務・人事 | 16 契約社員・派遣社員 |
| 4 財務・経理 | 17 主婦 |
| 5 企画・マーケティング | 18 無職 |
| 6 広報・広告・デザイン | 19 小学生 |
| 7 事務職 | 20 中学生 |
| 8 管理職 | 21 高校生 |
| 9 会社経営・役員 | 22 短大・専門学校生 |
| 10 公務員・団体職員 | 23 大学生 |
| 11 教職員 | 24 大学院生 |
| 12 専門職（医師・看護師・弁護士など） | 25 その他 |
| 13 自由業 | |

Q21 あなたの業種について以下の中からお選びください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 農林・水産 | 18 マスコミ |
| 2 鉱業 | 19 人材派遣 |
| 3 出版 | 20 金融 |
| 4 印刷 | 21 保険 |
| 5 建築・土木 | 22 証券 |
| 6 電気・水道・ガス | 23 不動産 |
| 7 電気機器 | 24 商社 |
| 8 機械 | 25 卸・小売 |
| 9 化学 | 26 教育 |
| 10 食料品 | 27 広告 |
| 11 医薬・化粧品 | 28 ソフトウェア |
| 12 自動車・輸送用機器 | 29 インターネットサービス |
| 13 コンピュータハード | 30 シンクタンク・コンサルタント |
| 14 アパレル | 31 会計・法律事務所等 |
| 15 その他 | 32 その他サービス業 |
| 16 通信 | 33 該当しない |
| 17 交通・運輸 | |

Q22 あなたの生年月日について以下の中から当てはまるものをお選びください。

- 1 昭和21年4月2日～昭和22年4月1日生まれ
- 2 昭和22年4月2日～昭和23年4月1日生まれ
- 3 昭和23年4月2日～昭和24年4月1日生まれ
- 4 昭和24年4月2日～昭和25年4月1日生まれ
- 5 昭和25年4月2日以降の生まれ
- 6 上記以外の生年月日

平成18年度 奉仕活動・体験活動推進・定着のための研究開発

ボランティア活動に関する調査研究報告書

平成19年4月

編集・発行 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

〒110-0007 東京都台東区上野公園1-2-43

TEL (03) 3823-0241

FAX (03) 3823-3008

<http://www.nier.go.jp/jissen/index.htm>

ボランティア活動に関する調査研究報告書

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター



Research Report